Machine Translated by Google

イデオロギー

第1巻 - 第4

巻 þ 2023年冬季に転写

Machine Translated by Google

編集者序文

以下の文章は、カール•ハマー著『SSイデオロギー』第1巻から第4巻（1988年から1994年)のスキャン画像から転写されたものです。スキャン画像にはWWW.THULE-ITALIA.ORGの透かしが入っています。これはおそらくスキャン画像の作成者によるものと思われます。物理的なコピーは発見されておらず、より高画質のスキャン画像も存在しません。

テキストは、カール•ハマーの出版順ではなく、出版年代順に提示されています。目次には、各テキストが掲載されたカール•ハマーの巻への参照が示されています。

転写元、およびカール•ハマーが出典としたドイツ語のテキストへの参照（存在する場合）。

いくつかのセクションにタイトルが追加されました。

参照しやすいように、省略してあります。ウムラウトは、該当する母音の後にeを付けて表記します。明らかなスペルミスは発見次第修正しましたが、スキャン画像に写っているピクセル化された単語の一部は、解読に多少の推測が必要でした。私の目が機能しなかった際に、ピクセルを突き抜けるのを手伝ってくれた匿名の友人たちに深く感謝します。いくつかのぎこちないフレーズは、意味を変えずに若干変更しました。「Weihnacht」（聖夜)という言葉は、カール•ハマーの「Christmas」から「Yule」に再翻訳しました。

スキャンの品質が悪いため、また文書をより簡単に印刷できるようにするため、アートワークとイラストは完全に省略されています。

Machine Translated by Google

目次

1941

はじめに...1
ハンマー vol.1 3;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年「Germanische Leithefte」の任務.. 3 Hammer vol. 1 3;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、 1941年3;出典 :Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年ヨーロッパは再び健全になる.. 6ハンマー vol. 1 3;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年遺伝の流れ...14
ハンマー vol. 14 3;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年オードとデリラ..15
ハンマー vol. 15 3;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年Rieke Gehrmann...18
Hammer vol. 18 3;出典 :Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年ユトランド沖海戦の英雄...21ハンマー vol. 1 3;出典 :Germanische Leithefte、第 1 巻、第 1 号、1941 年アドルフ•ヒトラーの指導の下...24ハンマー vol. 1 4;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 2 号、1941 年季節の変わり目、運命の変わり目..33
ハンマー vol. 4;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 2 号、1941 年夏至 1941!...37ハンマー vol. 4;出典: Germanische Leithefte、第 1 巻、第 2 号、1941 年ゲルマンの愛人...45
ハンマー vol. 4;出典 :Germanische Leithefte、第 1 巻、第 2 号、1941 年子どもと結婚...
49 Hammer vol. 49 4;出典 :Germanische Leithefte、第 1 巻、第 2 号、1941 年ドイツ思想...50
出典 :Germanische Leithefte、第 1 巻、第 2 号、1941 年父の要求...
51ハンマー vol. 2 4; Germanische Leithefte、第 1 巻、第 3 号、1941 年より軍団の命令より 52
Hammer vol. 4; Germanische Leithefte、第 1 巻、第 3 号、1941 年より中立とゲルマン人の努力...54 Hammer vol. 3; Germanische Leithefte、第 1 巻、第 3 号、1941 年より 最初に...60 Hammer vol. 3; Germanische Leithefte、第 1 巻、第 3 号、1941 年よりゲルマン人の憧れ...62 Hammer vol. 4; Germanische Leithefte、第 1 巻、第 3 号、1941 年よりより容易な道...67 Hammer vol. 4; Germanische Leithefte、第 1 巻、第 3 号、1941 年より

Machine Translated by Google

多くのもの..71ハ
ンマー第4巻; SSレイセフト隊、1941年1月15日発三重の封
印..72ハンマー第
2巻; SSレイセフト隊、1941年1月15日発彼女の息
子..77ハンマー第
2巻; SSレイセフト隊、1941年3月15日発

1942

年ヒューストン スチュワード チェンバレ
ン..82ハンマー
vol. 4;出典 :Germanische Leithefte、第 2 巻、第 1 号、1942 年自由の
国.. 84
ハンマー vol. 84 4;出典: Germanische Leithefte、第 2 巻、第 1 号、1942 年フィンランドの忠
誠...91
Hammer vol. 2 4;出典: Germanische Leithefte、第 2 巻、第 2 号、1942 年フィンランド
1918/1919...97
Hammer vol. 2 4; Germanische Leithefte、第 2 巻、1942 年 3/4 号よりドイツ家の騎
士..99ハンマー vol. 4;ゲルマン
軍の軽騎兵連隊（SS Leithefte)第 2 巻、第 3/4 号、1942 年、上部シレジアよ
り 102ハンマー第 4
巻 ;ゲルマン軍の軽騎兵連隊（SS Leithefte)第 2 巻、第 3/4 号、1942 年よりゲルマン人の生命意
志...
106ハンマー第 2 巻 ;ゲルマン軍の軽騎兵連隊（SS Leithefte)第 5 号、1942 年より 大

和..107 ハンマー
第 2 巻 ;SS Leitheft、 1942 年 3 月より 地獄の悪魔に…..

1944

年ヨーロッパ戦線...124
ハマー第 2 巻; SS ライトフトから、1944 年 2 月若くして結婚で
きるのは誰か?..131ハマー第 2 巻; SS ライトフトから、
1944 年 2 月あなたの人生はあなたの同胞のも
の !...140ハマー第 2 巻; SS ライトフトから、1944 年 3 月「死
点」を克服しなければならな
い...144ハマー第 2 巻; SS ライトフトから、1944 年
5 月永遠の
心...150ハマー第4 巻; SS ラ
イトフトから、1944 年 5 月壊れた
手...153出典 :SS ライトフト、1944 年
5 月魂と肉
体..162ハマー第
2 巻; 出典 :SS ライトフト、1944 年 6 月母なる大地 - 祖
国...164ハマー第 2 巻; 出典 :SS ライトフ
ト、1944 年 8 月同
類...166ハマー第 3 巻; 出
典 :SS ライトフト、1944 年 8 月

Machine Translated by Google

勇敢なる者への金メダル..175
ハンマー第3巻; SSレイテフト隊、1944年9月純潔を保ち、成熟す
る..181ハンマー第3巻;
SSレイテフト隊、1944年9月それはなかなかの男だっ
た..186ハンマー第3巻;
SSレイテフト隊、1944年10月

不明引
用..191ハマー第3
巻誤解された同志関
係..193ハマー第2巻 SS裁判記録よ
り あるSS隊員の遺
言..195
ハンマー vol.1
兵士の行動 199
ハマー第1巻オブ•チ
ャイルド.. 204ハマー第1巻

神は誇り高き心の中にのみ生きる.. 207
ハンマー第1巻生命
樹と世界樹.. 213ハンマー第1巻

人生の喜びへの勇気..219
ハンマー vol.1
オラフ王の奇妙な出会い 224
ハンマー第1巻山の
城..235ハンマー第1巻

カーレンベルク 1683.. 236ハ
ンマー第1巻『兄弟
の血』 .... 236ハンマー第1巻『プリンス•オイゲ

ン』 242
ハンマー vol.1
王の裁き..250
ハンマー vol.1
永遠のもの..259
ハンマー第1巻ポメ
ラニア..268ハンマー第1巻

Machine Translated by Google

出版年

1941

Machine Translated by Google

導入

「地球の軌道に関する知識が
太陽の周りを回ることで、
世界の一般的な見方は、国家の
血の教えに基づく社会主義運動
人種は知識と
人類の過去の歴史の見方と
未来。"

- アドルフ•ヒトラー

この運命的な意味についての知識は
血と人種の自然法則は、
SS。選抜された北欧の男性とその
氏族。

SSは自らが選んだ法律の助けを借りて
ヨーロッパにおける血の理念の勝利に生きた貢献をすること。

例えば、忠誠心、勇気、
友情と高潔な精神。それは、ゲルマン人の忠誠心において、無条件に

総統に捧げられた。

SSは内部の安全を守る守護者であり、
帝国と外部に対する最も強力な戦闘部隊

Machine Translated by Google

敵。現在の闘争は、国際ユダヤ人とその同盟国である世界

ボルシェビズムと、ユダヤ人に依存し、貪欲なイギリス

金銭とフリーメーソンの支配。

現在の混乱した紛争の目的は、

自然で永続的な新秩序の形成

ヨーロッパ。この新秩序は帝国によって取り上げられ、

これは、大ゲルマン民族の発展に基づいており、

勇敢な仲間との緊密な協力。

しかし、ヨーロッパは永続的な基盤を見つけるべきだ

運命の活発なコミュニティでの素晴らしい未来のために

ゲルマン民族。SSはこの崇高な大義のために戦う。

そして総統のSSは戦いのために集結した

- ドイツ国防軍SS隊員の隣に - あらゆる民族のドイツ人

世界各地、特にルーマニアやその他の国々

南東ヨーロッパの。

初めてオランダのフランダースからのボランティアが

スイス、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、スウェーデン

ドイツ国防軍SS隊員たちと共に戦う。

Machine Translated by Google

「ゲルマン的軽視」の任務

…常に偉大で

SSの共通の路線からこれらの同志たちへ

近隣のゲルマン諸国、さらには

SSの偉大な目標と原則を広める

これらの人々の祖国。この出版物は、すべてのゲルマン民族に共通するSS精神を明確に表現するものであるべきである。それは、すべての人々にとって絶え間ない呼びかけとなるであろう。

自分に自信があり、フォロワーになることができる人

ゲルマン史上最も強固で強力な組織。

Machine Translated by Google

私たちのライヒスフューラー

SS国家指導者ハインリヒ•ヒムラーの演説より

1935

SSは総統の命令により結成された。

新しく復活したドイツの民俗音楽。

組織、タスク、拡張のあらゆる説明

SSの理解は、

それらを血と心で内面的に理解する。

なぜ我々のような少数の人間がこのような状況に陥るのかは説明できない

私たちの中にある強さ。

なぜ今日私たち一人一人が

どこにいても黒い制服を着ている人は、

このコミュニティの強さによって支えられています。

競走馬に乗ったり、決闘をしたり

スタジアムで審判を務めるか、

高官としての職務を遂行したり、

兵士として、あるいはドイツの著作を研究する

私たちの精神 - それぞれが、おそらく目に見えないが、

男として地に足をつける。

誰もが自分は孤独ではないことを知っている。

数十万人の兵士が共に誓い合ったこの前例のない力は、彼に計り知れない

力を与えている。

Machine Translated by Google

彼はコミュニティの黒人部隊の代表として、最善の功績を挙げて
この部隊に名誉を果たさなければなりません。

だから我々は国家社会主義の選ばれた男たちの軍団として、柔軟性のない法則に従って集結し行進するのだ

そして道沿いの氏族の誓約された共同体として
遠い未来に。私たちはそうではないことを望み、信じている。
よりよく戦った孫だけになりたいのではなく、遠い祖先の

ドイツ人の永遠の生命に必要な世代
ゲルマン民族。

Machine Translated by Google

ヨーロッパは再び健全になる

私たち人間は、すべてが変わりゆく世界に生きています。
生きること、成熟すること、そして死ぬことは、
自然の揺るぎない神聖な法則。それらに従うのは
星、天、地、海、石、そして
植物や動物の生命。

彼の5つの能力を持つ者なら誰も疑わないだろう
人間の生活も同じ法則に従って動いている。同様に、人間同士の
違いも
遺伝の法則。

例えば、健康的で自然な雰囲気のコミュニティでは
農民の生活では、病弱な者は子孫を残すことができず、健康な
者は健康な者と再び結びつく。
大都市生活、自然から疎外された生活、あるいは経済的な
考慮は、残念ながら多くの健康
病弱な人と結婚する人。

しかし、自然は復讐する。
その法則を守らないと、子孫は
病弱であったり、病弱な傾向がある
病気。

自然と結びついて生きる農民は常に
動物や植物のあらゆる種において、線は
人種は区別されなければならないが、

Machine Translated by Google

無差別に交配すれば、その種は絶滅してしまうでしょう。

人間の中にも同じようにさまざまな人種が存在します。

もともと私たちの祖先はこれらの障壁を尊重し、

創造主によって。後に、特定の精神的および政治的

傾向は徐々に自然への感情を抑制した

人間には違いがある。「すべては同じ

「人間の顔を持つ」と彼らは言った。

フランス革命の時代。自由主義、マルクス主義、

社会主義と共産主義は、

ユダヤ人に惑わされたヨーロッパの衰退。ボルシェビキにとって、人種の違い

は単なる偏見であり、

克服する。しかし、これらはすべて人間の逸脱である

自然の神聖な法則から逸脱する行為 :自分の

自分の血液は、最も深刻な

民衆の健康と文化への影響。身体的

損害、心理的障害、性格の劣等感

科学的に証明された結果であることが多い

望ましくない人種混合。

これらの精神的な、あるいは反精神的な傾向

人種的に異質で歪んだ心から生まれたものだ。

教えは自然の法則からまったく生じていない。

それらに対抗して、国家社会主義は

新たなヒューマニズムの信条を構築するのではなく、

まず第一に、自然秩序を明確に認識し、

神。この知識だけが再び導くことを可能にする

Machine Translated by Google

誤った方向に導かれた人間を自然と健康へと戻す
生活様式。したがって、国家社会主義は
人種間の自然に生じた違い。そしてそれは
自然の障壁を認識します。

国家社会主義者もまた将来のヨーロッパを
リベラル派とは全く違う。
国家社会主義者は本能的に汎ヨーロッパを拒否するだろう
アメリカ人の類のものだ。アメリカは様々な人種の寄せ集めだ
そしてレース。ヨーロッパでは様々な人々がコースの中で
彼らの発展は、他のヨーロッパの人種も混ざり合ったため、多様
な民族的特徴を帯びるようになった。
- ドイツのさまざまな地域でさまざまな割合で
そしてその近隣諸国。しかし、それら全てに共通しているのは、
多かれ少なかれ北欧の血が流れている。

この北欧の血液成分は、
ヨーロッパの人々。ゲルマン民族のより緊密な連合
それは可能であるだけでなく、自然に与えられたものでもある。
他のヨーロッパの人々に多かれ少なかれ北欧の血が流れている
folks は主にゲルマン語起源です。

ヨーロッパがその独自性を失いたくないのであれば、
すると、何よりもまず、北欧人種の支配が
確保された。しかし、北欧人種は最も大きな被害を受けた。
過去数年間の文明の発展によって
数世紀も経ち、北欧民族も部分的には
大都市で存続する。この貴重な種族は

Machine Translated by Google

ドイツだけでなく、他のすべてのヨーロッパの人々にとっても、主要なセグメントを代表するものです。

この事実は特に重要です。なぜなら、その血液の量は着実に減少しているからです。

かつてのいわゆるヨーロッパ文明は
同様に人々の健康にも有害な影響を及ぼしました。

病弱な人、弱い人、才能のない人はあらゆる資源を使って昇進する一方で、健康な人は

最悪の社会的不正義に苦しむ。自然界では、

病弱な者は自動的に排除され、強く健康な者だけが子孫を残す。不自然な環境を作り出したいわゆる文化人の間では、

彼らの文明における環境、この「自然淘汰」

がありません。

ここに国家社会主義の政策が出てくる

最後の1時間で、彼らは白が

近い将来に人類は滅亡するだろう。

「健康なゲルマン人の血」という包括的な概念を持つ民族の、人種的に善良で肉体的にも精神的にも健康な部分。したがって、国家のすべての

この部分を推進する社会主義は

「健全なゲルマン民族の発展を促進するための措置

国家社会主義ドイツにおけるこれらの措置は2つの方向を向いている。第一に有害なものを防ぎ、

第二に、有益なものを促進します。

Machine Translated by Google

　ナチス時代の婚姻法では、結婚前に婚姻届を提出することが義務付けられている。こうして、最善を尽くした人々にとって、結婚は

先天性疾患を持つ健康な人、または先天性疾患を持つ健康な人

伝染病に罹患した人々の感染を防ぐことができます。一方、非常に有利な無利子の結婚ローンの提供は、健康な人々の結婚を容易にします。

　先ほど述べた国家の施策は、

しかし、社会主義国家は、常に、多くの場合、

SS の同様の基準によれば、長年にわたってそうであった。

　SS隊員はこのように選抜され教育される

人種的に異質な人や先天的に病んでいる人と交わらない

これらの法律がなくても血は流れる。

　しかし、他の分野でもSSは新しい道を先導することで良い模範を示しています。SSは、人間が自然な生活環境に戻ることを促進しています。

数え切れないほどの小さな対策、例えば、

一戸建て住宅の建設、体育と運動、貴重な家族の土地への帰還

新しい農民の育成など…SSは、

その秩序とその例の法則、それに沿った道

北欧の血統を強化することで

同様の組織はすでに歴史に存在しており、例えばヨムス•ヴァイキングなどが挙げられる。

バルト海では、東ドイツと

Machine Translated by Google

西プロイセンなど…これらの騎士団も、有能な戦闘員のみを受け入れ、その

功績は目覚ましいものであった。しかし、一つだけ欠けていたものがあった。

彼らは法律を男性に限定した。だから彼らの貴重な血は

意識的に世話をされたわけではない。しかし、結局のところ、民族は未来のために、貴重な資源の供給を維持するだけでなく、

血液だけでなく、増加もさせます。

そのため、SSの国導師は、

1931年の困難な闘争期に、SSは「婚約•結婚命令」を制定した。この命令では、SS隊員は結婚の条件に従って妻を選ぶ義務があるとされている。

SSに受け入れられたときと同じガイドラインです。

妻はその後SS一族に引き取られる。そこで彼女は

彼女は夫と同じ原則に従う義務がある。

彼女は同じ名誉と高い地位を享受している。

尊敬。

したがってSSはゲルマン民族の血の保存と強化のための闘争の最前線に立ち、健全な民族の未来への道を示している。

力強さと文化の開花。前者、創造的な

SSの血に関するこれらの考えの働きは

総統が委ねたことを認めている

SS国家指導者、ドイツ民族の結束。

Machine Translated by Google

国家社会主義の法律の遵守から

血と人種は、永遠に帝国の保護を保証するだけでなく、人類のあらゆる重要な問題に道を開く秩序を育むだろう。

生命。それはヨーロッパ運命共同体の守護者となる。しかし特にゲルマン民族は、共通の血を通してこのSS団に結ばれている。私たちの子孫はいつの日か、誇りをもって私たちについてこう言うだろう。

「あなた方は我々の民族の帝国の基礎を築いたのです！」

Machine Translated by Google

私が今日ドイツや各地を旅するとき

子供たち、私たちの小さな金髪の若者を見て、私は認識します

私たちの運動の目的：

ドイツの未来に向けて現在を前進させる。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

遺伝の流れ

ライプツィヒの偉大な作曲家、ヨハン•セバスチャン•バックは、

彼はオルガンを非常に上手に演奏した

ポツダムのガルニソン教会はフリードリヒ大王と

招待客たちを前に、バッハは魂を注ぎ出した。

計り知れない海。

「永遠の神聖な音楽とは何でしょうか、先生！

恵みを得るには？

「私の高祖父はパン職人であり音楽家で、高祖父はタペストリー職人で

あり音楽家で、祖父は街の笛吹きでした。

ヴァイマル出身で、父はアイゼナハ宮廷と市の音楽家、叔父は同市のオルガニ

ストでした。300年近くもの間、その名前を持つ音楽家たちは

バッハはテューリンゲンとザクセンに住んでいました。そのため、この特徴は

常に受け継がれてきました。」

Machine Translated by Google

オードとデリラ

ノルウェー人がアイスランドに定住した時代
そして英雄時代を体験した。それは約1
千年前、島の北西部にギスリという名の男が住んでいました。彼は立派な人物でしたが、権力者たちから軽蔑されていました。

人々が彼を羨ましがり、彼はさまよい歩きました
平和な日々は続かなかった。妻のアウドは、ギスリの窮状に寄り添い、限りない忠誠心で彼を支えた。しかし、ギスリの敵は彼を捕らえようとした。
策略を通して。

彼らのリーダーはオードのところへ行きこう言った。「私は
君と取引をしよう。オード、ギスリの居場所を教えてくれ。銀貨300マルクを払う。さらに、
あなたにとって、今の結婚よりも良い結婚が来るでしょう。」

彼女はこう答えた。「信じられないことに、
私には、今の結婚と同じくらい良い結婚を私に用意してくれるように思える。しかし、金は未亡人のものなのだ。
最高の快適さ、とよく言われます。あなたのお金が
豊富で、あなたの言う通り美味しいです。」

そこで彼は彼女の膝の上にお金を投げ入れた。彼女は
彼女はそれを手で数えましたが、彼はそれを数えて彼女に見せました。
彼女の養女であるグズリッドは泣き始めました。

Machine Translated by Google

グズリッドは外に出てギスリのところへ走って行き、こう言いました。

「私の養母は今、理性を失って

ギスリは言った。「自分を慰めなさい、

死はオードからのみ脅かされるので、私は自分の

人生。"

その後、少女は家に帰り、どこに行ったのか言わなかった。

そうだった。

エイヨルフはお金を数えていた。オードは言った。「あなたの

お金はあなたが言ったほど重要でも重要でもない。

今、私が望むことを何でもさせていただけますか？」

エイヨルフは喜んでそれを受け入れ、それでいいと言った。

彼女の望みどおりに。

オードはお金を受け取り、大きなバッグに入れました。そして

彼女は立ち上がり、バッグでエイヨルフの鼻を殴った。

銀の塊があまりにも硬かったので、彼はたちまち血まみれになった。

彼女はこう付け加えた。「信じやすい人だね !そして

不幸にも !私が自分の

お前みたいな悪党の夫を ?それを侮辱するなんて

そして恥も知れ !一生かけて

忘れるな、この悪党め、女がお前を殴ったのだ。

あなたが望んでいたことさえ達成できなかったのです！」

…そして男たちは恥ずかしさのあまり退却しなければならなかった…（トゥーレ、

第8巻）

Machine Translated by Google

　イスラエルにサムソンという男がいました。

信じられないほどの力。ペリシテ人は彼を憎み、

彼を殺すために。しかし、その方法がうまくいかなかったので、彼らは

策略でそれを試みた。彼らは愛人のところへ行き、

デリラという名の女性にこう言った。「彼を説得して裏切らせなさい

彼の偉大な力の秘密をあなたに教えましょう。そうすれば

あなたたちにはそれぞれ銀貨1000枚と100枚ずつあげなさい！」

　そしてデリラは夫のところへ行き、鍵を開けようとした。

彼の強さの秘密は、お金が彼女をとても惹きつけたことだった

彼は3度も彼女の言うことを聞かなかったが、ついに

彼は彼女をとても愛していたので、すべてを彼女に捧げました。

「私の頭髪は一度も切られたことがない。もし切られたら

切られたら、私も他の男と同じように弱くなってしまうだろう。」

　彼女は秘密を知り、彼にそれを漏らした

敵が。彼が信頼して眠っている夜、彼らはやって来た。

彼らは彼の髪を切り落とし、彼を捕らえ、目を刺し、

そして彼を刑務所へ連行した。

オードとデリラ - 2つの世界！

Machine Translated by Google

農家の女性 :国の伝統を伝える人

リーケ•ゲールマン

ルース•ギードの詩に基づく

リーケ•ゲールマンが結婚していたとき、シャツ一枚だけ

ある秋の夜、彼女と夫の

納屋が火事になった。3マイル離れたところからでも大火が見えたが、農場の

動物たちが吠える中、リーケ•ゲールマンのいつものように明るい声が聞こえ

た。

家族 :「何を文句を言っているの ?うちは

まだ立っているのではないですか ?

1年後、牛の疫病とそれに伴う大きな災害が地域全体を襲ったとき、リーケ

•ゲールマンは

彼女の最初の息子。彼女の大切な動物の多くが命を落とし、

しかし彼女は夫を慰めることができた。「

確かにひどい打撃ですが、結局のところ、私たちにはまだ息子がいます。」

リーケ•ゲールマンが結婚して12年が経った頃

農場での彼女の仕事に攻撃しながら、

一年を通して同じ不屈の精神で、

納屋はもうずいぶん前に再建されたので、彼女は都会の従兄弟たちにこう言

った。「リラックス ?引退 ?諦める ?絶対に無理 !私には7つの

育てられることを叫ぶ息子たちよ !」

リーケ•ゲールマンが40歳の時に戦争が始まった。

彼女の息子たちは外国の戦場で犠牲になったが、彼女は常に誇りと勇気を持

って、皆にこう言った。「私の

Machine Translated by Google

息子たちは、人間が死ねる最高の死、つまり戦いで死んだ。
彼らの総統と国民のために。」

リーケ•ゲールマンが50歳になったとき、夫が亡くなりました。
彼女が多くの喜びと悲しみを分かち合った人
長年にわたり、彼は年老いて病気になり、働くこともできなくなっていた。そして、彼の死は、彼女にとって、人生の他のすべての出来事と同様に、宇宙の循環の一部であるように思えた。
彼女は孤独に耐え、
未来。

必然的に都市と産業が
彼らは誘惑的な策略を駆使し、多くの若者が農場を捨てて耕作を生活の糧とするようになった。
しかし、リーケ•ゲールマンは保持に成功し、
息子たちのために、真の価値観が愛され育まれる家庭を再建しようとした。その結果、生き残った息子たちは皆
彼らは父親と同じように農家になった。

リーケ•ゲールマンの顔つきが
しわくちゃになり、色あせた、厳しいが豊かな人生
農場で、彼女はまだ心の明るさを示していた
祖母なら誰でも、育ちの良い
将来有望な子供たち。そして彼らが成長するにつれて
家事を手伝ってくれたリーケ•ゲールマンは
彼女の知恵を人々と共有する時間をもっと増やし
彼女の家には若い世代がいます。

Machine Translated by Google

しかしある日、リーケ•ゲールマンの命も終わりを迎え、彼女は死に際に息子たちにこう言った。「息子たちよ、金や銀は相続できない。私の全生涯の努力と投資はあなたたちと息子たちのためだったのだから。」

「お母さん、あなたの人生はすべて私たちのためにありました。私たちはあなたが成し遂げたことを誇りに思っています。」そして、お母さんの声がかすれ始めたとき、長男が進み出て、涙でお母さんの手を濡らしながら宣言しました。

あなたの血こそが私たちの真の遺産です。だから私たちは、あなたの

忠実な息子たちもあなたの教えを継承する義務を果たします

不滅の作品。」この言葉はリーケ•ゲールマンの言葉です

最後の喜び。

Machine Translated by Google

ユトランド沖海戦の英雄

戦いは終わった。噴水は崩れ落ち、濃い煙が水面を滑るように流れていく。

25,000トンの装甲巨像の最後の波

海を転がり、

貝殻。

戦いの破壊を見る：「リューツォウ」

船首が水に深く沈んでいる「ザイドリッツ」は

傾斜すると、船外機の塗装が焼け、

煙突から巨大な激しい炎が絶えず上向きに噴き出している

マストの高さまで。ザイドリッツ号では砲弾が爆発した。

後部砲塔から大きな装甲板が出てくる。この赤い

衝突すると、輝く金属が砲塔に落ちて

カートリッジが発火して炎上した。熱は

信じられない。深部砲塔の酸素はすべて

消費され、そこにいた全員が死亡しました。

7階デッキから炎が燃え上がっている

6番目に。貯蔵室のカートリッジは

6階も火事になった。

濃い煙の柱！すべてが白熱している！

注文は音声管と電話を通じて届きます

指揮デッキ：弾薬室に水を入れろ！もし火事が

Machine Translated by Google

弾薬室に火が着いたら、船全体が空高く舞い上がるだろう !返事はない。全員

死ぬ !火は

5階デッキ。同じ炎が生み出す熱は

鋼鉄の壁が輝き始める。再び命令が下される。

「浸水だ !浸水だ！ 」船上の誰もが知っている。もし火が弾薬庫にまで達したら、「ザイドリッツ」は粉々に砕け散るだろう。皆が尋ねる。「弾薬庫はもう大丈夫だったのか？」

浸水？

「いいえ、答えはありません！」今、1400人の男たちが立ち上がる

密閉された部屋は、弾薬庫が爆発して粉々に吹き飛ばされる瞬間を待ち構えている。誰も自分の持ち場を離れようとしない。

数秒、数分間の最悪の不安 !そして

ポンプマンのミュラーがやって来る。彼は、

後部装甲甲板上の予備洪水弁。

装甲甲板の前に立つと、

熱く輝いている。彼の隣には5人の船員と

ボイラーマンも同じ道を歩もうとする。「私たちは渡れない、装甲甲板は熱くなっている！」そして

ポンプマンはデッキが確かに熱くなっているのを確認した。彼は

彼らの運命は数秒で決まることを知っている。

彼の隣には木製のスリッパを履いたボイラーマンがいます。

「木のスリッパをください！」ポンプマンのミュラーは靴の上にスリッパを履き、装甲車を横切って急いで行った。

デッキ。

Machine Translated by Google

靴が燃える。彼は洪水の前に立つ

バルブ。彼は最後のバルブを開けようとしており、弾薬室を水浸しにしようとしている。船の最後の救いとなる、たった一つの掴み !1400人の兵士たちがこの掴みを待っている。

生死を分ける。ポンプマンのミュラーは洪水防止弁をじっと見つめ、それが熱くなっているのに気づいた。

そして彼は自分に言う。「君はまだ

「ザイドリッツ」、あなたの下には1400人の同志がまだ生きている、

彼らを救わなければならないなら、あなたは赤熱した

バルブ !ポンプマンのミュラーは、まず叫び声をあげ、ぎゅっと掴んで回した。

そして再び掴んでさらに回した。彼の裸の指は文字通り

調理済み。

ポンプマンのミュラーは「ザイドリッツ」号を救出し、

1400人のドイツの同志！

Machine Translated by Google

デンマーク国家社会主義労働者党の党首：

アドルフ•ヒトラーの指導の下

フリッツ•クラウゼン著

第一次世界大戦後、平和の鐘が鳴ったとき、
これまで抑制されてきた生命への力強い衝動
戦争によって何年も経ち、人々は再び目覚めた。
これまで見逃していたものはすべて
戦争は償われるはずだったが、今やすべてが
破壊されたものは再建されるはずだった。幸福な未来は、あの恐怖の記憶を忘れさせ、喜びに満ちた生への肯定は、苦しみの涙を拭い去るはずだった。しかし、まるで——

戦争で亡くなった多くの勇敢で有能な男たち
そして、多くの強い女性たちも、そのせいで打ち砕かれ、未来を形づくるはずだった力もすべて失われてしまった。

ショーに出るのを夢見ていた若者は
かつての力は、失業という悲惨な状況に陥った。家を広げようと努力した男たちは
そして職場は雇用と
賃金はすでに抵当に入れられており、
住宅ローンを自分で支払わなければならなかった。若者や病弱な人々は、
強い男たちは、欠乏と必要から飢えるために物乞いをしなければならなかった。

Machine Translated by Google

　戦争の流血は血なまぐさい
反乱と戦闘、同胞が反対した
同胞の間で新たな憎悪と敵意が生まれた。
人々を否定し破壊する勢力は
戦争中に自らを支配したが、
終了後も習熟度を失ってしまう。

　幸福の夢は落ち着きのない狩りに変わった
利益のために。偉大な未来への憧れは
日々の要求に応える道は閉ざされていた。無情で、人生を否定する金の力が、
人々の生活の肯定と倦怠感から生まれたもので、自発的に増え続ける人々が
人生を終えた。無情な金の力は
同様に無感情で生命を否定する世代は、
永遠の深海を見つめる代わりに
そして、無限性は、世俗的な有限性と地上的な限界の上に固定され、それによって、世代の永遠の連鎖を通じて、それらを永遠と結びつけていた橋を壊しました。

　ヨーロッパの人々は盲目的な軽薄さと無責任な無関心で衰退に向かい、
絶滅。それはこれらの国々だけに起こったことではない
血なまぐさい紛争に参加しただけでなく、
敗北した人々の間で起こったのではなく
参加していない人の間でも
まったく苦労しません。

Machine Translated by Google

責任ある国家元首と有力政治家
開発を見たくないし、破壊したくない
あらゆる場所で否定し破壊する勢力が
支配的な影響力を持っていた。彼らはあらゆる
感情も行動もない反生命的、破壊的な活動。

統治者たちは、自分たちの
多くの活動に参加することで、自分自身の不可欠性を認識する
国際会議やカンファレンスは
戦後、あるいは多くの役に立たない
議会交渉。そして、これらの
議会での交渉はまだ進行中だったが、
否定する勢力は、自らを無制限の支配者とした
世界で最も大きく、最も豊かな国の一つ。
死体の山と言葉に尽くせない悲惨さの中で、彼らは
フリードリヒ•エンゲルスの言葉を現実にした。
「世界全体の破壊は、
回転"。

かつての帝国の基本的な形態から
北欧のバイキング精神によって創造された彼らは何度も
彼らの目標は、消滅と
この精神と他の形成力をすべて破壊する
世界を創造した。ここから彼らは
各国の共産党の成長は、世界大戦中に彼ら自身が世界に伝えたように、
1928 年の大会では、彼らは世界を網羅する巨大な共産党の
一部門に過ぎませんでした。

Machine Translated by Google

ここで彼らは赤軍を組織した。その任務は、民族の独自性と、各国でこの独自性によって価値観として生み出されたあらゆるものを暴力的に消滅させることだった。

そして、これらの国々で使者を迎え入れた者もいたし、国家元首が

これらの使者の手はまだ赤くなっていた
これらの国家元首の最も近い親族の血統。

しかし、ヨーロッパの指導者たちがこの展開に盲目で無責任な態度で臨んだのと全く同じように、あらゆる国々で彼らに反抗する勢力が台頭した。この展開を変えようとした人々の多くは忘れ去られ、多くは永遠に忘れ去られることはなかった。

破壊と戦おうとする彼らの試みを知っている
あまりにも早く立ち往生したり、間違った道を通ったりした。

勝利したドイツ自由軍団の最終的な勝利は否定された。なぜなら、当時の民主的マルクス主義のドイツ帝国政府が世界の民主主義国の圧力に屈し、彼らに戦いを放棄させたからである。

イタリアでは強力な抵抗が起こり、伍長は
ベニート•ムッソリーニは、
世界大戦、戦いのためにファシスト運動を構築した
崩壊に反対する。

共産主義の赤い共和国が
南ドイツとハンガリーではすでに宣言されており、ソ連の支配は完全に確保されたように見えた。

Machine Translated by Google

ロシアでは、彼はファシストの戦闘部隊を編成し、
ローマに彼らを派遣し、そこで彼は大統領大臣に任命された。
国王によるイタリアの統治。強力で活力ある国家権力の再建
の過程で、ムッソリーニは多くの党派や分裂から国民を結集
することができた。
彼の目的は、再び強い者たちを目覚めさせることだった
偉大な古代ローマの国家建設勢力。彼は
世界資本とマルクス主義の協力とそれがフリーメーソンの偉大な秘密結社
に及ぼす影響。

　ドイツでは、アドルフ・ヒトラーは同じ敵と、その共通のユダヤ人の源泉と
戦った。彼は
人々の生活の質は
再生されました。

　彼はドイツ国民に、
本来の強さ。

　彼は、主要な
すでに破壊の勢力によって強さは深く埋もれていた…誰もが互いに敵対す
る民族の中で…差し迫った共産主義の台頭によってすでに基盤が揺るがさ
れていた国家の中で

革命。彼によって新たに目覚めた民衆の力
非常に強力だったので、破壊的な勢力を打ち負かすだけでなく、
彼自身の民族の力はむしろ全滅させる可能性もある
彼らは他国からドイツとヨーロッパを脅かしていたあらゆる場
所で彼らを攻撃した。

Machine Translated by Google

フランコ将軍がこれらの部隊を呼び覚ましたとき、

1936年、スペイン国民は共産主義による破壊と赤き殺戮の蔓延を阻止するために、スペインとイタリアの同盟国と協力し、勝利を収めた。アドルフ•ヒトラーは国民を覚醒させただけでなく、

解決策の必要性を自覚する
彼は時代の多くの要求に応え、人生の永遠の要求を認識するよう導いた。彼は再び、民衆の中に時空を超えて探求する夢と憧れを呼び覚まし、時空の中でこの人生観を形にする意志を呼び覚ました。彼は人間がいかに密接に結びついているかを知っていた。
一族に縛られ、その確実性は
未来への橋を架けるためにここにいる。彼は知っていた
血の偉大な奇跡を認識することは
血縁と遺伝は、生命を決定する神の法則への洞察につながり、それは最高の表現である。
あらゆる人間社会の。

この認識を通して、アドルフ•ヒトラーの使命は単にドイツの使命をはるかに超えたものとなり、彼は
ヨーロッパの土地の守護者というだけでなく、
一般的な感覚。彼は偉大な発見者であり建築家である。
ヨーロッパの人々、そして特に彼自身の民族と血縁関係にある人々に対して
非常に頻繁に強調されます。

Machine Translated by Google

したがって、彼の使命はデンマークにも当てはまる。

デンマークの発展は

他のヨーロッパ諸国とデンマークが

第一次世界大戦中に

戦争は金を生んだ。ここ戦後もそうだった。

失業、経済危機、

破産や強制競売、社会的必要性、

犯罪や自殺の増加、そして出生率の低下。

この国でも、これを阻止しようとした者はいたのか？

開発。ある人はその国の法律を変えようとした

新しい政党が設立されたが、その目標と方向性は忘れ去られ、

古いものを破壊しようとした。

しかし、これを実行した人々は貧困の中で死んだ

そして忘れ去られる。

一つは動きを作り出し、大規模な

状態の変化は、しかし、

否定と破壊の力を排除し、

同じ破壊が起こるのを防ぐことができる

ヨーロッパの人々のために計画されたデンマークは、

もしアドルフ•ヒトラーがこれらの勢力を打ち破っていなかったら。

しかし、デンマークが再び国家的な

覚醒は、

対外防衛 - アドルフ•ヒトラーが我々のために作ったもの

破壊の力に対しても、むしろこの偉大な

私たちの人々にもコレクションへの道を示す使命

元の価値観の。

Machine Translated by Google

彼は現代においても、デンマークにおいてユミルの死体からオーディン像を形作ることができる、唯一考えられる力であり、それによって精神と意志の双方が、利用可能な人物像の中に共通の表現を見出すことができるのです。彼は私たちデンマーク人に、英雄時代の下線を引いた人生観への道を示しただけでなく、私たちの若者を新たな境地へと導いたのです。

その戦争における世界の敵に対する新たな闘争
かつて天の力によって国の象徴であるダンネブロが与えられた劇場。彼はまた、宇宙を越えて私たちの民衆の努力を今も証明しているような美しい芸術作品や建築物が再び現れるかもしれないという信念を私たちに呼び覚ましました。

そして、時間を超えたその夢に - 人生とは対照的に -
我々の空虚な世界から生み出された否定と死の怪物
時間。

この偉大な人生の努力を通してのみ、私たちデンマーク人は再び
地球上でまっすぐで喜びに満ちた活動的な人生を実現しましょう
グルントヴィが歌うように、再び私たちの高貴な父たちのまっすぐな歩みをし、再び城と小屋で同じ価値観を持って暮らし、再びかつて見たことのない目で見る。
空を見上げ、美しいものすべてに目覚めるために作られた
そしてここは素晴らしい、そしてそれにもかかわらず親密な
深い憧れと永遠の輝きに満ちています。

Machine Translated by Google

偉大なノルウェーの詩人ヘンリック•イプセンは、

友人であるシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン州の作家ストロッドマンに、スカンジナビアの内なる境界と新たに出現した

ドイツ帝国：

「私はスカンジナビアの人間性を、

全体の偉大な統一に向けた中間段階

「ゲルマン民族」

「もし私たちが結局、

孤立したスカンジナビア社会にいたら、私は二度と

「このことを宣伝するために、私はペンを手に取りました。」

Machine Translated by Google

季節の変わり目、運命の変わり目

炎は燃え尽きるまで燃え続ける

火は火の種として生命を得る -

人間もまた火花を散らすのです。

民衆の炎は決して消えない。

-エッダより

何百万年もの間、私たちの惑星は
太陽の周りを回り、すべての生命の母の周りを回る
私たちの地球。

しかし、見ること、探すこと、そして
北欧人の理解の精神は高貴で永遠の
太陽系の秩序が意識に入り込む
人類。

夏至と冬至に彼らは
「死んで、なる」という容赦ない法則を肯定した
反抗的に受け入れる。

日曜日は彼らの祝日だったが、夏至は
夏至の夜に彼らは燃えた
高台での火は生命の意志と創造の象徴である
夜の力と否定の力に反対する意志。

彼らにとって冬至は、常に戻ってくる
光は、闘い続ける生命の永遠の象徴でした。

Machine Translated by Google

そこで彼らは、

神聖な秩序。この信仰のもと、彼らは太陽の印を身につけ、

彼らの聖なるシンボルとして、卍が使われています。

この信仰とこの印のもとに、インドゲルマン語派は

人々は5000年前に歴史の光の中に入りました。

彼らが旅する先々で混乱が

秩序の前に退却し、土地は花開き、

豊穣と収穫が彼らの道を祝福した。

彼らが遠く離れた草原にまで侵入したかどうか

北ロシアは人間の秩序の先駆者として、

アジアで国家を形成したかどうか、彼らが最も歌ったかどうか

アーリア人のペルシャ人のように、あるいは

ギリシャ人はオリンピックの火を灯した。祝ったかどうかは

ローマ元老院における無敵の男の祭り

そしてここから世界規模の帝国を築き、

火が燃え、運命は暗い夜から

晴れた日。

「人間もまた火花を飛ばす。民衆の炎は決して

「出かけるよ。」

若者たちは古代の習慣を継承し、

彼らの道に沿って、世代から世代へと至点の火が

聖なる秩序と文化の光の担い手として。

ゲルマン民族が歴史に名を刻む。

Machine Translated by Google

　キンブリア人とチュートン人、ヴァンダル人とシュヴァーベン人、そして

他の多くのゲルマン民族も、新たな土地を獲得する時期に新たな輝かしい時代を迎えます。

　千年以上にわたる闘争の中で、

ヨーロッパにおける混乱と破壊の勢力に対するゲルマン人の闘争を構築する。

　彼の生まれながらの農民としての力強さは、沼地と原生林からヨーロッパの豊かな農地を生み出した。

創造的なゲルマン人の精神的な強さが湧き出る

ヨーロッパ文化の最高峰である。しかし、ゲルマン戦士の英雄的偉大さだけが、ヨーロッパの生命共同体を決定的な戦いで守ったのである。

ニアと

中央アジア。

　この運命的な伝統に忠実な、北欧ゲルマン人類の最も強く、最も統一された戦力である

ライヒは今日、容赦ない生存の戦いを率いている

ヨーロッパの人生。

　イタリアはドゥーチェの強力なリーダーシップの下、

大陸の南側は頑強な戦いを繰り広げている。

今日、闇の勢力が再び立ち上がった

人類の文化意志の担い手。

　盲目に陥ったアングロサクソンの富裕層は

黄金の子牛の周りで踊ることは、その名誉を裏切る

ゲルマン人の血を引いている。

Machine Translated by Google

ユダヤ系ボルシェヴィズムの毒に堕落した大衆は

数百万のソビエト人が世界のために激しい戦いを繰り広げる

革命は､劣った者たちの反乱のために起こる。

自然の法則の厳しさとともに、

光は永遠の恐怖に対する決断を迫られる

夜。

昼でも夜でも -

生か死か -

燃え盛る炎で私たちの祖先は力を確認した

光と生命の。

そして､我々の炎も燃え上がらなければ､彼らの

子孫。

Machine Translated by Google

1941年の夏至！

歴史上これほど大規模な軍事力はかつてなかった

運命の戦いのために夏至に集結した軍隊

1941年6月21日から22日にかけての晴れた夜。

聖なる真剣さが､それが何であるかを認識したすべての人を捕らえた。

アーリア人の血の有無と

ヨーロッパ文化そのものの起源である｡北極海から

黒海ではドイツ軍とその同盟軍の

軍隊は敵の大群に激突した｡恐ろしい

人々を脅かす致命的な危険の絵

ヨーロッパの姿が見えてきた。

数え切れないほどのソ連軍の膨大な敵対勢力、

巨大な武器庫を備え、

ヨーロッパの中心部に突入すると、

ドイツ軍が彼らを攻撃した。

ビャウィストクとミンスクの最初の戦いで勝利した後、

サッラ､スモレンスク､ウクライナで戦闘が行われたが、

衝撃的な事実は､世界がこれまで

こんなものを見たのは初めてです。

帝国とヨーロッパに対して集結したものは

血に飢えた劣等な集団だったが

頑固な生き物。

Machine Translated by Google

もしチンギス•ハンのフン族と騎兵が

ヨーロッパ全土を席巻した人類の災厄、そして

この闘争ヨーロッパの英雄的な若者たちは

組織的に残虐な行為を繰り返す

動物化された怪物。

ロシア、この美しく素晴らしい国を、このような手に委ねよう！

歴史上、4回も

この大国をヨーロッパの圏に統合する

文化。

最初の文化の持ち主はインドゲルマン人であった

人々。彼らの創造的な活動は今日でも証明されている。

北欧の建物（石塚)が残っており、

永遠の記念碑として彼らの墓に埋葬されました。

しかし、彼らの力は、

巨大な空間に野性的な民衆が集まります。

数千年後の紀元前2世紀に、

ヨーロッパの道徳と文化の新たなメッセンジャー

ディペル川とドニエストル川の間の地域に侵入した。

彼らは、

ゴス。

再びゲルマン人の土地所有者と戦士たちは

広大な土地の非文化を征服した。

何世紀にもわたって彼らは大帝国を拡大し、

バルト海から黒海沿岸までのゴート族

Machine Translated by Google

カスピ海は、広く分散した独立した

居住地の中心地。

この土地はヨーロッパ人によって勝ち取られたように思われた

ライフコミュニティ。

しかし、この時期のローマ帝国における人種混合は

世界帝国はすでに脅威的な形態をとっていた。

そしてまた、ゲルマン民族は数的に

十分に強い - そして十分に意識していない

彼らの力を合わせた可能性 -

同時にローマに進撃し、

アジアの民衆に対する東側の側面。

こうしてこのゴート王国は、

4世紀のフン族。

この広い土地に再び夜と深い静寂が訪れた。

何世紀も経ちました。

しかしその後、北欧の火の精霊が新たな部族を駆り立てた

意義深い創造へ。

偉大なゲルマン民族の時代が終わる前にも

860年頃、バイキングは新たな土地を獲得し、

北は未償還の地に侵入し、

バイキング国家。

ノウゴロドとキエフがこの帝国の首都となった。

そして最も重要な経済の中心地です。

畑は再び実りを結び、農業と貿易が繁栄しました。

Machine Translated by Google

東近アジアの豊かな土地と

ヨーロッパの国々は、この自然の生活空間で活発な貿易を行い、互いに補完し合ってきました。

しかし、新たな破壊の嵐が巻き起こりつつあった。

アジアの広大な草原の遠くの灰色：

チンギス•ハンは強大なモンゴル帝国を拡大した

太平洋からシレジアまで。1224年にキエフは

征服した。そして彼の軍隊が

南と西に、この有望な創造の光

バイキングは消滅した。

残った血は

スラブ人の人口。何世紀もの間、この土地は再び眠りについた

無文化の黄昏。

1700年頃、ロシアの貴族であり後に皇帝となった人物が、

ピョートル大帝は、ヨーロッパ流にロシアを統治しようと試みた。しかし、兵力的にあまりにも圧倒的に優勢だったため、

バルト海沿岸のドイツ人の小さな創造力と

スウェーデンからも、この巨大な国に確固たるリーダーシップを与えることは、長期的には不可能であった。

州。

この試みは2世紀も続いた。しかし、この状態は

死んだ仮面のままだった。その背後に隠されていたのは

数十の民族が混ざり合った無形の文化であり、民族の交易の過程で色彩豊かに混ざり合っていた。

アジアからヨーロッパへの放浪。

Machine Translated by Google

この民族混合は、
ステップ民族は、その歴史を通じて
文化と無文化、規律と
不規律と謙虚な信心と不信心との間の葛藤です。
それは永遠の殺人兵器としてふさわしいものだった
ユダヤ人とヨーロッパのアーリア人•北欧人の人類との対立。

ロシアの統治による血の犠牲の結果
世界大戦の階層、劣等な人間への道、
ユダヤ人が解放され、ボルシェビズムが勝利することができた。
1917年。

残った北欧の血は虐殺され、
ヨーロッパ文化の始まりが排除された。

何百万人もの人々がこのユダヤ人の犠牲になった。
ボルシェビキ [1] 酩酊。

ロシアで何が起こったかは、
動物の例:

我が家のペットたちが登場しました。多かれ少なかれ
何世代も前に野生動物から
繁殖対策。

再び野生化させてしまうと、
世代をまたいだり、悪い手に委ねたりすれば、彼らは
野生は彼らよりもさらに引き裂かれ、奇妙になる
自然の野生のままでした。

[1] 「ボルシェビキ」と「酩酊」の間には判読できない短い単語がある
カール•ハマーのテキストより。

Machine Translated by Google

この原則によれば、ユダヤ人の指導の下でロシア人は意図的に

群れの荒々しさ。

これは、ユダヤ人の悪魔によって構想されたものであり、

野生化したアジア人の何百万もの強力なパックは引き裂くべきである

ヨーロッパの人々とは別です。

北欧ゲルマン文化が失われ、魂のない世界でのみ

ユダヤ人は、この暗い世界を実現できると信じていたのだろうか？

世界の支配。

最近の例では、

リトアニア、ラトビア、エストニアの国境諸国を強姦した。

1940年6月からソ連は

アーリア人の支配層全体を殺害し、数十人を殺害した

その過程で数千人が犠牲になったが、リトアニアとホワイト

ロシアでもそれはドイツ国境で始まった。

キルギス人、カルムイク人、タタール人、そしてその構成員を定住させるため

他の遊牧民の。

ヨーロッパは遊牧民化するはずだったが、

豊かな文化的景観は、略奪攻撃の後、人がいない荒野と化してしまうだろう。

これまで以上に運命的に、ヨーロッパは

軍隊と戦うという古い任務の前に

破壊。

偉大な歴史的時代のヨーロッパの人々と同じように

過去の決定は、

Machine Translated by Google

ゲルマン人は、

共通の敵なので、この日も行進し、最高の

ヨーロッパの若者の一部は帝国の側に向かって

勝利と運命の転換。

歴史上、ゲルマン民族が

今日の我々が持っているような偉大なリーダーがいた

持つことの幸運。

しかし、この闘争の目的は最終的に

東からの永遠の危険を克服する。

インドゲルマン人、ゴート族、バイキングが

長期的には達成できなかったことを今達成しなければならない

決定が下され、永久に確保されました。

1000年以上前、バイキングは

ノウゴロド周辺地域における秩序ある帝国と

キエフは、勇敢に、そして独力で。

同じ地域で今日も同じ勇気を持って戦っている

そしてドイツ軍の枠組みの中で -

ヴァイキングの名を持つゲルマン民族の分派

ヨーロッパの運命の転換に対する誇り。

Machine Translated by Google

カンタベリー大主教、

英国国教会は1936年12月に次のように述べた。

「私は不信心さの危険について警告します。それはただ

ソ連では、大きな人間が

コミュニティは攻撃的な

不信心と反キリスト教の教えによって

階級闘争。それを防ぐためには警戒が必要だ。

この精神がイギリス国民の間にも浸透するのを防ぐためです。」

1941年7月末:

「犠牲を悼みつつ、ファシズムとの闘いにおいて文明の旗を高く掲げるロシア国民の輝かしい勇気と力強さに深く心を打たれます。皆様の最終的な勝利を確信しています。」

Machine Translated by Google

ゲルマン人の愛人

ギスラサガから

アウド•ヴェステインストヒターはビュールの妻になった
そしてアスガルドと共に農場を占領した。60頭
牛舎には牛が何頭も立っていた。アイスランドの女性の中で、
彼女が世話好きで能力のある女性であることに人々が気づく
まで、そう時間はかからなかった。
彼女の行動から彼女の賢さがわかる。
勤勉さと、多くのことに対する経験。

しかし、彼女は決して傲慢になることはなかったことも示されました。
彼女は他の女性たちよりも公正で友好的だった
彼女は部下に対しても優しく、寛大な人でした。

ギスリ•ソービョルンソンは、
彼はオードの仕事場を見て、心が温かくなり、幸せになった
彼女が彼の妻になったという考えで。彼の結婚は
彼女との穏やかで温かい生活、お互いを思いやる
一族の強化のために創造します。

外見上は、この深い絆はあまり目立ちません。
ギスリとオードは、両親から学んだように、感情表現を控えめにしていた。
純粋なゲルマン人のやり方に従って祖先を祀る。

「膝の上に手を置くなんて、間違った場所に置くってことよ！」とオードはよく若いメイドたちを笑いながら言った。そして若いメイドたちは、オードが手を膝の上に置くと顔を赤らめた。

Machine Translated by Google

夢を抱き、そして一緒に働きました

二重の熱意。最初はおそらくこれかあれか

ぶつぶつ文句を言ったが、すぐにその文句は止まった。

妻自身が働かないなんてありえない

良い例として設定します。

オードは夜明け前に起きてカードを作り、

パンを焼く。

ビュールには多くの同居人がいた。皆が

満腹になる。

そして、アウド•ヴェステインストッホターは

食事を用意してください！

小さな台所メイドのフレフナは喜んで彼女を手伝いました。

早朝の仕事が終わると、他の雑用も始まりました。

男たちがホールに現れたとき、そこにはすでに

テーブルの上には湯気の立つ粥と

広いスペースに焼きたてのパンがいっぱい。

オードは彼らに協力するよう促した。冗談が飛び交った。

はい、お互いに幸せになるという良い精神がありました

ビュール！

一人は喜んで日々の仕事に取り組み、皆が喜んで

開始したタスクは順調に進んでいます。

屋外作業は農場労働者の間で分担され、

しかし、家ではオードとアスガードが仕事を見守っていた

メイドの掃除やパン焼き

ミードと食べ物の準備。

Machine Translated by Google

夏にはベリーを摘み、庭の植物を植える

世話をする - 冬には女性たちが糸を紡ぎ、機を織った。

オードの手から生まれた美しくカラフルな服

熟練した手。周りの人たちは、彼女がどうやって

赤い絹に金糸が次々と通っている

祭りの衣装。時々彼女は

メイドたちに故郷のことを話してもらい、

両親や兄弟について。

メイドたちと女主人は仲が良かった。

フレフナ、ソーガルド、ヴィグディスはよくこう話しました。

違うのは、Aud Vesteinstochter以来のBruehlだった

妻としてそこで管理•運営をしていた。

Machine Translated by Google

「私はその男に強さを期待する。彼は
法の尊厳。しかし、女性は恵みによってのみ統治するのです。」
- フリードリヒ•シラー

Machine Translated by Google

子どもと結婚

フリードリヒ•ニーチェ

あなたは若く、子供と結婚を望んでいます。

しかし私はあなたに言う。あなたは

子供？

あなたは勝利者であり、自己克服者ですか？

感覚の主人、あなたの美徳の支配者？

そこで私はあなたに尋ねます。

それとも、動物と欲望は欲望から語られるのでしょうか?

それとも孤独？それとも自分への不満？

あなたの勝利と自由が子供を欲することを私は望みます。

勝利の記念碑を建てるべきである

そしてあなたの解放。

あなたは自分自身を超えて築くべきです。しかしまず、私にとってあなたは

あなた自身が、体も心もまっすぐにならなければなりません。

前進するだけでなく、向上していくべきです!

結婚の庭があなたをその手助けをしますように。

Machine Translated by Google

[編集者によるタイトル追加]

ドイツ思想

カート•エッガース

ドイツ思想は非現実的な理論を立てず、

奇跡を期待するのではなく、

彼がコミュニティにとってどれほど重要であるか。

それは個人の命を

民衆全体。

それは未来の尺度で現在を測る

現在。

個人の価値は小さくなるのでしょうか

コミュニティの偉大さの前で。

人格の価値は、

地域社会に対する模範的な効果に関して。

Machine Translated by Google

父の願い

SS事務所は次のような手紙を受け取った。
重傷を負ったオランダSS隊員の父親：

「ミデルブルグ、1941年9月24日」

「ここにあなたの受領を確認し、感謝いたします。
15の手紙 番目 今月、息子から手紙を受け取りました。左目がひどく損傷し、もう見ることができないとのことでした。

もうそれを見ることはないでしょう。」

「しかし、彼は明るく陽気な人です。彼の手紙には、彼が自分の人生のために払った代償が何度も書かれていました。
総統はそれほど高くない。しかし、彼の手紙には、ある恐れとある要求が書かれていることに気づいた。それは、不適格と宣告されるのではないかという恐れだ。
義務。彼の願いは、ヨーロッパの
再生。"

「息子ハンスの願いはただ一つ、退院しないことです。
どこかで兵士として任務を遂行し続けることだ。」

「私たちの望みは、ハンスが休暇でここに来ることです
短い時間。ハンスの切り抜き方が最悪だ
彼に起こり得ることは、
任務に不適格です。したがって、私はあなたに全力を尽くしていただきたいのです
それを防ぐために。」

Machine Translated by Google

企業の日々の業務命令より

司令官によって

北東部戦線での激しい戦闘の後

イェルニャの、 1./SSオートバイのフェルスターグループ

大隊は中隊の警備を任務としていた。

左側面 – 次のように見つかりました:

グループリーダーのSS伍長フェルスターと

最後の手榴弾の起爆リングに手を置いた。

頭を撃たれた。

SSロッテンフューラー•キアルバーの第一ライフル兵は、

機関銃はまだ肩にかかっており、

銃身で頭を撃たれた。

2番目の小銃手、SSシュトゥルムマン•ブシュナー、そして3番目の

SSシュッツェ•シマのライフル兵が塹壕の中で死亡した。

単独メッセンジャー、SS-シュトゥルマン•オルデボアシュイス、

マシンの前にひざまずいて手を

ハンドルを握っていた瞬間に落ちた

最後のメッセージを受け取ることになっています。

運転手のSSシュトゥルムマン•シュヴェンクは、

塹壕。

敵は半分に倒れた死体しか見当たらなかった

グループの位置の周りを一周する - 手榴弾の範囲内

範囲。

Machine Translated by Google

「防御」の概念の一例 !敬意を込めて

私たちはそのような英雄の前に立っているのです！

私はこれらの名前を

ドイツ軍の名誉ページ。

Machine Translated by Google

中立とゲルマン人の努力

「…そして私は明確にこう言います。私は知りたいし聞きたいのです
中立など関係ない…私が国境に来たら、あなたは
冷たいか暖かいかを宣言してください。神は戦うからです
悪魔はここにいる。私が神に頼りたいなら、来なさい
私にはそう思える。でも、もしあなたが悪魔に頼りたいなら、
必ず私と戦わなければなりません。テルティウム非ダビトゥール、
第三の選択肢はない、それは確かだ。一体何だ？
それは中立ですか ?理解できません。」

- スウェーデン国王グスタフ2世アドルフからゲオルク•ヴィルヘルムへ
1630年にブランデンブルクで生まれました。

この数週間、数ヶ月の間に、ヨーロッパの未来の運命は決定されつつあります。大陸のゲルマン民族の地から、健全な本能を持つゲルマン人のボランティアたちが
帝国側で戦うことを決意した。
ヨーロッパのための闘争のために、ドイツ民族と直接血縁関係にない人々も含め、全民族が勇敢に集結したのだ。

隣人として、あるいは共通の歴史を通じて結びついている。

一方、
当初は立場が明確ではなかった。彼らは電話をかけ、電話をかけた。
彼ら自身は「中立者」です。

Machine Translated by Google

時間が経つにつれて、

他の人たちの無色の態度は完全にそうではなかった

最初は中立的だったが、事態が深刻化すると、

イングランドとユダヤ人に部分的に有利な判決を下し、

ヨーロッパとその新秩序。支配層である富裕層

これらの「中立」な人たちは実際には考えたこともなかった

中立を保っていた。彼らは、

戦争勃発により、ヌップは国家主権を放棄する

彼らはまず領土を

帝国の敵の精神的な前進、すなわち、彼らはニュースサービス、新聞、ラジオを

放棄し、連合国の諜報組織を容認した。

「中立」の立場。

名誉、誇り、独立 - これらは一体何だったのか

彼らの残したお皿がそのまま残っていれば、彼らにとってそれは意地悪なことになる！

一方、これらの男性と

あらゆる迫害に抵抗して、

当時すでに新しいアイデアを肯定していた

あの土地での千年紀！

しかし、彼らのイデオロギー的反対者が

中立はせいぜい自己欺瞞に過ぎなかった。しかし、通常は

それは帝国を巧妙に欺こうとする試みであり、

彼ら自身の人々。彼らの裏工作員たちは誰も

この幻想的な政策の長期的な成功。ずっと以前から

彼らは「難しい決断」のために勇気を出した。

Machine Translated by Google

「国民のために」—国を去るために、彼らの飛行機は燃料補給され、準備万端だった。この哀れな逃亡は、彼らの全任務の論理的帰結に過ぎなかった。それは、彼らが占領していた土地がドイツ軍に占領された時と同様だった。

誤解された。だから困窮した見捨てられた人々は
自分たちの状況を理解するための第一歩を踏み出す。つまり、彼らは周囲の助けを借りて、
彼らは単に戦争に巻き込まれただけだった
イギリスの計画を駒として利用した。彼らはさらに
イングランドは彼らの独立を尊重し、彼らが駒として使える限りはパンを彼らの籠に残しておいただけだったと認識しなければならない。この認識は

苦い経験だった。いつもそうしなければならないのに、
自分が犯した根本的な誤りを認める
彼の存在全体を築き上げます。

占領された「中立」地域における広いサークルは依然として
状況を部分的にでも理解する気はない。
なぜ、そして何のために、この無益な頑固な不機嫌な状態が続いているのでしょうか？それは、敵が、ある意味で、これらの人々を本当に「無力化」することができたからです。つまり、彼らは
彼らの歴史的、ゲルマン的なビジョンを奪った
起源のため、自らの尊厳のため、政治的現実のため、そして
真のヨーロッパの力関係。
近年、ユダヤ人移民によって助けられた
ドイツから来た。彼らと同盟を結んだことで、彼らは

Machine Translated by Google

ゲルマン起源の小さな民主主義国家における政治思想の完全な麻痺を達成した。政治的思想の偏見のない独立した発展はすべて、

意見は最小のものまで消えた

残骸。所有物への健全な欲求、獲得と繁栄への健全な本能は、もはや単に生活を支えるためだけのものではなく、むしろ人生そのものの内容と目的へと高められた。

だから名誉と誇りは阻害されなければならなかった。

「自由と人権」を誇りとするこれらの国々では、体制とは異なる考え方や行動をとる自由が与えられ、

「社会」や大衆よりも、ボイコットされ、

経済的に破滅した。そこで商人の魂が蘇り、英雄的な起源の記憶をすべて窒息させた。

ゲルマン民族と明確な決断への意志。

その日だけを生き、頭を砂に突っ込んだ。

その結果、ある日、そして実際近い将来に、決定が下されるなどとは誰も信じていなかった。

交渉したり買収したりできないものを要求した

お金。

この怠惰と不名誉の精神は

人々に完全に感染することは、すでに非常に早い段階で彼らの献身を捧げた勇敢な男性と女性によって証明されています

勝利のために財産と血を捧げた

Machine Translated by Google

彼らの土地における国家社会主義。特に、

農民のサークル、つまり一日限りの虫のように生きるのではなく、むしろ向こう側を見ることに慣れている人々

植物であっても、

動物の飼育、あるいは世襲農場から世襲農場へと自分たちで移り住むこと。これらの国家社会主義者は、中立が

これらの土地には実際には存在しなかったし、これらの土地は

イギリスに縛られていた。いや、これらの国民は

社会主義者たちはさらに前進した。彼らの土地の空間的なつながり、歴史的なつながりへの深い洞察、そして真のヨーロッパの力関係が彼らを

認識に続く :中立はその瞬間にある

血縁関係にある民族が自らの命と兄弟の命のために戦うことは道徳的に不可能である。この認識に基づき、これらのゲルマン民族から数千人の志願兵が

帝国に隣接する国々はその後前線に流れ込んだ。

共通の闘争のために流された彼らの血は、いつの日かゲルマン諸国を分かち難く結びつけるだろう

また。

しかし、私たちドイツ人と「中立国」は反省し、

次のことを想像してみてください。

これらの「中立」な人々の名誉と尊敬は、

ボランティアは彼らの陣営から来なかったのか？ !これらの

ボランティアの努力と最初の

Machine Translated by Google

彼らは自らの領土の門を開き、新たな偉大な運命の到来を許した。大陸の生命の中心としての帝国を明確に支持することで、彼らは何世紀にもわたる苦難から人々を解放した。

隔離と女性化。これらのボランティアは

彼らの土地の歴史が、将来、単なる物質的な生活の享受の歴史以上のものとなることを、彼らは気にかけます。「中立」派の人々は皆、いつか、もし彼らが

この戦争を彼らの決定的な転換点として認識し、

彼らの人生の歴史も - 彼らの若い息子たちの英雄的行為と犠牲の意識が何世紀にもわたる彼らの歴史における最も偉大な行為であったことを率直に認めます。

Machine Translated by Google

最初に

当時の司令官の最初の演説から
I./SSノルトラントは、
1940年6月25日の大隊：

デンマークの国家社会主義者は、
ドイツでは同じ血。血、人種はより強い
言語や民族よりも。

言語と民族は自由に生き続けるべきだ
新たなゲルマン主導のヨーロッパでは、制約を受けずに、
二度とゲルマン民族を分裂させたり、
彼らを敵に仕立て上げる。

これは新たな偉大な時代の始まりです。

あなたはこれを理解しました。

あなたは、死を免れない敵と戦いたいのです
全世界のユダヤ人に対して、スワスティカを掲げ、
多くの勢力がそれによって惑わされた。

あなたは北部の代表者の最初の人です
ゲルマニアは、あなたの民の名誉のために、
闘争のチャンピオンであるドイツへの道。

あなたには奉仕し戦うという誇りと名誉がある
史上最も偉大な男の監視下で、
アドルフ•ヒトラー！

Machine Translated by Google

ある日､子供や孫たちはあなたについてこう言うでしょう。

「彼らは､この世界の戦いが何のために戦われたのかを最初

に認識したごく少数の人々に属し、

ゲルマン人の同胞の血を裏切らなかった

「卑怯な中立」

Machine Translated by Google

ゲルマン人の憧れ

真のゲルマン人の中には、古きバイキングの

憧れは今も生きています。偉大なものを求める

人生の冒険、闘争のための闘争。

この冒険への欲求はゲルマン人を

人生の船を危険な高みへと導く

いわゆる運命に挑戦するために存在する

決闘。運命との闘いの中で、心はいかに

それは強い、そして旅立った戦士の魂

どれだけ北欧の血が流れているかを争う。

自分の心、自分の魂を見つけることは、

このゲルマン人の憧れの最終目的。

偉大な旅から家に持ち帰る

冒険とは、私たちが今でも言葉で言うものです。

経験！

かつて大戦に赴いたことのない

地球はそれを手に入れることは決してないだろう

経験は人を賢く、より成熟させ、

そしてより強くなる。だから北欧人は

「ストーブの後ろの男」がなぜ女性のスカートにしがみつくのか

そして決して「遠くから戻る」ことはできない。

冒険への真の欲求は混同されるべきではない

戦利品への欲望。真の戦士は

Machine Translated by Google

戦利品のために彼の心を汚す。勝者は当然、敗者の所有物を手に入れる！

我々北欧民族の英雄歌では、勇敢な人生を達成した例として男性を讃える歌はない。

所有物に基づいて評価されるのではなく、むしろ、何の懸念もなく未知の世界へ飛び込み、戦いに挑み、

彼らの心を計る。

彼らが決定的な剣を振りかざした態度

打撃を受けたり、あるいはより強力な敵に出会った場合は、一人で受けた

興味をそそるものでした。

男の心の偉大さは反抗によって証明された。

環境に対する反抗的な「それでも」。そして

自分の意志を刻印できる人は

たとえ死んでも、環境を守る人は「英雄」だった。この理想は

ベートーベンは、聴覚障害（最悪の

音楽家としての運命は彼にますます降りかかり、

反抗的で誇り高い言葉: 運命の顎に

手を伸ばしたい!

反撃する男、あえて反抗する男

彼を曲げたり破壊しようとする状態が主であり、

彼の運命の創造ではない。

ゲルマン人の試練への憧れは冒険への創造的な欲求を生み出し、そこからヴァイキングが

Machine Translated by Google

彼らは、破壊的なものではなく、むしろその逆で、文化をもたらし国家を創設する戦争遠征を行った。

知識獲得のための闘争において、ゲルマン人は

研究者や発見者、芸術家や学者は

彼らの素晴らしい作品がなければ、今日の文化もコミュニティ生活も、

文明。

北の男は行動を起こすために駆り立てられる

彼の強みを伸ばすために、彼の存在を証明する。

彼が「永遠」を勝ち取るとはどういうことか。なぜなら、

エッダによれば、「

裁判がなければ、

価値を証明する。危険な努力なしには、確認はできない

手招きする憧れの真実さを！

確固たる行為を通して仲間の模範となる者は、彼らの記憶の中に生き続ける。

忘れられない存在であり、名声を博し、

だからこそ「永遠」というのだ。ゲルマン人の切望は、人類の運命に縛られたこの世における「永遠」を求めることで頂点に達する。北欧人は自らの命のために戦うことしかできない。

競争し、その競争の中で戦い、愛し、死に、そして永遠になるのです。

あらゆる冒険、あらゆる戦争への準備、あらゆる危険は

人種の強さの発展に役立ち、したがって最終的には

Machine Translated by Google

実りある人生を送るという目的。それがポジティブな
創造的な、ゲルマン人の落ち着きのなさの意味。
　本能的な破壊的な落ち着きのなさもある
遊牧民は、冒険への欲求を持ち、
創造的な強み :私たちは、そのような戦利品ハンターを
東洋人、特にユダヤ人。我々は彼らを軽蔑する。
我々の人種の誇り高き自意識のせいで、
任務を遂行するために剣を振るう者。
　この戦争は我々ゲルマン人に大きな
創造的な課題。私たちの前にはヨーロッパがあり、
分裂から、その「魔法の眠り」から解放されて
それはオカルト的な国際的勢力によって沈められた -
それが私たちにとって新たな故郷となるならば。
　私たちは、
昨日まで閉じ込められていた人たちは
この闘争の意味を理解し、
おそらく私たちを「狂人」とみなしたいのでしょう。
　私たちは信仰が強く、
明日も明後日も
未来は私たちのものだ。慈悲など求めない。
むしろ正義だ !だから我々は兵士になったのだ
ヨーロッパの新秩序を担う総統の
若者の権利の観点から。
　私たちの祖先の間では、それはすでに
英雄的なリーダーの下で戦えることは光栄です。私たちは

Machine Translated by Google

幸せなのは、
最大の英雄的蜂起によって特徴づけられる
ゲルマン人ではなく、総統の兵士となること
ゲルマン人の憧れに剣を与えた。
　昨日はまだ夢だったものが、今日は
現実。昨日まで裁判を待ち望んでいたのに
情熱的な行為ならば、今日総統は私たちに
歴史的な試練の時。私たちは、これからのヨーロッパが
ゲルマン人の権力への意志が続く限り、
総統に起こされて、生きたまま目を覚ましている。
　そして、私たちは何度も何度も
憧れ、冒険への欲求、準備、そして
私たちの確信は生命のための闘いへと流れ込む
我々の人種の権利。

Machine Translated by Google

より簡単な道

小さな町にSS部隊がありました

シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン州。彼らは

多くの戦いを経験し、妻や子供たちはSS国家指導者から与えられた修道会の

規則を守り、意識的に生活していた。

ある日、クレッチマーという名の若い男が

部隊に入隊するよう要請されたが、希望する者は

SSに入隊するには、まず彼が

性格は注文の要件に適合します。

クレッチマー氏は訴訟が進行中であることを認めた。

彼に対して不利な判決が下された。しかし彼は無罪判決を確信していた。

そこでSS部隊のリーダーであるブロデルセンは、裁判所の決定

が出るまで要求を延期した。

数週間後、クレッチマーは再び報告した。彼は

裁判所の判決は明らかに無罪判決であった。

しかし、同じ時期に、

クレッツマーと同じエリアで部隊の前に現れた

リーダーにこう言った。「ユニットリーダー、私たちはこの男を拒否しなければなりません。

私の目には彼は臆病者に見える。」この非難は厳しく、

部隊長のブロダーセンは突然

ピーターセンは鋭く言った。「彼の名誉は再び

立証されたため、裁判所は彼を無罪と決定した。

Machine Translated by Google

あなたはその厳しい判断をどう正当化するつもりですか？」

ピーターセンは、よく知られているユニットリーダーが

彼は特に正義感にあふれていたので、

異議を唱えた。しかし彼の態度は毅然としており、視線は自由だった。

彼はこう答えた。「州の法律によれば、クレッチマーは無罪である。しかし、

SSの暗黙の法則に従えば、私は彼を有罪としなければならない。」

その後ピーターセンは、自分が発見したことを報告した。

クレッツシュマーはほんの数時間前にこう言った。

「数ヶ月前にこの危険な

仲間のヨーゼフ•マムザックはノイミュンスターに移住した。

彼が赤軍に属していたのか、

反動主義者たちへ。たとえ半日ここにいても

ノイミュンスターから離れて旅をする私たちはみんな

それにもかかわらず、このマムザクによる攻撃について聞いた

ゲルトルート•イェンセン。裁判所の証拠によれば、

クレッチマーは現場から50メートルも離れていなかった。

犯罪である。だからこそ検察官は

クレッチマーは襲撃に参加していた。一方、

クレッチマーはこの点に関して無実を証明することができた。

そしてそれが裁判所が彼を無罪とした理由です。州と

一般大衆にとってはそれで終わりだったが、

SS隊員には無理だ！クレッチマーはまともな人間だから

少女を助けたはずだ。彼はそうしなかった。したがって、

彼は臆病者だ。」

Machine Translated by Google

部隊リーダーのブローダーセンの統治は、冷静に、そしてあらゆる状況下で
状況に応じて、判決を下す前にまず被告人の話を聴く。
そこで彼はクレッチマーを呼び出した。彼は
粗野なマムザックと酒を飲んでいたことを認める
女性に関する卑劣な話を語ります。去った後
彼はすぐに彼と別れた。実際、彼は後に
少女は悲鳴を上げたが、マムザックは
ナイフを持った暴力的な男だったが、彼は彼と対等ではないと感じた。
したがって、彼は独自の道を歩んでいた。

部隊長は表面上は冷静を保っていた。彼の答えは
冷たく、否定した。「クレッチマー、運命は君を
その瞬間の決断 :困難な道を歩む
自分自身への危険を気にせず、立ち上がる
少女に守られるか、あるいはより簡単な道を選ぶか
自身の骨。最近、帝国指導者会議で、国家指導者は再びSS隊員は
常により困難な道を選ぶ。
そうするなら、私たちはあなたを拒否します。」

Machine Translated by Google

忠誠心と名誉に反する罪を犯すのは、

人は、何もしないことで自分自身や他人の名誉を失ってしまう。

SSが被害を受けるのは、むしろ何よりも、

他人の名誉を尊重したり、

他人に聖なる者とみなされるか、男らしく礼儀正しく振る舞わないか

不在者、弱者、無防備な人々のために立ち上がる。

- 我らが帝国総統、1935年

Machine Translated by Google

いろいろ

SSの国家指導者による

この世には多くのことが許される、とSS隊員に教えている。しかし、一つだけ決して許されないことがある。それは不忠である。忠誠を破る者は、我々の社会から排除される。

忠誠心は頭ではなく心の働きだからだ。頭は誤りを犯すこともあり、時にはそれが有害となることもあるが、決して修復不可能なものではない。一方、心は常に同じリズムで鼓動し続けることが求められ、それが止まれば、人は国民が死ぬのと同じように、忠誠心を破った時に死ぬのだ。

ここで私たちが語っているのは、あらゆる種類の忠誠心である。総統への忠誠心、つまりドイツと

ゲルマン民族への忠誠心、彼らの知恵とやり方への忠誠心、血統への忠誠心、つまり先祖や叔父、一族や民族への忠誠心、仲間への忠誠心、そして最後に清潔さと騎士道という良き子孫の変わることのない掟への忠誠心です。

人は、自分自身や親衛隊の名誉が損なわれるのを受動的に許すときだけでなく、とりわけ、他人の名誉を尊重しなかったり、他人が神聖視しているものを嘲笑したり、弱者や無力な者、身を守るためにそこにいない者を非男らしく不作法に守らなかったりするときに、忠誠心と名誉に対して罪を犯すのである。

Machine Translated by Google

三重の封印

ドロテア•ホラッツ著

仕事量が多かったため、

イギリスとの戦争中に重傷を負って病院に運ばれた夫の出現について、若い

妻に準備を怠ったか、

彼女に傷の状態を十分に説明するため。

看護師が彼の部屋のドアを開けると、

他の2人の負傷者と共に、妻は

ベッドの中で無力だった。3人の男は皆包帯を巻いていたからだ。

頭がいっぱいで顔が見えませんでした。看護師が手伝ってくれました

彼女は窓の方を指さしながら、それぞれのベッドの頭にある

名前のプレートを指差した。そこにはミイラの後ろに誰が横

たわっているかが書かれていた。そして

妻は、その地名から、

彼女の前にいる動かない人物は彼女の夫だった。

彼女は二晩かけて彼を訪ねた。彼女は彼の上に身を乗り出

し、優しく呼びかけ、右手に手を置いた。

手の動きがあり、シャッターが

彼は黙ったまま、もう片方の手を握った。

布団の下から。二人とも無傷だった。看護師は妻のために椅子をベッドに押し

寄せ、

10分以上部屋に留まる。

Machine Translated by Google

妻が夫の両手を握り、

彼女は、答えが得られないのではないかと恐れていたため、また、おそらくは、人生の同志であり、彼女の父親である

子供たちを彼の目や口や言葉ではなく、彼の手だけで育てていたので、彼女は彼が永遠に彼女から引き離されてしまうかもしれない、そしてもしかしたらもうすでにすべてが終わっているかもしれないという恐ろしい恐怖を心に抱いた。

彼女は向こう側にいるもう一人の男に尋ねたかった

部屋の中、夫に何が起こったのか、しかし、これは

他の男も三人目も動かずに横たわっていた

頭には包帯が巻かれており、その厚い包帯の下で彼らが耳が聞こえたり話したりできるかどうかは何も分からなかった。そこで彼女は

しばらく座っていましたが、何をすればいいのか分かりませんでした。

傷ついた夫は、必要性を感じ、

妻の無力さに気づき、彼は手を上げて、夜の寝室のガラス板に指輪を3回叩いた。

テーブルはすぐに同じであることが判明した

要求として、次のようなものです。「助けてください、同志。私がまだ話せないことはご存知でしょう。」

いずれにせよ、3回のノックの後に

人間の声は、たとえ理解しにくくても、

反対側の壁の白い包みから

声は短く、規律正しく、まるで命令を執行しているかのようだった。

「私たち全員が撃たれたことをお知らせするはずだった

Machine Translated by Google

顔に言った。そしてその後、かろうじて聞こえる声でつぶやいた。「さて

私たちはもう可愛くないのよ。」

　同時に、この運命的な言葉に付随するかのように、夫の手が彼

の

妻の腕を肩越しに頭の方に回し、

彼は彼女の顔を彼の手に引き寄せた。そして、信頼し、守ってくれ

る手のひらに抱かれ、彼女の心は静まった。

そして彼女はまた話し始めました。

　彼女は些細なこと、取るに足らないことをランダムに話した

日常生活の出来事。彼女は、赤ちゃんが元気だという知らせ以外、

これらのことについて話すつもりはなかった。彼女は家の前のリ

ンゴの木について話した。

前庭、外の天気、彼の健康

家に小さなカナリアがいること、ゲーテの最新版の装丁のこと。

友人に小さな娘が生まれたこと、庭にバラが咲いていること。

公園で。彼女は間髪入れずに、まるで歌のように優しく話した。

彼がそれを聞いたかどうかさえわからなかった。いずれにせよ、彼

の手が彼女の手に押し付けられていたことから、彼が

彼女の言葉を吸収した。

　時間がなくなったのを見て、彼女は

ついに彼に本質を伝えざるを得なくなった

彼に大切なことを理解させ、彼女は彼に、今は本当に彼を愛して

いるのだから、

傷や傷跡を心配する、本当の傷跡は

Machine Translated by Google

王国の男にふさわしいようなものだった。彼女は本当に
これをできるだけ柔らかく、ほとんど無関心に言おうと努力したが、
彼女は彼がどれほど喜んでいるか知っていた。そして彼の手が
感謝や挨拶として、再び彼女の存在を感じた。
彼女は開いた手のひらに唇を当てて3回キスをした
何度も、ゲームのように素早く、そして彼は
彼女の衝撃を感じ取った。もう一方の手も同じ経験をした。
そして彼女は両手を合わせて立ち上がりました。

***

彼女が去ったとき、別の男が残された。
再び希望と幸福を持って未来に目を向けました。
妻の態度は男の犠牲にその
最終的な、そして偉大な意味。そこから彼の強さと
妻の忠誠心が彼に回復をもたらし、
生きる勇気。

Machine Translated by Google

男の最良の同志は（女の)同志である。

- ゴーチ•フォック

Machine Translated by Google

母の偉大な愛についての戦争物語

彼女の息子

EKによる

息子が

戦闘中に行方不明になった者の一人だった。

台所の窓の下の栗の木は

苦しみや死について何も知らない。

母親の涙にもかかわらず、喜びにあふれた。近所の女性は

できるだけ頻繁に、そしてできるだけ慰めようとしました。

「行方不明になることは、倒れることほど悪いことではありません、奥様。」

シュローダー。見ていてください。いつかあなたのウィリーが来ます

嬉しそうな口笛を吹いて家に帰る！よくあることだ。

先週ウェンドロフスキー夫人が、彼女のマックスも

行方不明で、足に負傷し、

私たちの勇敢な若者たちが彼を再び解放するまで、彼は囚人でした…」

年老いた女性はうなずいた。

「彼は私に約束したんだ、私のウィリー。彼は戻ってくる、彼は

イースターでなくても、ペンテコステで、そしてもし状況がまだ

その時までに静かにならない場合は、栗が

秋、彼はいつもそこから子供たちのために船を彫りました。

「覚えていますか、リヒター夫人？…」

「はい…」と隣人はささやき、そして逃げていった

白髪の小柄な女性の厳粛な落ち着きから。

3ヶ月後、シュローダー夫人はまだ待っていた

息子のために。彼女は息子が死んでいるなんて信じられなかった。

Machine Translated by Google

以前は彼女は日曜日にしか駅に行っていなかったそしてプラットフォームの前のベンチに座った午後の時間帯に何かを待つために彼女の孤独な生活に再び喜びをもたらすだろう。

ウィリーはいつかここに来るだろうし、迎えに来てもらってとても嬉しかった。もしかしたら彼は長い間病気であったり、怪我をしていたりする。

今日、混乱した女性は日曜日のドレスを着て週の真ん中。今日は彼女の息子の誕生日でした。彼の部屋には花瓶があり、小さなテーブルがあり本は整理され、新しいリネンが敷かれていたベッド。

残念なことに、駅のベンチはすでに今日は忙しい。シュローダー母は歩きながら興奮してプラットホームの前に出て行った。ちょうどその時、電車が西から到着した。彼女は旅人たちの波を見つめた門をくぐってきた人。もし彼が家に帰ってきたら今日、彼の25番目 誕生日、彼女のウィリー、そしてすべて大丈夫だろう。すべての孤独、すべての憧れ、すべての待ち望、そして一人っ子のことを心配しながら…

誰かが小柄でやつれた女性にぶつかった。重い荷物がガタガタと音を立てて滑り始め、杖が地面が固くなり、声が叫んだ。「しっかりしろ若者よ、落ちないように！

しかし、母親のシュローダーはすでに掴んでいて強く抱きしめられた。灰色の野戦服の兵士が彼女の隣にいて、コートを着ていた

Machine Translated by Google

しわくちゃで、帽子は色あせ、やつれた肩の上に

リュックサックは高く積み上げられ、金髪のモップと子供の目は青く澄んで

いて、探しているようで、腕は包帯を巻かれ、苦労して

片足を引きずる。

「ウィリー！」母親のシュローダーはよろめきながらどもりながら言った。

驚いて彼は頭を上げた。恥ずかしそうな笑みを浮かべた。

彼の痩せた顔に、そんな表情が浮かんだ。「どうして私の名前を知っているんですか？」

彼女はまだ彼の腕を握っていた。声は奇妙だった。

しかし、その頭、輝く目をした愛しい頭、なんとその目は、まさに彼女の息子の

目だったのです。

「何か運ぶのを手伝ったほうがいいかしら？」

彼は本当に笑った。「もしあなたがそうしたいなら、お母様、

暑さで体が弱くなると、

長い間入院していた。でも、勘違いしてるかもしれないけど、

お母さん、僕の名前がウィリーだとしても。」

彼女は何も答えなかった。彼女は彼の隣を歩き、

灰色の布でできた包みを運んだ。彼は

彼の進歩は遅く、彼女はしばしば彼をサポートしなければならなかった。

「こうやって抱っこされても平気だよ。ありがとう、小さなお母さん」

もしあなたが親切に、どの電車に乗るか教えていただけたら

カールスホルストに行くべきだと思う。道が分からない

ここ。私の親戚はカールスホルストにいます。

一度行けば、もう家はないけれど、もしかしたら永遠に休暇があるなら…私

の手のために…見て、小さなお母さん！」

Machine Translated by Google

「小さなお母さん」という声が聞こえた。指が滑るように動いた。
硬くなった手首を優しく、優しく撫でた。「さあ、さあ
「坊や。ここの道に沿って行けば、あそこに着くよ。」
彼は疑わしげに顔を上げた。「もう
カールスホルスト？
「いや、坊や、そこが家だよ！」
"家？"
彼はその信じられない言葉を繰り返した。何が起こっているのか
あの奇妙な女性と？彼女はそうではなかったかもしれない
頭は完全に正しい？でも彼女の話し方と
誰も彼をそんな風に見たことがなかった
彼の貧しい孤児としての生涯。
「でも、私は本当に別の人なんです…」
「おいで！」と彼女は言い張り、涙が流れた
長い麻痺の後、初めて穏やかな
救済の川。「私のウィリーは行方不明で、今日は彼の
誕生日。ベッドに新しいリネンを敷き、
チェリーケーキ。そして、ええと…ええと、私は思ったんです…ほら、坊や、あなたには
母親がいないし、私には息子がいない。それでいいじゃないか
一緒に。"
それで、若くて奇妙なホームレスの兵士は一緒に行きました。
彼は足が不自由であったにもかかわらず勝利者のように歩いた。
シュローダー母は世話をし、
愛、それが女性にとって最も必要なものです。

Machine Translated by Google

出版年

1942

Machine Translated by Google

ヒューストン•スチュワード•チェンバレン

ヒューストン•スチュワード•チェンバレンは9月に生まれた。
1855年9月、イギリスのポーツマスでサウスシーに生まれる。彼の青年時代は
最初はヴェルサイユで過ごし、その後スイスを中心に様々な
国を転々とした後、1885年からドイツに居住した。1908年、チェンバレン
リチャードの末娘エヴァ•ワーグナーと結婚した
ワーグナー。1909年にバイロイトに移り、1927年1月9日に亡くなるまでそこで暮らした。

チェンバレンは教育と職業において
自然科学者として、彼は最初の基本的な
人類の役割についての作品
歴史。この著作によって彼はドイツの本質とその政治的使命に対する偏見のない評価を獲得した。
世界。これが部外者の声だったという事実は、
特に、
島の名家との交流は、彼の著作の重みを増した。チェンバレンは彼らとともに、
彼の時代には、そしてまた誤解されたままだった
世紀の変わり目のドイツ。アドルフ•ヒトラーはこう書いている。
1924年の『我が闘争』では、ドイツ政府の官庁がヒューストン•スチュワード•チェンバレンの情報を無関心に無視していたと記されている。

Machine Translated by Google

その事実はチェンバレンを動揺させることはできなかった。

第二次世界大戦におけるドイツの不運。彼は死ぬまで、

帝国。彼の意見では、帝国でのみ、真に

世界ユダヤ人に対する偉大で効果的な敵が現れ、残された人々

の救済が始まります。

Machine Translated by Google

自由の国

ヒューストン•スチュワード•チェンバレン

第一次世界大戦中､数少ない自由なイギリス人の一人であった
ヒューストン•スチュワード•チェンバレンは次のように書いている。
「ドイツの世界観」というタイトルで

最も重要なのは､合理的で完全に
自由主義的な信念を持つイギリス人であったが､広大で深い知識を持っていた -ジョン
スチュアート•ミル- 19世紀中頃に述べた 番目 世紀：

「ドイツでのみ、
精神とは一体何なのか !よく覚えておいてほしい。「ドイツだけ！」これは正直な賢者だった !彼は､最高のドイツ人が皆知っていて言っていたことを裏付けている。しかし､政治的情熱に惑わされ､惑わされ､精神的に色盲になった私たちの多くは、
- 知らない､理解していない､そして知りたくない
認めよう :地球上でドイツだけが
真の自由…この自由は、
特定の人々はそれを魂の財産とみなしています。それは与えられることも､奪われることもありません。

人間は自由である。自由にならないのは、
種子の発達を「なる」とみなす
開花に向けて､おそらく遅くなったり抑制されたりしている

Machine Translated by Google

外的な障害。誰も他人に自由を与えることはできないが、自由への道を示すことはできる。

名誉あるクロプシュトックは正しいドイツ語を話します
彼が言う「彼自身が
考え、めったに真似をしない人は自由人である。
このドイツの内なる真の自由の概念の象徴は
すべての人の自由を無条件に尊重する
ゲーテは言う。「私はただ、
自分や他人にとって何が役に立つのか、そして誰が役に立つのかを知っている
彼の気まぐれを抑制するために働きます。」

それが重要な点です !ジョン•スチュアート•ミルが言うように
ドイツでのみ自由が何を意味するのか理解できる
精神の本質が何であるかを付け加えると、それは
ドイツでは気まぐれを反対のものとして見ているのか
自由を破壊し、気まぐれを認識する
自由。

さらに、ゲーテが次のように言っていることは非常に重要です。
彼の気まぐれを抑制するために「働く」…それらは
戦う傾向を与えられた自由と呼ばれる
彼ら自身の気まぐれ :個人の真の自由のために
全体性と同様に、自己の岩だらけの泥沼の上に成り立っている
統制と自己決定。…ドイツの自由は
与えられたものは魂の特性として存在し、勝ち取らなければならない
内なる葛藤と内なる成熟。それは行為であり、
耐え忍ぶ姿勢…それは生きられた世界観です。
このドイツの自由の差別化は顕著であり、

Machine Translated by Google

どこで比較しても、例えばフランス人は、ユグノー教徒を追い出し、フランク•ゲルマン貴族を殺したため、「自由」の概念が何を意味するのか全く分かっていません。むしろ、彼はそれを単に個人の気まぐれの無限性と見ており、したがって真の自由とは正反対です。

フランスを旅した人なら誰でも、
地域で放縦が蔓延している。
　それに加えて、平等を望む者（そしてそれがフランス人の支配的な情熱である）は自由を望むことはできない。なぜなら平等とは、あらゆる差別化、特別扱いを禁止する、愚かな多数派の平準化意志の強制的なルールだからである。
いる。
　しかし、もっと興味深いのは、
血縁関係のあるイギリス人とは、今日でも
（1914年）は、当時の混乱の中で、大多数の人にとって自由人の好例であり、自らも自由人であると自認しているように見える。イギリス人がドイツ人よりはるかに遅れており、実際には政治的な外見は欺瞞的なものであるに過ぎないという証拠は、優れた分析と言えるだろう。
自由。すべての海上民のように、住民のように
ドイツの沿岸地域も - 真に形成された
イギリス人は、自信という特徴をかなり備えている。それは「自分の足で立つ」ことであり、自給自足である。それは結局のところ、破壊的な環境との日々の闘いという習慣に由来する。

Machine Translated by Google

こうした要素が育まれる。勇気、機敏さ、そして忍耐力も同じように育まれる。この民族がこれまでも、そしてこれからも、素晴らしい人材を輩出し続けるであろうことを否定できるのは愚か者だけだ。なぜなら、与えられた環境が彼らを絶えず成長させていくからだ。

14世紀のスコットランドの詩人 [番目] 19世紀の詩人はこう歌った。「自由とは

地上のすべての金よりも高く評価されるべきである」と。

自由という最も崇高な概念が

こうした自然な傾向から、こうしたものが生み出されてきた。しかし、歴史は異なる方向へと進んだ。ドイツは民族が直面した最も困難な試練を経験し、「気まぐれを抑える」方法を学ぶ十分な機会を得たが、イギリスは、

保護海は、全く逆のことを経験した。

内面は静まり、世界全体が開かれた

略奪と抑圧のため。その指導原則は

それ以来、イギリス人は自由民となり、他のすべての民族は今日も、明日も神から与えられた戦利品となった。

その瞬間から、イングランドの政治は本質的に略奪となった。

しかし、ドイツの世界観によれば、自由は、

他者の自由の尊重 :すでにこのことから

そのような強盗民が

本当に自由ではない。

高く評価されている議会制政府は常に少数派による統治を行ってきた。議会は外交問題を扱うことは許されておらず、

Machine Translated by Google

戦争や平和条約の宣言に関して決定的な発言力を持つのは、ごく少数の、多かれ少なかれ暗い紳士たちの徒党だけである。彼らは金権と、完全に腐敗した犯罪的な報道機関に密接に依存している。

ドイツ国家（
1914年、イギリスの山々の上にそびえ立つ
人間の尊重、人間の尊厳、そして人間の自由を尊重する。イギリス人は最初から、自由とは国家に対する義務の欠如であり、それ以上のものではないと理解していた。偉大なイギリス革命の絶頂期にはすでに、その主要著作「国家の至高の統治」は、

人民集会」（リルバーン、1643年)は次のように宣言した。
強制的な兵役は決して導入されるべきではない。
自由を停止することになるからだ。道徳的な
したがって、個人と全体性の間には繋がりが欠如している。その基盤の上に立つと、個人も民族も真の自由を獲得できない。だからこそ、イギリス人は喜んで外国人による戦争を容認するのだ。ヨーロッパではたいていドイツ人、アジアでは…

インド人 ;イギリス人はすべてのことに無関心だった
計り知れないほどの宝を持ち帰ることができる限り
島を取り囲む波の壁の向こう側で安全に。イギリス帝国の拡大の歴史は、おそらく世界史上最も不道徳なものだろう。最も忌まわしいのは、偽善への義務であり、それは

Machine Translated by Google

生命の法則へと高められた。波が金塊を守るように、この国の略奪の意志も
嘘の海の背後にバリケードを築き、
正直な人のほとんどはもはや何が真実なのかを知りません。

この戦争（1914年)で私たちが驚きと衝撃とともに経験したのは、
ドイツは、何世紀にもわたる毒の果実の最後の一つに過ぎない。
実践です。アイルランド、インド、アフリカ、中国、エジプトについて私たちが聞いたことはすべて
嘘。国家の存在全体が嘘の上に成り立っているとき、
自由は個人のものであれ、民族のものであれ、
どこから来たのか？イギリス人個人は依然として高い
ある程度真実を愛し、高貴で、親切だが、それでも
嘘をつく義務を負っている。したがって彼はすべての権利を奪われた召使いである。
真の精神の自由は、常に
宗教に関するあらゆる公的な事柄における指揮命令系統
そして状態。

それに比べてドイツの自由はなんと偉大なことか！すでに何度も指摘されているように、自由とは真実であること、つまり自由である。自由とは真実である。
本当に、それは彼の本質に完全に合致するという意味です
彼は自分の本性と完全に調和しており、自由です。

Machine Translated by Google

Machine Translated by Google

フィンランドの忠誠心

イルヨエ•フォン•グローエンハーゲン

北欧人が

忠誠心は彼の特別な特徴である。単純で真面目な性質と同じように、男性も単純で明快で、行動力がある。

厳しい運命を乗り越えて、少し厳しく、そして意図的に、

しかし同時にユーモアに溢れ、

何よりも忠誠心。堅固で、間違いのない運命の忠誠心は

偉大な人物と祖国に。

個人的な経験から、

伝統と父祖の精神は

フィンランドの農民。

私たちの一族は肥沃で美しい地域に土地を所有していました

南フィンランド。1888年、私の祖父は

私たちの最後の一人は、中世の教会に埋葬されました

村。あれから現在までどれだけのことが起こったことか。祖国を守るための激しい戦闘、冬の到来

1939年/1940年の冬に戦争が勃発し、その後

復興と新しい国の開花が起こり、独立を果たしました。こうして、祖父の時代と世界をほとんど思い出すことができるようになりました。

1942年、兵役中、私の連隊は

私の祖先の土地からそう遠くないところに駐屯している

Machine Translated by Google

先祖たち。そこで、ある午後の自由時間を利用して、

そこへ行く決断をした。二人の同志が

一緒に来てください。もしかしたらまだ農民だったのかもしれない

私の祖父を知っていた人は誰ですか ?特に私が考えたのは

父が私に手紙を書いてくれた老サアリ。

一族は何世代にもわたり、私たちの領地で奉仕してきました。

村の入り口に老人が座っているのが見えた

橋の上でパイプを吸いながら物思いにふけりながら

距離。彼はすでに80歳、いやそれ以上だった。

しかし彼は、根を張った木のように頑丈だった

嵐にも倒れないほど地面に深く埋まっていた。私は

彼に、サーリという名の農民がまだ

生きているのか、もし生きているならどこで会えるのか。彼の深い

白い眉毛の下に目を凝らし、つぶやくような視線を投げかける

私を見つめた。見知らぬ人たちを前にして、彼の表情は険しくなり、私たち

三人全員を不信感の眼差しで見つめた。

「それでは彼に何を望むのですか？」

「私たちはただ彼に会い、話をしたいだけです。」

「どうなんだ？」と厳しい声が唸った。

「ああ、どうしても知りたいならね !私の名前は

グローエンハーゲンと私は、まだ農民がいるかどうか知りたいのです

「ここに私の祖父を知っている人がいます。」

まるで暗い幕が彼の顔から落ちたかのように、彼は微笑んだ。

喜びに満ち溢れた。

「神様」という言葉が彼の口からこぼれ落ちた。「私は、私は

Machine Translated by Google

サーリです。そしてあなたはグローエンハーゲンの人です！

こんな経験はもうないはず！

あなたたちが誰もここに来なかったせいで、皆死んでしまったのです。

「妻もきっと喜ぶだろう !さあ、来い！」彼は私たちを家に連れて行き、

喜びのあまり飛び上がるほどだった。妻も涙を流した。

喜びの :彼女が私を長く見つめるほど、喜びは増す

彼らは流れていった。

私たちは座って老人と話をしなければならなかった

妻は「紳士室」の席を準備した。私の

驚いたことに、テーブルには3席しか用意されていなかった。

同志たちと私自身。

「あなたは？ あなたも食べませんか？」

「いや、私たちはただ見て楽しむだけです

あなたにとって美味しいものなら何でもいいよ。」

私たちはまた誘われるのを待たずに、

食欲旺盛。老人たちは隣同士に座り、

前後に揺れながら、楽しそうに私たちを見ていました。

私たちの到着の知らせは、野火のように広まりました

老婆のおかげで村は再び訪れた。

12人の老農民がやって来て、

祖父は知っていた。年老いた農民の頑固な手は

歓迎の涙を流しながら私に向かって手を差し伸べてくれた

正直で心優しい老人の顔に

それぞれが記念品を持ってきていた

先祖の記憶も大切に保存されている

Machine Translated by Google

新聞や

雑誌の中で、彼らは「自分たちの」

グローエンハーゲンス。

老人たちは私の周りに座っていました。私の要求にもかかわらず、私は

彼らを同じ場所に誘うことはできなかった

テーブルに着いた。昔からの習慣に従って、彼らは私に食べ物を出し、

飲み物は彼らが飲んだ最高のものだった。食事はまるでごちそうのようだった。

同じ血が流れているので、全てが手に入りました

彼らが愛した男のように私の中に流れ込み、

若い頃に尊敬された。

「さあ、若者よ、私たちはあなたの墓に行こう

祖父。"

私の目の前にあるのは忘れられた男の墓ではなかった。

花崗岩は新品のように滑らかで輝いていた

その周りに花が咲いていました。私は感動を隠せませんでした

だった。

「しかし、サーリ、誰が墓の世話をしたのですか？」

老人は私を見て、彼が

質問の意味が理解できない。「誰がそれを気にするの ?私たち、私の

もちろん妻と私です。妻は洗車と磨きをします

毎年春に石を積み、毎週日曜日に新しい石を運びます

「花です。」

私の祖父は1888年に亡くなりました。

世紀の初めには、家族の誰も

Machine Translated by Google

墓の世話をすることができた。30年が経ち、私は

恥ずかしかった。

彼に感謝すべきでしょうか ?サアリは理解できないでしょう

彼にとって、彼の行為はあまりにも自明のことだったので、

議論しても無駄だ。私はただ黙って老人と彼の妻に手を差し出し、

戻る。

数年後、忠実な召使いは家に帰り、

偉大な軍隊。祖父の墓の隣には

碑文が刻まれたシンプルな石

ヴェイッコ•サーリ

Machine Translated by Google

来世紀のヨーロッパの状況は再び

男らしい美徳を育む :なぜなら人は

絶え間ない危険。「普遍的な軍事義務」はすでに

今日、女性らしさに対する特異な解毒剤は

民主主義の理念 :闘争から生まれた

国々。

- フリードリヒ•ニーチェ

Machine Translated by Google

フィンランド1918/1919

当時小さかった

ヨーロッパ、フィンランド人の小さな民族は、それまで

ロシアの支配下にあったが、1917年に反乱を起こした。

ロシアにおけるボルシェビズムの勃興。

それによって、ヨーロッパを明確に肯定し、ヨーロッパで最も

アジアに対する北東の要塞。

1918年にすでに勝ち取った自由は、特に

フィンランド南西部の海岸は、強力な

ボルシェビキの侵略。

この時期、ドイツ国民は

国際ユダヤ人飢餓封鎖は非常に戦っていた

ヨーロッパの西、東、南での激しい戦闘

近東やアフリカでも同様です。

ドイツはフィンランドの勇敢な姿を見ることはできなかった

ヨーロッパを肯定し、再び新たな

奴隷制度。

ドイツはボルシェビキがすでに

バルト海南東部から撃退され、現在は

バルト海北部を保持する。

さらに、ソ連の北部への進出により、

フィンランドは北アイルランドを経由してイングランドと接続するだろう

スウェーデンとノルウェー北部 - 将来と

Machine Translated by Google

その他の政治的状況 - の領域に

可能。

それが何を意味するのかは、

極北に駐屯する武装親衛隊員たち。

現代のドイツのあらゆる策略に逆らって

マルクス主義政党と政府機関、最高裁判所

ドイツ軍司令部はフィンランドを支援することを決定した。

ルーデンドルフ将軍はその理由を次のように要約した。

ヨーロッパの将来は決定的だ - 次の決定

言葉：「私はすべての決定を頭で行ってきました。

フィンランドを助けるという私の決断は

そして心を込めて！

Machine Translated by Google

ドイツ家の騎士

ドイツ騎士団は、
東プロイセンを含むヴィスワ川下流域。
また、北東部のバルト海沿岸諸州も追加した。
ポメラニアと西部の新しい州は
所有物。

これらの騎士たちは当初、軍事的に領土を確保しました。
しかし、剣の使い方を知っていた男たちはまた
有能な管理者、そして何よりも専門家
農業。彼らは鋤が
彼らの国家領土を獲得し維持するためには剣が必要だった
ドイツのために。

東プロイセンがドイツに留まることができたのは
最も困難な状況下でも何世紀にもわたって
特に独裁的なヴェルサイユ条約の時代
民族性を一切放棄しなかったのは、
農民たちの植民地化活動は
保護の下で農場を設立した
ドイツ騎士団。

ドイツ東部鉄道の開通から170年
各州では、この修道会の土地にはすでに75万人が住んでいる
人々。それは交通機関と比較して

Machine Translated by Google

当時の経済状況と
前例のない偉業。
　新しい
村々では、この修道会は進取の気性に富んだ男性たちを率いて
農民とその家族は帝国から
地域。
　彼らの努力により、彼らは広大な土地の寄付を受けた。
村長の地位も
子孫に受け継がれます。
　彼らはしばしば、いわゆる有益な特権も受けていた。
例えば、酒類の販売許可や村の製粉所など。
　農民たちは2つのフランドルの「フーフェン」の農場を手に入れた。
つまり30〜35ヘクタールの広さです。村は通常
10の集落から構成され、それぞれの集落は
所有者は、ドイツの法律に従って世襲制でした。
　当初、農場は無税でした。農場主は
お金や自然の産物を支払う必要はなく、
農民は兵役義務を負っていた
民兵に加わり、建設に貢献しなければならなかった
要塞の維持管理。
期限後の配達の正確な履行
自由年のうち、公共サービスの遂行のために、
そして、専門的な準備とケアのために
畑の世話をしていた村長と一緒に休憩した。

Machine Translated by Google

行政関係の規則は基本的に単純なものであったが、そこにいるドイツ農民が直面した障害は前例のないものだった。現在の便利な手段もなく、

祖国を離れて、そして独力で、彼は困難を乗り越えなければならなかった。森林を伐採し、沼地を干拓し、牧草地の酸性化を防がなければならなかっただけでなく、見知らぬ土地の不安や、不信感と恐怖を克服する必要もあった。

住民の敵意。

それでもなお、経済的、民族的な統合が

この地域の開発は非常に急速に進み、ピーク時には10の村に5つの村が設立され、農民によって占領されました。

日々、それは進取の精神の証です

すべてのドイツの部族の農民と、ドイツ騎士団の組織的および軍事的功績に貢献しました。

Machine Translated by Google

アンナベルクの戦い

1921年5月21日

上シレジア

ピレスとチェコの両側から脅かされているシレジア
第二次世界大戦後、はるか東方まで拡大した。

それは純粋にドイツの土地であり、その畑は豊かな
生産される亜鉛と石炭の鉱山はヨーロッパの
最大。

シレジアがドイツに占領されればポーランドの
東西プロイセンへの攻撃と
当時連合国支配下にあったチェコ人によるザクセンに対する攻撃。

このドイツのくさびは、その位置によってすでに
ラインランニングの防御にとって決定的な重要性
シュテッティンからベルリン、ライプツィヒ、ミュンヘンへ。

当然、ポーランド人とチェコ人はこれを知っていた
シレジアの戦略的重要性。

そして、ドイツが最も疲弊していた時に
第一次世界大戦後、そして
連合軍が駐留し、シレジアの一部が破壊された
チェコ人やポーランド人によって、民族が生まれる前から追い払われていた。
住民投票。プロイセンのポーゼン州でさえ、
その位置と要塞の大幅な拡張
スラブの洪水にドイツの楔が - 盗まれた
国民投票なしでポーランドに譲渡された。

Machine Translated by Google

敵は結果に失望した。

東部上シレジアの国境地域での住民投票。

国民投票前の最悪のテロにもかかわらず、

国民の大部分がドイツを支持した。

帰還した若い兵士や老兵たちは

第一次世界大戦後、新たな生活を築き始めたばかりだった

農民として、工場として、あるいは

大学。

この平和な作業の真っ最中に、

ポーランドの指導者コルファンティが3度目の大統領就任を

表明したというニュースだが、今回は政府と

ポーランド軍は攻撃を開始したが、依然として

ドイツ - シレジア。彼の目的は、

ポーランドにとってシレジアは、当時は軍事力もなく

保護 - ポーランドに対して無力であるように見えた

強盗への欲望。

それはいわゆる

ドイツ帝国政府は武装を呼びかけました。しかし、赤

ベルリンの反動的な支配者たちは

フランス大使のしかめっ面の前で。

彼らは、最初は物事が自然に進むのを待ちます。

「上シレジア、そう、シレジア全体が危険にさらされている！」と叫び声が響き渡った。

沈黙にもかかわらず、ドイツ全土に響き渡る叫び声のように

赤色反動の報道機関。

私たちの多くは、この素晴らしい土地をまだ見たことがありませんでした。

Machine Translated by Google

このドイツの経済的、戦略的重要性
東に伸びる腕は、しかし、すでに
それは本能的に明らかです。土地の豊かな富と
一方、その経済的役割はそれほど決定的なものではなかった
私たち若い兵士のために。

それは名誉の問題だった。

そこでドイツ各地からボランティアが集まり、
特にバイエルン、ハンブルク、シレジア地方からの人々が多い。

しかし、一方で連合国からの圧力は
ベルリンの政府は非常に増加したため、
義勇隊の結成を阻止しようとした。

最大の困難とあらゆる手段を駆使してのみ
トリックは部隊と個人が到達できた
争われている地域。

彼らの装備は極めて不十分だった。何よりも、
重歩兵兵器と砲兵はほぼ完全に
不足している。第二次世界大戦の老練な兵士たち
彼らの隣には若くてほとんど訓練を受けていないボランティアがいた。

しかし、皆は一つの意志を持っていた。
防御だけではなく、敵を殲滅させることが
すでにドイツの地に深く浸透していた。

過度に恐れる人々の厳しい指示に反して
ベルリンシステム政府、義勇大隊
夜の間に準備位置に行進した
5月20日から5月21日まで。

Machine Translated by Google

アンベルクは激しい戦闘で陥落した。そこから

男たちは遠くの地、南のコーセルの方向を見ていた

オーデル川と東の広大な上流域

シレジアの工業地帯。

支配的な地位はドイツ軍の手に渡り、古い

シレジア地方全体のランドマーク！

ポーランド人への影響は甚大だった。

ポーランドによる帝国領土への襲撃は終了した。

ドイツ全土で - 前年まで

幾度となく衰退を経験してきたが、暗闇を貫く最初の明るい光が差し込んだ。

雲の塊。

Machine Translated by Google

ゲルマン人の生命意志

あらゆる戦争は、最良の血を流すものである。多くの

武力の勝利は同時に壊滅的な敗北でもあった

民族の生命力と血の。

この点において、残念ながら必要な死は

残念なことに、最高の男は最悪ではない

一部。

さらに悪いのは、育てられなかった子供たちの不在である

戦時中は生存者によって、戦後は

死んだ。

戦死者の未亡人への最大の贈り物は常に

彼女が愛した男の子供。

剣の勝利を決して忘れたくない

そして、私たちの兵士が流した血は

目的は、子どもの勝利と植民地化

新しい土地は続かなかった。

SS国王陛下の命令により

1939年10月28日、SSと警察全体

Machine Translated by Google

ヤマト

三浦和一

　大和は日本の地方の名前です。なぜなら
優秀な日本兵はここから輩出されている
この地域では、大和という名前は
勇気と義務の遂行。何も簡単には
外国の民族から自国の民族に引き継がれる。しかし、私たちは
日本の例から、勇気と
勇気は宗教的感情に根ざしている。

　西暦1932年に起こった出来事です。
戦闘中に負傷した日本軍少佐
上海で意識を失い、不幸にも
敵の手に落ちた。その後彼は
進撃する日本軍によって解放され、
ある日、マスコミは、少佐がまさにその場所で自殺したと報じた。

捕虜になった。
　この出来事は私たちに何を教えてくれるでしょうか？
負傷して意識不明になった警官は
捕虜になった。それは戦士にとって恥ずべきことだったのだろうか？なぜ彼は
祖国のために戦い続ける代わりに自ら命を絶ったのだろうか？
そして知識、経験、勇気をもって奉仕する

Machine Translated by Google

そして精神？日本人の精神である大和魂によってのみ、彼の行動は説明できる。

西日本の伝説では、強い騎士道精神の伝統が特に生きており、その基礎は

騎士道精神の教えは、騎士の戒律を記した『葉隠』に見出すことができる。そこにはこう記されている。「生か死か、二つの道を選ばなければならないなら、後者を選びなさい。」少佐は、

この教えを自分の中に深く持ち続けた人は

死の道。しかし、なぜ死を求めるのか？

現代の日本の武士の騎士道では、

「センジンクム」または戦争キャンプの教えは、

書かれている：「生きている限り、

「捕虜として生きることは、死後、罪や災いの汚名を残さないようにしなければならない」。日本では昔から捕虜として生きることは大きな恥辱とされ、

どちらかが先に死ぬべきだ。

現代の戦争では、古代の戦争とは違い、

捕らえられる状況は避けられないかもしれない。確かに、

必ずしも自分の使命を果たした後に死ぬ必要はない

高度な近代兵器を使った任務 - はい、完了しました

最善を尽くし、生き残り、使命を果たすことで、国に貢献できるのです。

戦時であろうと平時であろうと。こうした見方には一定の正当性がある。

Machine Translated by Google

しかし、日本の兵士は違う考えを持っていた。

捕虜の恥辱の中で、彼は戦わなかった

死は、まだ戦い続ける可能性があったことを示しており、そして、そうしなかったことを深く後悔している。

天皇、祖国、そして民のために死ぬまで戦え。

「海で海水が私の体を洗礼するとしても、
地上であろうと、山の中で骨が苔に覆われていようと、
私は偉大な統治者とのみ戦いたい
自分のことなど考えずに。」

この古代の歌をもう一度歌い、

再び表現すると、それは全く考えられない

兵士は生き返る。ネルソン提督は

死：「神に感謝、私は義務を果たした」しかし、日本人は義務のためだけに戦うのではなく、

命を犠牲にするために。エルヴィン•ベルツは最高の

日本の専門家は、自身の経験の一つを報告している

日露戦争時代から：日本の

知人が息子を連れて彼を訪ねたが、その息子は

朝、前線に報告することになっていた。

若い男が去った後、ベルツ博士は彼の

戦争について知っている老人は彼にこう言った。

彼は4年前に長男を亡くしていた。

義和団の乱で副官を戦争に送り出していた。彼は

彼はさらに、彼の名誉ある家紋が今や

Machine Translated by Google

彼にはもう息子がいない。もはや跡を継ぐ者はいない。ベルツは慰めの言葉をかけ、「前線に赴いた者が皆、倒れる運命にあるわけではない。あなたの息子はきっと偉大な軍功をたたえて帰還するだろう」と老いた父親は言った。

彼は首を横に振り、「いいえ、息子は

英雄の死を見つけるために戦うのではなく

生きて帰れ。」エルヴィン•ベルツはこう述べている。「哲学者にふさわしい、穏やかな言葉だった。」

この態度こそが日本が

これまで戦争に負けたことがなく、現在の大戦争では

東アジアも素晴らしい成功を収めてきました。

それは、どんなに小さなことでも、

考えられる潜水艦 - 最強の潜水艦を攻撃し沈める

アメリカ艦隊の軍艦。日本軍の飛行士の自爆は、自らを爆弾の一部とみなし、敵艦に突入する目的で行われた。

彼らの使命を果たすために。12月12日 番目 昨年の

大本営は海軍機10機中9機が自爆したと報告した。

この英霊こそが日本帝国を守るものである。

この英雄的な精神のおかげで、日本軍はすでに

1274年と1281年 - わずか5万人の兵士で

約15万人の圧倒的に優勢なモンゴル軍を徹底的に打ち破り、

恐ろしい攻撃。1894年から1895年の日清戦争で

Machine Translated by Google

1904年から1905年の日露戦争において、日本の輝かしい勝利はこの精神によってもたらされました。そして今日、太平洋の果てしない大地、陸海空で戦う兵士たちも皆、この精神を身に付けています。

祖国を最後まで守り、

神々の階級。

　そのような精神を宿命論と呼び、貴重な人間の命を軽視する無意味な行為とみなす人たちは、

日本の兵士精神を理解する。大胆な

日本兵の武功は、帝国の存続と名誉、正義、そして真の平和のために働くこの力強い精神の表れです。

　また、

この精神には原始的な残忍さの痕跡はわずかもありません。

日本人男性が花を愛することはよく知られている。しかし、彼の美意識は、花を追求することを許さない。

彼は葉と有機的な結合を重視する。

枝なので、彼は決して花を切り取らず、

枝に残す。日本文明は人々に犠牲を払う強い意志を与えただけでなく、

繊細な思いやり。この思いやりは、

敵に対する日本兵の行動、

特に捕らえられた者。中世の説得力のある例を挙げよう。

1184年、

激しい内戦で、素晴らしい戦士である熊谷が打ち負かした

Machine Translated by Google

熊谷は敵陣の騎士､敦盛を斬りつけ､当時の軍儀に従ってその首を刎ねた｡敦盛はまだ20歳にも満たず､その早すぎる死に心を痛めた熊谷は刀を脇に置き､騎士を

カーストを離れ､僧侶となり､魂の安寧を祈りながら生涯を過ごすために

倒れた者。

　先の第二次世界大戦中､日本の義勇兵

カナダ軍に勤務し､

西部戦線で､磯村という名の志願兵が攻撃中に負傷したドイツ人に遭遇した｡負傷者は身振りで磯村に知らせた。

彼がひどい喉の渇きを感じていることを知って､ためらうことなく

磯村は自分の水筒から彼に飲み物を与えたが､そこには貴重な水が少し残っていた。

その間､イギリス兵が現れて攻撃した。

負傷したドイツ兵を銃剣で切りつけた｡磯村は

二人の間に割って入り､「この男が重傷を負っているのが分からないのか？」と叫んだ。「だから何だ」と男は答えた。

英国人は「負傷の有無にかかわらず､殺された敵は皆､私たちの

「あなたのキリスト教の慈善団体はどこですか？」 - 「私はそれを

「私は戦争に行ったとき､故郷にいました」とイギリス人は答えた。

　同様に､第二次世界大戦中､日本の志願兵である諸岡は､非常に若い敵の

- 銃剣で攻撃した - 叫ぶ

Machine Translated by Google

「お母さん！」この言葉を聞いたとき、彼は
二度目にこの敵に銃剣を突きつけることはせず、そのようにして、その男は負傷していたにもかかわらず、
救われ、後に故郷へ帰還した。

日本人は捕虜になることを尊厳を傷つける行為とみなすが、それでもなお、自らが捕らえた捕虜に対しては深い同情心を抱いている。日露戦争の過程で、多くのロシア人が

捕虜は日本に捕らえられ、誰も
日本で受けた寛大な扱いを、感謝せずに思い出すのは無理がある。傷ついた敵に対するこのような態度は、常に美徳とされてきた。
日本では、朝鮮人の歴史から明らかなように、
元寇に参加して日本軍の手に落ちた人々は特別な扱いを受けるべきではなかったが、それでも人道的な待遇を受けた。

コラはそのようなことに感謝の意を表すことにも気を配った。
日本政府への書簡における扱いについて。ここで忘れてはならないのは、モンゴルの侵攻が日本とその国民にとって致命的な脅威であったということである。日露戦争において
第一師団と第二日本軍の戦争
最初のロシア人捕虜の世話をする任務を負った。
検査は、日本兵に制服、記章、

敵のマーク。

Machine Translated by Google

しかし、1社は参加しなかった。

検査。以下の点を考慮した。

理由：兵士として捕虜になるのは残念なことだった。

そして、

敵を捕虜として扱う。侍は

侍の気持ちを理解し、この屈辱から逃れさせます。

それが兵士たちが参加しなかった理由だ

ロシア人捕虜の検査。敵は

全ての日本人を殺すよう命令した将校たちは、

囚人たちは、この行動を理解していなかったかもしれない

日本の兵士たち。

　大東亜戦争の現在の戦場の一つでは、

フィリピンでは、1月初めに

日本の民間人は米軍によって虐殺された。

日本の歴史ではこのような残虐行為は起きません。

　日本人は今日、祖国とすべての人々のために戦っている

大東亜の人々は困難で犠牲を伴う戦いをしています

最も厳しい要求を突きつける激しい闘争

自分自身に対しても、深い同情心を持っている

仲間の人間のために、そしてこの状況のために、

戦闘の過程で、多くの注目すべき感動的な出来事

歴史に残るであろう

戦争の記憶と日本の精神を物語る

ヤマト魂。

Machine Translated by Google

そして忠誠心があれば、
そして世界には他に何もない、
それで十分だ、誰も
私たちの前に立ちます。

誰も私たちを非難することはできません、
敵は追いつけない、
死は刈り取ることができない
ハードカットで。

あなたと私、そしてみんなの中に、
成長は早く、遅く、
そしてその中間で、私たちは落ちます
そこに蒔かれるのです。

そして、忠誠心があれば、
そして世界には他に何もない、
それで十分だ、誰も
私たちの前に立ちます。

- ハンス•バウマン

Machine Translated by Google

むしろ地獄の悪魔に…

ゲルハルト•シンケ

秋の日が霧の広がる
海。木々から最後の光が落ち、すでに闇が大地を覆い始めた。
夕暮れは湿っぽく、寒かった。王の広間の大きく開いた窓にラットボッドが立っていた。暖炉には火が燃えていた。

光は背の高い人物に降り注いだ。角張った顔は真剣な表情を浮かべていたが、その視線は喜びのない夕暮れの霧がかった灰色に消えていた。

王は心の中で幸運と
最後の日々の苦しみ。その重荷は彼にとって重かった。
孤独な男は自分自身と自分の土地を裁き、その重荷を背負わなければならなかった。
夜通し不幸だけが残る。

ウィク•デ•ドゥエルステードの戦いは敗れた。来る
あらゆる戦いについてそうであるように、何世代にもわたってこのことについて語るだろう
民族間の戦争における出来事と同じように、この出来事にも注目してください。しかし
彼らは心の中でどんな考えが燃えていたか決して知ることはないだろう
自らの民族の花が枯れる前にその花が枯れるのを見た男の
光り輝く剣を金髪の少女たちの頭に振り下ろした時、彼の心がどれほど傷ついたか、彼らは決して知ることはないだろう。
敵の隊列の中で戦った戦士たち。

Machine Translated by Google

フリジア王は頭を振り回して見つめた

火の中に長い間閉じ込められていた。彼は額に手を当てた。

炎の海から現れたのは、

彼の目の前には、まさにアルドギスルの姿があった。

死んだ王はまるで生きているかのように彼の前に立っていた。会話

彼と一緒に始めました:

「あなたは友情で敵意を断ち切りたいと思ったとき

あなたは司祭ウィリブロルドをこの地へ招き入れました。

彼が約束を守ってくれることを期待した。

外国の信仰の使者は不安を煽るだけだった。

憎しみを撒き散らした。彼はフリースラントを破壊した。そして私は

剣に導かれ、敵との戦いに召集された

土地の自由を脅かした。フリースラントは自由であるべきだ

海の澄んだ波のように自由で、

森に轟く雷鳴。しかし、あまりにも大きすぎた

敵の数。敵は勝利した。

聞け、死者よ、勝利したのだ！

彼の言葉からは絶望が伝わってきた。

「部族は血を流している !抵抗する力は衰えている

ローマの領主は常に献身しているので、10倍強力です

権力の征服のための新たな軍隊、敵

我々の土地に侵入し、自由を破壊する

北！"

長い間、部屋の中には沈黙が続いた。

Machine Translated by Google

　死んだ王の姿が目の前にはっきりと現れた
痛む目の。
　「私は国の自由を守り、
外国の勢力から民を守る。そう、種を蒔き、築くべきだ。
肥沃な土地に種をまき、畑を守る
海の洪水から守る。フリースラントは残るべきだ。
堤防は沈んではいけない！

　「そうです、王様、フリースラントは生き残るべきです !あなたの目標は
私と同じです。あなたは敵を和解させようとしたのですが
彼が多数で来たのを見たでしょう。私は反抗的に
彼に剣を差し出した。我々は海の息子であり、同じ大地の芽
ではないのか ?祖国にその力を示したのは誰だ？
本来の性質 ?ウィリブロルドがあなたに歌を歌います。
司祭たちは私を呪う。私が抵抗したからである。
彼らは私の民を騙すために来た。
フランク軍が土地に侵入し、収穫物を埋める
私たちの剣に流れた血。
　「アルドギスル、いいかい、私も君の例に倣いたいんだ…できればね。
サンス司教はフリースラントに入国すべきだ。私自身は
洗礼を受けよう !フリースラントは生き残らなければならない！
　王は鞘から剣を抜き、
炎の光の中に刃を差し込み
光。剣はまだ鋭かったが、
反抗的な戦士の小集団が
武器を持った敵の優勢な力に抗うために、彼は命のために

Machine Translated by Google

平和を申し出ようと決意した。そして、十字架にかけられた神を軽蔑していた彼の嫌悪感は、この瞬間に沈んだ。

絶望。

***

フリース人の王が、神の教えに反抗した時、十字架の勝利となった。

教会に長く通い、

司教は、司祭たちの巧妙で計算高い手腕によって、すべてを完璧に準備していた。司教が洗礼のために選んだ場所（祈りの場はなかった）があった。

フリースラントに聖なる行為が行われた家が建てられた。

実行されました); 晴れた朝が地上に訪れました。

教会が提供する壮大な光景を体験するために、男女が集まっていた。

木製の十字架が掲げられ、

教会の奉仕者たちによって高く掲げられた。ウィリブロルドは

ユトレヒト司教は、同盟者のウルフラム•フォン•サンスと随行員を伴い、敷地内を横切ってやって来た。ローマの使者は静かに勝利を収め、高台へと歩み寄った。

王の洗礼が行われる場所。その前に

洗礼の水がすべての目に注がれるであろう

王の頭上に十字架が掲げられ、人々は最も反抗的な王でさえも十字架の信仰を受け入れるのを目撃することになる。

Machine Translated by Google

馬のいななきと蹄の音

到着を告げた。彼の隣にはグリモアルドが馬で乗り、

娘の夫。槍と言葉を携えた戦士たちが続いた。王が馬から飛び降りると

そして、すでに十字架の両側に陣取っていた司教たちに向かって歩いた。彼の

目には北の誇りが輝いていた。

不屈の戦士は頭を下げたがった。

静かに立っている男女に視線を向けた

十字架に近づくと円を描いて進みました。

サンスの司教ウルフラムが話し始めた。

遠くまで聞こえるように大きな声で：

「パトリスとフィリイとスピリトゥス•サンクティの名において !ほら、それは

地上における神の代表者たちを通して近づいてくる偉大な時。王たちや有力

者たちは救いのメッセージを聞き始める！

コンバーターの熱意で彼は叫んだ

言葉：

「フリースラントの男女よ、今日、あなた方の王として

救世主を受け入れてキリスト教徒になる

洗礼を受けられたので、あなたもその足元にひれ伏すべきです

全能の神が息子を地上に遣わし

あなたの罪悪感も浄化し、罪悪感からあなたを救い、

地獄だ！

Machine Translated by Google

　そこに立っていた誰一人として、その言葉の意味を理解していなかった。司祭たちは、話す司教の後ろに毛布をまとい、謙虚な視線を向けて立っていた。

地上。武装したフランク兵が右側に立って警備していた。

そして左に。十字架は恐ろしい

脅威。

　ラットボッドの目は司教の方へさまよい、色鮮やかなガウンに落ち着き、それから立ち上がって、司教のぼんやりとした視線と出会った。

ローマの代表は再び戻って確認した

王と司祭の違いを改めて思い知らされた。高い額の奥に浮かんだのは、乗り越えられない壁がゲルマニアの王たちを隔てているという思いだった。

ローマの司祭たちから。

　司教は洗礼の式辞にラテン語の文章を混ぜ込んだ。式辞は混乱した夜の鳥のように敷地内を飛び回り、どこにも届かなかった。

聴衆の心を揺さぶった。そして、その効果は

香の煙が立ち上る。儀式のクライマックスは過ぎ去ったようだった。ラットボッドの目は、彼と同じように敬意を欠いた民衆を、しっかりと、そして毅然として睨みつけた。

彼自身。

　司祭は洗礼を受けた者の神聖さを描写し、

ローマの大祭司の言葉を聞きたがらなかった罪人たちの地獄の苦しみを描いた。

ウルフラム•オブ•センスはラットボッド自身に目を向けた。

Machine Translated by Google

「それでは王よ、洗礼の水を受けなさい。そうすれば、あなたはすべての罪から

解放され、いつの日か主と共に天国に入ることができるでしょう。

信者の群れは全知の神の右に座る

神は永遠から永遠に存在し、人々は皆地獄に落ちる。

洗礼を受けずに死ぬ人々。」

そのとき、ラットボッドの声が司教の話を遮った。

彼は先祖の言葉で尋ねました。「司祭様、あなたは私

が

洗礼を受けさせてもいいですか？司祭様、どこで

私の両親は亡くなっており、

「洗礼を受けたの？！」

司祭たちの集団に恐怖が広がり、

聖なる行為があまりにも予想外だったため

中断された。司教は、完全に熱狂し、

改宗者は、次のような言葉を吐き出した。

「彼らは皆、地獄の悪魔と共にいる。なぜなら、

異教徒として死んだのです！」

それからラットボッドは聖水が入った土鍋を蹴り飛ばした

それは地面に落ちて粉々に砕け散りました。そして

彼は司祭の顔に自分の言葉を投げつけた。

「それでは、司祭さん、私はむしろ

私の両親と地獄の悪魔はあなた方司祭たちよりも

天国！"

Machine Translated by Google

出版年

1944

Machine Translated by Google

ヨーロッパ戦線

この戦争がヨーロッパの人々に与える影響が大きければ大きいほど、
これらの人々の中で目覚めさせるエネルギーは大きくなり、
動き出す。時代遅れの政府の理念は、この戦争の影響で、まるで存在しなかったかのように消え去る。ヴェルサイユ条約における国家の人為的な組み合わせは
打ち砕かれ、苦しみと涙の下に新しい時代が生まれる。
私たち自身は、ヨーロッパの人々を動かしている洪水の中の波の一つに過ぎません。人種と社会主義という思想は、ヨーロッパの人々を揺さぶり、新たな国家生活へと駆り立てています。
ボルシェビキの拡張政策と敵の爆撃の卑劣さの影響で、

ヨーロッパは抗えないほど接近しており、
これまで存在しなかった共同体意識が生まれつつある
かつての繁栄の時代は
ヨーロッパ。フランスがヨーロッパを支配していた頃のヨーロッパの状況と比較するのは間違いだろう。
革命とナポレオンは国家と国民を揺るがした。
当時、革命の波が押し寄せ、
反動的なメッテルニヒ首相の指導の下、時代遅れのヨーロッパは理念を欠き、ヨーロッパの国家の混乱という維持不可能で空虚なシステムを破壊した。

Machine Translated by Google

オーストリアの指導の下で、今日のヨーロッパは過去の単なる保存と防衛という状況に陥っていません。ヨーロッパは、自らの過去の過ちを自覚するようになったのです。

ゲルマン民族の伝統であるこの制度は、時代遅れの国境を打ち破り、人々を再び結びつける。旧世界は西と東の敵によって象徴されている。資本主義とマルクス主義は、人生の目的と人間の価値に関する時代遅れの概念の、病んだ一面に過ぎない。

新しいヨーロッパは、

社会主義と人種という革命的な思想。したがって、それは防御と攻撃の両面を同時に持つ状態にある。攻撃とは、病んだ時代遅れの世界に対抗するからである。

より良い社会主義。社会主義は国内だけの問題ではなく、

帝国の計画は達成に基づいて人間の秩序を目指すものであるが、国家を超えて見ると、新しい秩序の計画も含まれている。

ヨーロッパの人々は自由な発展に基づいて

彼らの民族的価値観と歴史的背景に基づいて

達成。

ライヒ思想の力

今日の武装SSの隊列ではオランダ人が戦っている、

フラマン人、ワロン人、スカンジナビア人、エストニア人、

ラトビア人、そしてすぐに他の人々も目覚めた服を着るだろう

若者が同じ制服を着てヨーロッパの

Machine Translated by Google

SSシンボルの下のフロントは、

この時代の必要性と基礎を形成する

ヨーロッパの秩序の到来。この考えの強さに疑問を抱いていた人は、

今日、武装親衛隊のオランダ人やエストニア人は、より熱狂的で断固とした

帝国内の多くのドイツ人よりも帝国の理念を重んじていた。

私たちは、これらの男性の奉仕が

東は帝国の理念の鉄の浴槽だ。

ドイツ親衛隊と共にボルシェビキと戦った彼らは、同時代の人々を今も苦しめている偏見をすべて捨て去った。

ユニークで困難な前線の経験を共有していない。

我々の最も困難な敵との闘い、輝かしい美しさを帯びた帝国の理念が再び生まれ変わり、もはや形容しがたいヨーロッパの共同体意識が芽生えつつある。

旧態依然とした政治家たちの躊躇

理論。これらのヨーロッパの義勇SSリーダーとSS隊員はヨーロッパ戦線の先鋒です。彼らは

彼らの故郷であり、この故郷を愛しているから

そして心の奥底ではそれに忠実であり、彼らは賞品として

戦争は強力な帝国によって組織された新しい世界

祖国を救い、民族の生命を守ることができるのは彼らだけだ。確かに、彼らは

彼らの民族には少数派がいます。しかし、世界史は

Machine Translated by Google

常に、新しいことに挑戦する勇気を持つ少数の男たちによって作られる。ためらう者は後からついてくる。帝国という概念がいかに大きな影響力を持つかを知るには、そうした志願兵の一人の家族史を紐解く必要がある。

この若者。例えば、あるフラマン人がいます。彼は武装親衛隊で戦っています。彼の父親はベルギーの高官で、現在はイギリス軍に所属しています。祖父はベルギーの親衛隊員でした。

フランス文化の熱狂的な代表である議会

祖国フランドルの抵抗に抗い、孫は帝国とアドルフ•ヒトラーを信奉する。なんと時代の転換期が訪れたことか ！なんと強い魅力が

総統の人格に取り憑かれた！

血と帝国の思想が力強く語っている。この民族の若者たちは、祖先が生きてきたこの帝国のために死ぬ覚悟があると宣言しているのだ。

数十年、いや、何世紀も離れ離れです!

SSのヨーロッパ任務

SSはますますその

ヨーロッパの課題 ：目覚めたヨーロッパの若者をボルシェヴィズムとユダヤ系金権政治との闘争に結集させること。SSが

本来の性格を失ったり、厳格な基準から逸脱したりする

帝国の原則を理解していない

Machine Translated by Google

国家社会主義という革命的な思想は、国民国家の境界を越えて広がりました。今日のヨーロッパでは、戦争がどのように終結しようとも、ヴェルサイユ条約のような人為的な国家体制の復活を信じる人は誰もいません。

その存在は、イギリスによるヨーロッパ情勢への介入によってのみ成り立っている。この戦争の影響によって、数十年しか続かなかった歴史的発展の表層が、消し去られてしまったのも無理はない。

そして今、ヨーロッパの家族の共通のルーツ

人々が再び明るみに出る。ゲルマン人の放浪と、かつてのゲルマン人の居住地が

バルト海と黒海から大西洋へ

そして北アフリカはヨーロッパの血の統一を形成した

そして、これらの人々はこの同じ基盤の上に生まれます。

アメリカとイギリスには、

ヨーロッパ大陸の政治的新秩序。彼らは

彼らはヨーロッパを今日すでに植民地としてしか見ておらず、

経済的搾取を意図している。ボルシェビズムはヨーロッパに思想面でほとんど何も提供していない。マルクス主義は真の民族を認めず、血統の概念も受け入れない。

辞書に載っている。国家社会主義だけが

それぞれの真の民族のルーツ。それは、

祖国への忠誠心は帝国への忠誠心と同義である。アドルフ•ヒトラーの

革命的社会主義はヨーロッパにとって何を意味するのか

ヨーロッパ諸国間の関係を規制するだけでなく

Machine Translated by Google

現在の闘争に基づいて、人々は互いに協力し合います。
この運動の世界観からのみ、ヨーロッパの民族と国家が、統一された指導者に結ぶ豊かな絆の創造力が浮かび上がる。

強大な帝国。ヨーロッパの内的秩序と外的秩序は、国家社会主義の歴史観の深淵からのみ生じ得ることを、私たちは明確に理解しなければならない。SSは既に今日、強大な帝国を切望する者たちの鉄の輪を形成している。
ヨーロッパの新秩序への情熱的な心
強力なゲルマン中間層のリーダーシップ。こうした人々の参加なしには、新しいものは生まれない。まるで大陸が高熱に震えているかのようだ。
新しい時代の誕生の痛みは、
ヨーロッパの家族の血縁共同体と、彼らの共同生活の社会主義秩序の基礎。

　運命がどんな道を通ってこの目標に向かおうとも
これからどんな困難が待ち受けていようとも、目標そのものは揺るぎない。それは、生きる価値があり、戦う価値のある唯一の目標なのだ。SSはそれを知っている。
あらゆる手段を講じて、
ヨーロッパ東部はそれとともに成長し、
西洋の人々と同じように闘争のコミュニティです。
インテリジェントな治療には、大きな能力が必要です
この目標を達成するために使われた。SSは

Machine Translated by Google

原則において妥協せず、実際的な任務の遂行においては創造的で寛大でなければならない。それぞれの民族をその性質と歴史に応じて扱うだけの柔軟性を備えていなければならない。ヨーロッパの平和と安定を形づくるという使命は、我々の使命である。

若者たちを結集し、断固たる決意で戦線を張れ。西側の敵は、より高次の世界のために死ぬ覚悟がない。なぜなら、彼はそれを認識していないからだ。東側の敵は、民衆に抑圧と屈辱をもたらしただけだ。

もし奪うことのできない人間の価値が存在するならば、それは

ドイツ軍の正面に守られた。我々の側には新たな理念がある。

我々が毅然とした態度を保ち、現状を自覚し続けるならば、運命の天秤は最終的に我々の側に傾くだろう。

この闘争の全歴史的責任。

Machine Translated by Google

若くして結婚できるのは誰でしょうか?

J. マイヤーホファー著

部屋にいる若いSS隊員たちが話し始めたとき

女の子について話すときは、たいていあまり適切ではありませんでした。今日は

違いました。それは真剣な会話であり、そしてそれはずっとそうでした。

それは年上のルームメイトが

ユールのための本で、人生に関する様々な深刻な内容が書かれていた。

彼はその知恵の一部を若い仲間に伝え、熟考させた。それは80歳のローワー•

ザクセンの作家グスタフ•フレンセンの「Vorland」というタイトル。の

著者は堤防の前のまだ獲得されていない土地、「新しい土地」を意味していた

が、その向こうには人種的、道徳的な

私たちの民族の未来。

年上の同志ハンスは、女性や恋愛について軽薄な話をする若者たちを、都合の良い時間に捕まえた。日曜日の昼食後、街へ出る前の「嵐の前の静けさ」の時間だった。ハンスは

まずこれを読んであげてください:

「若いTは結婚したくて、友人にこう言いました。『私は3000マルクのいとこがいたんだ」それから彼は出て行って

彼女と結婚した。若いBと彼の友人は二人の少女を見た

ダンス会場に向かう途中で彼らの前を歩いていた。彼らは

友人はダンスのために短い方を選ぶことにした

そしてワインを飲み、背の高い男を選んだ。

Machine Translated by Google

結婚した。若いSは妻を欲しがっていた。ある日、彼は
窓を開けて、その女の子と結婚した
それを開いたままにしていた。若いRは当初、
左隣の人だったが、彼女が彼から逃げたとき、
彼は右側を選んだ。
これはカトリックでは秘跡と呼ばれています
教会 - 良きドイツ語で神の秘密を意味する
プロテスタントは言う。「神が組み立てたものは…」
これらは単なる偶然だと思う - そしてその半分は
不幸なことに、若者に起こる
親や教師、政府によって適切に教えられていない、
そして彼ら自身は大人になっても
彼らの目を開けたのです。」

「君たちは毎週日曜日に村に行くんだ」ハンスは振り返った。
そして彼らに言った、「そして曹長がそこにいなければ、あなたたちは毎日女性たちのところへ走って行くでしょう、
ほとんど例外なく、特に尊敬もされない。ただ
どのように出会ったか、そして
あなたが村人から引き出すことができる
判決：「SS隊員たちは女性に対して何を望んでいるか知っている。」
彼らはただ…を望んでいるのではなく、むしろ選択的でもある
味覚と清潔感があり、半分は
性格の。 - あれやこれやの資質、そうでなければ「いいえ
ありがとう'。"

ハンスはサイズに合わせて切り落とした。しかし、彼はまた
同時に彼らは内面的に成熟した。そして

Machine Translated by Google

彼らはお互いの知識に基づいて批判した。

試験に合格した子たちは、冗談半分で「捕まった子たち」をからかって楽しんでいました。「違反者」たちは、日曜日の髪を乱されても抵抗せず、恥ずかしさで赤くなっていた耳をこすられてもさらに赤くなりました。ハンスは、力強い言葉に動かされる若者たちの善良な心を嬉しく思いました。

「さあ、この一節を聞いてください」と彼は言い、読み上げました。

別のセクション:

「若者は、より深く、より深刻な

1つは24歳から28歳の間です。

彼の残りの人生のパートナー - 彼はまだ

成熟した、まだ自分の本質に気付いていない、そしてまだ

人生と世界を知らない。

37歳の男性は完全に

27歳の男性とは違う。」

「フレンセンによれば、27歳の

彼は人生で最も重要な決断を下します。人生で最も重要な決断…それが何だかわかりますか?

- そして、通常、本当に価値のあるものを認識しない

若い女性たち、シンプルな色彩の服を着てそこに立っている人たち、

美しく、強く、静かで、深く、自然によって創造され、

人種は、私たちの人種の母親や育成者となることに特化している。むしろ、彼らは、

未熟な性質、カラフルに輝くものに向かって

Machine Translated by Google

小さな才能とトリックで、それらに近づく
小さな表面的な魅力。

「これらの最も価値ある男たちが結婚したとき、
何年もかけて成熟していくと、彼らはもっと
明らかに年々、
価値があり、憧れ、望んでいる、またはすぐに
秘密の恋愛。そして、その一方では貴重な少女たちが
一方、彼らは選ばれていないことを経験しているから
若者たちによって、そして彼ら自身もできないし、しない
愛なしで生きたいと思っており、彼らの
自分の価値ある性質に惹かれ、
成熟した男性は、愛への欲求に従ってください。そして、
このように、一方ではこれらの貴重な男性
破綻した結婚生活を送っており、それが彼らの人生に大きなダメージを与えている
生産性、そして一方ではこれらの貴重な
女性は愛を得られず不満を抱えて生きるか、
または（ほとんどは)開花期間中ずっと残り、
人生の妊娠可能な時期に子供がいない愛する人と過ごす。
人間の観点から見ると、この状態は問題だらけである。
そして、大きな害をもたらす民族的なものから。」

「人間の観点からは問題だらけで、
ハンスは繰り返した。
強調。

彼が話し終えた後、しばらくは静まり返っていた。
しかし、ある人がこう言いました。「でも、そんなに長く待つことはできないでしょう？」
ハンス、君は何歳 ?30代後半 ?もうすぐ

Machine Translated by Google

中年だ !しかし、親衛隊全国指導者は若くして結婚することを望んでいる！

「この反論は予想していました」とハンスは答えた。「フレンセンの著者は、37歳までに結婚すべきではないと言っているのではなく、若い男性にはできるだけ早く、真の人間的価値を自覚するようあらゆる努力をしてほしいと言っているのです。それは当然、皆さんが自分自身を磨くことと密接に関係しています。『男よ、本質的になりなさい！』とある人が言ったのです。

偉い人がかつて言った。

「国家総統は、あなたたちが若くして結婚して、口がきけないまま結婚し、後になって初めて目が覚めるようにしたとでも思っているのか？ 国家総統があなたたちに軽薄な振る舞いの許可を与えたとでも思っているのか？ あなたたちは自分自身を欺いている。これは信頼の証なのだ！ 国家総統は、あなたたちがSS隊員として、ドイツのために戦い、必要とあらば死ぬこともいとわないほど立派で成熟していると考えている。しかし、もしそれがあなたたちに要求されるのであれば、あなたたちはドイツに新たな生命を与える存在であるとも信頼されているのだ。国家総統は、あらゆる原始的な恋愛を肯定するつもりはない。あなたたちに早婚を望む時、彼はこう考えているのだ。

ドイツについて、子供たちについて、しかし彼は上のことを考えている

子どもたちの価値について !もし私たちが今日

オークリーブス受賞者数百名、ナイト賞受賞者数千名

クロス受信者と他の数十万の

装飾された兵士 - 粗雑な素材に加えて、

私たちも持っている - そして、それらすべてがどこにあるのか考えてみましょう

Machine Translated by Google

どこから来たのか !あなたは今の両親があなたを創ったままの姿、つまり両親

がそうであったように。未来の少年たちは

そして女の子も、男も女も、あなたが育てたとおりになります。つまり、あなたがそうであるよ

うに、そしてあなたの女の子たちもそうであるように。

「そして、戦争中の兵士の時間は許されないので

無駄にしてはいけないので、時間を無駄にしてはいけません。 - あなたは

彼女と真剣に話し合ってください。

あなたと話しますか ?もしそうでなかったら、彼らがあまりにも愚かだったり甘すぎたりする

なら、喜んで彼らを放っておきましょう。 - しかし、彼らが真剣になり、

彼らにこれを伝えて静かにしてもらい、彼らがあなたの

目が見えないなら、何かがある。しかし、テストを決してやめないで

彼らと、そしてあなたたち自身も、何度も何度も。」

若者の一人はこう言いました。「私はとても難しいと思います

人生で最も重要なこの決定を適切に解決する

妻を選ぶ正しい選択。だから私はフレンスセンスの考えが

晩婚は本当に良いことだ」それからパスが運ばれてきた

部屋に入って。

「準備しろ、坊や」ハンスは叫んだ。「俺たちは同じ

しばらく道を進んで、会話を終わらせましょう。」

彼らは兵舎から外に出て行った。

新雪が降り、大地はとても清らかな香りが漂っていました。

彼らは一緒に丘を下り、彼らの宿舎は

が位置し、その前には豊かに調和した景観が広がっている

その不滅の命は結晶の雪の下に守られていた

ブランケット。

Machine Translated by Google

「北欧の男こそが
東や南の人よりも遅く成熟し、
特に成熟とは、人格、精神、そして堅固さの成熟も意味するならばなおさらです。私たちの信念によれば、肉体と魂は本質的に一つであり、それゆえに一体です。晩婚は、それ自体、価値ある北欧人男性にとって自然なことです。しかし、私たちが今日、民族の歴史が始まって以来、最も困難な民族的生存の闘いの中にいることは、言うまでもありません。私たちの両親や祖父母は、一般的にあまりにも多くの子供を持っていませんでした。
子供たち、敵対的な人々は一方4つか5つを持っていた
倍も !そして今、半世紀も経たないうちに、第二の戦争が私たちの血を流す犠牲を伴います。だからこそ、世代間の時間差を縮めなければなりません。
他に選択肢がなく、理解できない
考慮すべき事項はこれを防ぐべきである。むしろ、若者が早い段階で知ることを目指すべきである。
そして、その義務を真剣に受け止め、そしてそれを成し遂げるのです
この任務における相互援助を通じて。同じような性格を持つ人々は
老人と若者は互いに支え合わなければならない
アドバイスと行動で。まずは、もちろん
皆さんにとって最も情熱的な関心事は、
妻を選ぶという仕事が唯一のものであることを認識する
それは本当に重要なことであり、他のすべてがうまくいくために
それだけでは十分ではありません。しかし、妻選びの根本は
出生の平等、つまり同じ血統に属すること

Machine Translated by Google

そして同じ品種や人種の中でも、性格や精神といった最も重要な特性の互換性も存在します。」

「20歳という若さは、時間の問題もあるが、

決定的な理由は、非常に不明確で未決定である

ハンスは続けた。「しかし、メディアが長きにわたり、こうした事柄について、無思慮な大衆の好奇心と欲望を満たすために、これほど多くの軽薄な考えで溢れかえっている限り、一体何が変わるというのでしょう？ 少女たちが映画スターの娘に倣って化粧をし、気取った態度を取ったとしても、何が変わるというのでしょう？ ドイツの少年が、自分の娘はあの映画スターの娘に似ていなければならないと考え、逆にドイツの少女が映画スターの中から自分の「タイプ」を選ぶとしても、何が変わるというのでしょう？ 若者たちは、一日中くだらないヒットソングをペラペラと口笛で鳴らし、鼻歌を歌い、だらりと歩くだけで、ドイツの愛の歌や民謡を歌い、ドイツ語を踊り、活気に満ちたドイツの社交生活を育むこともしないなら、男女間、男と女間、男と女の間にある北欧の感情が一体何なのか、理解できるでしょうか？ 異質なものを排した、共通の自然な民族文化と自然な共同生活が、この世界で再び実現した時にのみ、

氏族、村、町、すべてがうまくいっているとき

正しい愛を促進し、見守るために

民衆の若者は、結婚のお祝いが再び

意味のある民俗行事になれば、

20歳の若者は、おそらく自分が何をすべきかを知っている

Machine Translated by Google

愛すべきこと、避けるべきこと、そして祖先への責任、生まれや育ちの平等とは何かを知るでしょう。そして、何千年も前の祖先と同じように、親戚や知人の中にも同じ考えを持つでしょう。サガを読めば、そこに私たちの忠誠の歌が歌う「より良き時代のイメージ」が浮かび上がります！あなた方は、これらの沈んだイメージを再び目覚めさせ、価値ある子供たちを産み出すことで、新たな生命を吹き込むよう求められています。彼らを通してのみ、その出現は実現するのです。

北欧文化の形成は可能でしょうか？そして

忘れないでください。そのためには、そのような文化の精神で子供たちを育て、それに伴う生きた民間伝承を保存することに成功できる母親が必要です。」

　ハンスは日曜の説教を終えた。彼は説教を止め、仲間たちも一緒に説教を止めた。彼らは遠くを見渡し、近くに雪があるのに気づいた。温かい手で雪玉を掴むと、すぐに雪玉は

フライング。

　激しい雪合戦の後、二人は別れを告げ、それぞれ別の道を歩み始めた。若者の一人はハンスと一緒に残り、二人はおそらく心を通わせたのだろう。

さらに多くの質問について。

Machine Translated by Google

あなたの人生はあなたの同胞のもの！

H. Kl 著

SS隊員の日記と所持品には、
彼自身、次のような言葉をよく口にする。「私の人生
「もう価値がない！」彼は何を意味していたのか、そして
彼にはそんな風に話す権利があるのでしょうか？

SS隊員は21歳だった。彼の恋人は
彼を二人の異なる女の子と次々に結びつけ、
彼は軽薄な人間ではなかった。彼は価値のあるものを求めていた。
彼に健康を与えてくれる平等な妻
長続きする結婚生活の中で子供をもうけた。彼は最初の娘を手放した。
健康診断で少女が明らかに
不妊のままだった。しかし、新しい愛が生まれたとき
彼は病院で、別の女の子と結びつけられていたことを知った
彼自身が自分のせいで不妊になってしまったのだ。
それ以来、彼の無目的さについての文章は
彼の著作には人生が何度も繰り返され、彼は
彼は生き、愛し、そして戦ってきたすべてのものを失った。
彼の子供たちに受け継がれる。

このSS隊員が彼を通じて達成したいこと
自殺？自ら招いた罪を償いたかったのだろうか？
不妊症か、それとも子供を持たない生活から逃れたかったのか、
それは彼にとって貧しく空虚に思えたのでしょうか？

Machine Translated by Google

　これらの疑問の検証は精神科医に委ねることにしよう。我々SS隊員にとって、このケースにおいても、そして他の自殺のケースにおいても、必要かつ重要な疑問はただ一つだけだ。それは、その行為は人々を助けたのか、それとも傷つけたのか、ということだ。

　ここで言及されているSS隊員の行為が民衆に深刻な損害を与えたことは誰も否定できない。なぜなら、それによって何の償いも、何の補償も得られなかったからだ。それどころか、その逆である。SS隊員は民衆から以下のものを奪っただけでなく、

子孫を残すことはできなかったが、彼自身の死によって

彼自身と、彼自身の労働力と戦闘力に自信がなかった。こうして彼は罪を重くした。

　大きな罪悪感は、

死によって償われた。そして、

罪を犯した者が生き続けることは、コミュニティにとって耐え難い重荷となる可能性がある。それ以外の場合、償いと和解はただ一つしかない。

地域社会のために全力を尽くす人生。

　1939年3月19日の命令で、SSの国防軍総司令官は

明らかに自殺の立場をとった。そこにはこう書かれている。

　「自殺の最大15%は、

受け入れられるものであり、例えば人生の終わり

地域社会を傷つけ、名誉を傷つける犯罪の後

名誉のためだ。しかし、自殺者の85%は

決して受け入れられない理由、例えば

罰、テストへの恐怖、叱責を受けた後

上司、両親との口論の後、

Machine Translated by Google

嫉妬から婚約を解消し、

不幸な恋愛など

「この種の自殺は英雄的行為とは何の関係もありません

あるいは英雄的な精神。SS隊員たちは彼らを

逃避は闘争と人生そのものからの逃避である。

「SSは、

争いを避ける。それゆえ私はいかなる場合においても

上司が主導した調査

自殺の理由を明確に特定する

死亡の通知がされないことは受け入れられない

SSは参加していない

埋葬。"

あなたの命はあなたのものではなく、あなたの同胞のものなのです。

Machine Translated by Google

私たちが闘うのは、

我々の種族と我々の民族の存在と繁栄、その子供たちの養育、そして

血、自由、独立

祖国よ、我らの民が成熟して

創造主によって与えられた目的の達成でもある。

宇宙。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

「死点」を乗り越えなければならない

企業からの次の手紙のメッセージ
リーダーという言葉は文字通り理解されなければならない。それは
あなたと私、そして私たち全員にとって非常に個人的なことです。

…このような困難な日々にもかかわらず、私たちは
自信を持って未来を見据える。しかし、ある考えが私をしばしば悩ませている。それは、ヨーロッパ人の中には、最終的な意味で、未来の全体像を完全に理解している人があまりにも少ないということだ。
この戦争の絶対的な無条件性。確かに
ますます広がっている。しかし、戦争の厳しさは、あまりにも限られた人々にしか及ばない。

ボルシェビキは西側へ来たがっており、
彼は死を背負っている ― 私たち全員にとって、例外ではない。私たちは戦う
存在か非存在か - 私たち全員、帝国の私たちと
ヨーロッパ全土で。東から我々を脅かすのは完全なる殲滅であり、ボルシェヴィズムこそが絶対的なものだ。
我々のあらゆるものの歴史的否定、
何と呼ぶかは関係ありません。そしてロシア人は強いのです。
特に、これまで常に争いの決め手となってきたもの、つまり精神において。彼は驚くほど健康です。
ボルシェビキの毒でさえ彼を傷つけることはできない。その代わりに
細菌の効果は、以前に設定した

Machine Translated by Google

眠っている力が動き出し、盲目的に、しかし抗えないほどに内なる法則に従うようになる。

ボルシェビズムは、以前は貧しかった地域にとって本当に大きな出来事です

ロシアの歴史は歴史的に動いてきた

――そして今もなお動き続ける――この巨大な民族の巨大な塊。ロシア人は何の妨害もなくこの戦争に参戦する。我々は豊かな伝統を背負っており、それが我々を重荷にしている。

総統がかつて言ったように、「最後の大隊

勝利する。言い換えれば、最後の一撃を放った者が

試合の行方や最後の一発がどこに放たれたかに関わらず、勝利する。5分後に武器を構え、相手に狙いを定めた者が勝利する。

12歳は、たとえ単独で敵に対抗したとしても、勝利した。

千。

非常に苦しい数週間が過ぎ、恐ろしい経験でいっぱいでした。しかし、私たち東部の兵士は

素晴らしい自己認識と冷静さ

私たち自身を。私たちはより清潔に、より良く、より強く、そして

ロシアですでに2年以上も持ちこたえてきた兵士たちは、私たちの民族の最高の兵士たちです。

断然最高です。それは、もはや訓練すべきではないということです。

シャワー室、ベッド、

ロッカーなどではなく、ロシアやポーランドの汚い巣窟で。西側諸国で部隊を編成するべきではない。

ヨーロッパ、ソビエトロシアとポーランドです。

Machine Translated by Google

　最近、部隊からはぐれてしまった二人の兵士を拾いました。10日前まではハーグにいたのに。このような人物に最初から期待してはいけないことは、ここでも明らかです。

彼らがどれほど装備しているかは不明だが、残念なことに
最初の戦いですべてが失われた。この見解は
ますます多くのことが分かってきました。
休息や再訓練のために長期間故郷に戻ることは
彼らがかつてなかったほど良くはなくなった
そこにいたことがある。まず「死点」を乗り越えなければならない。過去を振り返ることを忘れ、真の人生への道は回り道しかないことを学ばなければならない。
敵の敗北、もう戻ることはできない。

　祖国は私たちにとっては美しすぎる。それは私たちを病ませる。
怠惰で弱々しい。それは家庭の士気とは全く関係ない。しかし、安全と礼儀正しさが家庭にもたらす影響とは関係ない。
私たちの全生涯と存在が私たちをそうさせるのです
ロシアの悲惨さを振り返ると、
容赦ない要求による孤独と荒廃、
これは絶対的なものなので、おそらく
アテネ人がスパルタと闘争したときや、カエサルが
ウェルキンゲトリクスとの戦い。

　たとえ完全に感情的であっても、それを理解しなければならない。そうでなければ、途方もないプレッシャーに屈してしまう。
それは霊的に降りかかる。これを理解すれば、

Machine Translated by Google

するとプレッシャーはたちまち消え去り、代わりに敵と戦い、どんな犠牲を払ってでも打ち負かすという、冷徹で積極的な意志が湧き上がります。任務中、私は

非常に多様な部門に精通し、

1940年以来ロシアで中断なく存在していたもの、戦時中にドイツで形成されたもの、

フランスで組み立てられたものもある。最後のものは

最も困難な時期は、

ロシアの土地の無条件の性質を

ヨーロッパの創造性を待ち受けるこれらの空間の巨大な可能性を明確に理解します。

頭の中で「あの頃のフランス！」と鳴り響くが、

「私はここにいる、ここにいる。もしそれが良くないなら

ここにいれば、きっと素敵になるでしょう。それが私の存在理由、私の存在理由なのです！」

残念ながら、後者を言う人はほとんどいない。もし我々がロシアの土をしっかりと噛み砕くことができれば…ソ連は

決して私たちを追い払うことはありません。しかし残念ながら、噛みつく人は少ないのです

しっかりとここにいる。彼らは戦争の終結を夢見ている

故郷の自由人としての戦争の終結についてではなく

東側。それは非常に残念なことだ。そうなるべきだ。

その瞬間、ロシア人は何でもできる

好きなのに、一歩も前に出てこない…

Machine Translated by Google

もし古い世界が崩壊していくのを見るなら、私たちは

価値あるものがたくさんあるかどうか、

かけがえのないものも破壊されてしまうなんて悲しい

抵抗の力を弱めてしまう。その代わりに

自分自身に問いかけてみよう。

私たち自身の中に強さがあり、

ライヒは私たちの血肉から抜け出す。もしそうだとしたら――そして

私たちの中の最も優れた人々がこの確固たる信仰を持っていることを私は知っています。

そうすれば、私たちは偉大な国を再建する力も持つことになるでしょう

古い壁がまだ私たちを邪魔していない場所で働きます -

東の空間と西の遺跡の上に。

大聖堂は崩壊したが、その聖なる尺度は生き続ける

我々の血には不滅の血がある。だから我々は闘争の自由があるのだ

そして後には永遠の基準に従って自由になるだろう。

新しい時代の新しい要塞を建設するため。

***

シンプルで自然であること

最高かつ最終的な目標です。

- ニーチェ

Machine Translated by Google

人間は物質に対抗すれば物質より優位に立つ。
優れたベアリングと外部の質量または大きな質量がない
精神的な力では打ち負かすことができない力は想像できる
強さ。そして、この力があれば誰でも
男性、真の男性においては、価値観は
砲弾や爆撃によって破壊されない生きた生物
爆発物の山。

- エルンスト•ユンガー

Machine Translated by Google

永遠の心

戻る道 - それが私たちが「道」と呼んだもの

息子を亡くした母親と父親、両親、

彼らにとって、それはしばしば唯一の道であり、絶望と孤独から抜け出して人生へと戻る道となるはずの道である。ゼッティン出身のマリアンヌ•ハルミッツ夫人は、

そんな母親の帰還を報告する前線兵士。

列車の中のことだった。旅人たちの中に、若い兵士が座っていた。髪は白髪に変わっていた。顔には傷跡が刻まれ、強いショックを受けたせいでできた皺が刻まれていた。

彼は6週間の休暇で旅行していたと述べ、

なぜこんなに長い休暇が取れるのかと聞かれたので、彼は徐々に話し始めた。

重傷を負った男はスターリングラードから来た。

彼は困難な戦いにほぼ参加し、

最後は飛行機で祖国に戻り、病院へ

ウィーン。私たちのような冷酷な男でさえ涙を流すほど感動的なレセプション。信じられないほどの愛、心遣い、花、そしてお悔やみ。

隣のベッドには私の友人であり同志がいます。彼の傍らで、静かに

英雄的な母親は、自分の唯一の子供が出発するのを見ながら座っている。

広大な未知の地への道に沿って。

私からは腕と両腕を失った同志H.です

足。

Machine Translated by Google

彼は一人ぼっちだ。枕元に親戚がいることは決してない。
困惑しながらも静かな同情を抱きながら、彼の視線は
母親の顔。彼女はそれを感じ、目に見えない帯が
理解が彼女の心を包みます。

「この若者は誰？」と彼女は突然私に尋ねた。

「非の打ち所のない男であり同志です」と私は答えます。

"一人で？"

「残念ながら、そうです。そして貧弱です。」

彼女は黙り込む。私はこれらの疑問について考える。
この時間 - おそらく意地悪なのでしょう。彼女が大きな
農場で夫が亡くなり、隣に
息子であり、相続人であり、名跡を継ぐ彼女が出発しようとしている
最後の旅路。彼の命は刻一刻と消え去っていく。
彼女は彼の手を握るが、その手はどんどん重くなっていく。
そして彼女の心の血が引くのを感じ、
彼女は息子の死とともに自分の人生も消えていくのを感じています。
彼女の人生の意義と、彼女の最初で最後の達成感。
すでに冷えきっているのに、彼女は静かにその手を握り続けている。
私たちは静かに横たわり、息をする勇気もありません。

それから彼女は立ち上がり、私たちの同志のところへ歩み寄った。
目を大きく見開いて彼女を見た。彼らは手を差し伸べた。彼女は
温かい圧力が意味するもの ：彼の内面
同情。

「さて、親愛なる君、私はあなたにお願いがある。
あなたは私の息子の友人でした。あなたを私の

Machine Translated by Google

「息子よ ?全てはお前のものになる、全ては…！」

すすり泣きのように。

彼はぎこちなく彼女の手にキスをしようとする。そしてどもりながら

感謝の意を表した。「それが」兵士の報告はこう締めくくられた。「私が

経験豊富で、何のために前線に戻るのか分かっている

休暇が終わったら。」

彼はドイツの永遠の心、ドイツの

母。彼は彼女が最も偉大な時に死を乗り越えるのを見ました

一瞬。

Machine Translated by Google

壊れた手

マスター•リーメンシュナイダーは工房に一人でいた。
夕暮れの光が、まるで
最後の日光の下で、静かに生命が満ち溢れる。ティルマンは
落ち着きのない手は静まり、彼の目は再び
最近仕事が忙しくて。彼は立ち上がって、重い足取りで
マドンナ像と、これまで何度もそうであったように、
彼には再び、死に直面していないように見えた
木工品ではなく、不思議な鼓動を打つ存在。彼はかつて
再び衣服の垂れ下がるドレープを感じ、体中にいつもの奇妙な
震えが走ったことに気づいた。
彼が彫刻を始めるといつもそう思った
柔らかく香りの良い木から生まれた愛情深く親密な顔
原生林から。仕事中はいつも
彼は一人でいて、時間にも時間にも縛られていませんでした。
彼が人生で見たもの、愛したもの、憎んだものすべては
ただそれを新しいものにするために手に取っただけ
石や木から出て日常から解放される
妻たちにとって、彼のそばで暮らすのは容易なことではなかった。
彼は3回結婚したが、死は
普通の客であり、彼が信じていることを掴み続けていた
完全に所有する。時には彼は
まるで、妻たちの人生を、

Machine Translated by Google

彼にとって特別なものが彼の手を通して彼の
仕事。彼にとって、それらは常に泉のようなものだった。
彼は力と喜びを得ることができたが、時折
少し平和な感じもしました。でも、彼らは本当にいなくなったわけではなく、
それは主人にとって良い、そして心強い確信であった。
美と貴族らしさは素材から生まれた。彼は
暗黙の法則を成就した。何もないところから生まれた彼は
沈黙する生き物の中に創造と生命への信仰を目に見える形で示した。
見習い時代の苦労から長い時間が経ちました
彼の作品の最高峰。彼は多くの人々と
国々。ああ、世界は広く、憧れは
飲み込むほどに、彼は成長していった。しかし徐々に平和が
ヴュルツブルクは彼を圧倒した。
彼の血の落ち着きのなさ。ここで彼は守られていた。

　師匠は冷静に全体を振り返り、
その時彼は、農民の過ぎ去った時代を思い出した。
目覚めは彼の憧れが流れ込む大きな川のようだった
流れることができた。

　彼の思考は再び宝物の中に戻った
教会の監督官のホール、
高い大聖堂の柱壁を志向する - それらすべてにおいて
彼の作品は彫刻、記念碑、祭壇、使徒像などであった。
彼はいつもこの雄大な石の森の中に立っていた
彼は幸せで、
このような構造物を反抗的に積み上げた国

Machine Translated by Google

空。彼はまた、広い大地に鳴り響く鐘の音も好きだった

重々しい声で。

しかし、奇妙な何かが無意識のうちに内部に住んでいた

彼を破った。なぜ司祭たちは電話を切ったのか

そこにオランダの金や色とりどりの飾り物が？なぜ彼らは神へ

の異国の祈りを歌ったのか？なぜケースの中のお金の音が一番

重要だったのか？

教会？そのとき、リーメンシュナイダーに激しい苦痛が襲いかかりました。

彼は祝福された両手を力強く握りしめた。

聖職者たちは、彼の手がなかなか動かないようなものを無理やり形にさ

せようとした。それでも、私は自分の望み通りにしたが、彼らは私の言うこ

とを聞かなかった。そして彼が考え込んでいると、

彼の目に冷たい輝きが増した。彼は

日々、彼の周囲にいた人々を作品のモデルとして迎え入れた。田

舎の女性、都会の子供たち、工房や農場の男性たち。彼は

祭壇に彼らを置き、教会は彼らに

外国人の名前。

ヴュルツブルクの司教領主の高位聖職者は

マスターに新しい命令。リーメンシュナイダーの気難しい

答えが彼の耳に届いた。そして、熱心に

彼からは遠慮なくこう言われた。「街では噂が広まっている

広がっているが、信じたくない…リーメンシュナイダー様！地獄

の力は常に

Machine Translated by Google

あなたの中に居場所があった。

聖なる祭壇の中に反キリストが具現化されるのだろうか？

追い詰められ、非常に驚いた主人は尋ねました。

「反キリストはどこにいるのでしょうか、牧師様？」

彼は白い手を広い袖の中に滑り込ませた。

ソウタネは冷たく、少し軽蔑的に言った。

「祭壇の隅に農民たちが座り込み、

下品な顔、そしてあなたは非常に立派な彫刻を彫りました

ハイリゲンブルータルタルでのユダの顔

ローテンブルクは聖ヨハネの名で呼ばれるようになった。そして

盗賊が行方不明になっているのを見て、彼の目は

マスターは身をかがめて言った。「そしてすべての神の母

あなたは若い妻エリサの顔を彫ります。」

師は牧師に軽く冷ややかな笑みを向け、細い手を挙げて拒否し、「はい、

はい、私は

何を言いたいのか分かっている：…そして今日でもブランド

悪名高い、裸の最初の人間が立っている

マリエン教会の門の前で、明るく無邪気な私。

私の作品についてどう思うか知っているなら、私が

聖書に忠実ではありませんでした。今私は

没頭するのは非常に危険であることを知っている

聖書に深く入り込んでいた。

あなたが人々にまとわせた偽りの衣服

そして今、これはあなたにとって迷惑です。なぜなら、

真実。"

Machine Translated by Google

　神聖にして唯一の教会の木彫師、高位の顧問よ、用心せよ。教会は主の聖餐を受け、あらゆる人々の上に揺るぎない地位にある。教会のしもべであり続けよ！
悪魔とその手下の手先になってはいけません！」
　師は何も答えず、高位聖職者を長い間、軽蔑の眼差しで見つめた。重々しいオーク材の扉が、去っていく聖職者の後ろでバタンと閉まると、リーメンシュナイダーは、その扉の最初の大きな梁が
彼が何十年も渡ってきた橋が壊れてしまった。
　ティルマン・リーメンシュナイダーは数日間この国に滞在していた。彼は秘密組織に所属していると知っている友人や同志を訪ねた。
農民の抵抗組織。静かな反乱が広がった
火のように農民の需要は増大した。しかしティルマンは
リーメンシュナイダーは彼らの側に立った。
　ヴュルツブルクの城壁の上には農民たちが
首長たちは何時間も立って待っていた
農民軍が街に到着するのを待っていた。反乱が隠されるまで。
警鐘が鳴った時
彼らは突然現れ、静かに
男たち。彼らの状況は今や良好だった。大司教は
逃げ出した彼は、自分のゲームが終わったことに気づいたに違いない。すぐに
農民たちが来ることになっていた。風が冷たい拳のように彼らの顔に打ち付けた。夜は冷たく長く忍び寄った。ベルメッター

Machine Translated by Google

リーメンシュナイダーに昇格した。「非常に長い時間がかかる

その時、軍隊はヴュルツブルクに向けて進軍していた。

暗闇、寒さ、そして待ち時間がどんどん大きくなっていった

一緒になると、より抑圧的になり、より圧倒的になります。

黒い闇に叫び声が響いた。蹄の音。

急いで駆け寄る馬。メルゲントハイムの伝令だった。

息を切らしながら彼らは言葉を絞り出した。最初はたった2つだけだった。

めちゃくちゃ回転した:

「全て終わった…全て終わった！…何も残っていない

農民軍の」についてのどもった報告

最後の農民軍の崩壊は彼らの恐怖に深く刻み込まれた。

何も動いていなかった。男たちの周囲に恐怖が広がった。

まるで侵入不可能な壁に囲まれているかのように

炎。彼らは窒息しそうになった。

耐えられない。すると誰かが、まるで

殴られた動物は泣くことができる。

しかし、その後、それは激怒して解き放たれた。農民のリーダーの

乱気流の中で鋭い声が響き渡った

崩壊：

「リーメンシュナイダー！ リーメンシュナイダー！…ほら、早く、

馬よ、ヴュルツブルクを去らねばならぬ !司教が

勝利者たちが街に進軍し、そして我々の

命が終わる。私たちは彼らの靴に泥を塗る !私たちは…

最後のものです！

Machine Translated by Google

そして彼の頑固さに驚きました。「どうしたんだ、

「リーメンシュナイダー？ 来い！」非常にかすかな、しかしガラスのように硬い

返事が返ってきた。

「私はヴュルツブルクを偉大な街にした‥私はここに残る。

しっぽ、そして…そして…私はどこに…行けば…いいの…？」

沈黙！

夜の黒い嵐だけが吹き荒れ、星は見えなかった

輝いてはいるが、希望の光は暖まっていない。

農民のリーダーたちは考え直した。彼らは気づいた。

逃げる必要はなかっただろう。遅かれ早かれ

後で発見されるか、

森に隠れなければならなかったが、彼らはおそらく

飢え死にするかもしれない。

最後の農民リーダーたちは3年間隠れることができた。

数日後、彼らは発見され、捕らえられました

司教のブラッドハウンド。

彼らは地下牢の最奥に鎖で繋がれたままうずくまっていた

マリエンブルク要塞、彼らの燃えるような目は

重苦しい闇。誰も互いのことを知らなかった。

地下牢の中の空気は悪臭を放ち湿気が高かった。

ティルマン•リーメンシュナイダーは、

地下牢の暗闇。一日一日が過ぎ、一歩ずつ

一歩ずつ進み、多くの夜が過ぎていった。明日は

消え去り、過去は崩壊した。

Machine Translated by Google

突然、石造りの地下牢の前で足音が聞こえた。あるいは鎖かもしれない。日

光が眩しい。

リーメンシュナイダー。彼は乱暴に前に押し出された。

処刑人のダブレットの派手な赤が彼の

目が覚めた。彼は法廷に入った。

彼の謙虚さの上に法廷が即位した。

黒くて遠くて、別の世界に属している。

彼が知った時 :さあ収穫の時が来た…赤

収穫。

告発状は市の執行官によって読み上げられた。

聖職者は主権を世俗の裁判所に明け渡した。

彼女は手を汚さなかった。

血まみれの手が聖所を抱きしめる？

教会は汚れのない存在だった。世俗的なものの上に立っていた。

彼女に仕えなければならなかった国家と世俗国家は

次の文を渡します:

「ティルマン•リーメンシュナイダー、彫刻家、木彫家、都市-

ヴュルツブルク市の顧問であり元市長である

主権と封建社会に対する反逆罪で告発された

ヴュルツブルクの高貴な司教殿。

不服従と、彼が都市を開放するつもりだったため

農民異端者たちの屈辱を受けて、彼は

死…しかし教会は…"

リーメンシュナイダーはほとんど耳を貸さず、

何もかもが終わり、外では鳥のさえずりが聞こえた。小鳥が

Machine Translated by Google

彼は思った、昨日のあなたの歌が役に立ったのに

そして牢獄で過ごした日々、しかし罪状認否と

裁きは言葉ごとに彼に近づき、彼に触れ、鉄の指のように彼の心を掴み、

壊してしまいました。

「教会は主の名において慈悲深い。

リーメンシュナイダーは、彼の一部を奪われるだけで

所有物は没収され、

拷問…彼の手は…折られる…でしょう！"

太陽は輝くだろうか…風は吹くだろうか ?木々は

ざわめく権利があり、鳥には歌う権利がある

この激痛が与えられた時？

名もなき恐怖ですべてが凍りつく？

そして完成しました！

人間は人間の刑罰を執行した。

拷問者たちが恐ろしい行為を始めると、主人は

歯を唇に押し付けた。彼は一言も発しなかった。そして倒れた。

赤い光る円の渦に変わります。

中世の時代のようなことが二度と起こらないように

創造的な人々が拷問を受けることのないように、私たちは戦います。

Machine Translated by Google

魂と体

LEによる

後期古典キリスト教の概念では、

肉体と魂の本質の深い違い。どちらも

それらは異なる起源を持っています。肉体は地上の物質的な源から来ており、魂は神聖で精神的な起源を持っています。

両者は異なる運命を辿ります。肉体は死に朽ち、

魂は永遠であり、死後も生き続ける。両者とも

価値観の最大の矛盾 :身体は

衝動、卑劣なもの、反価値観、悪の衝動。魂は

高潔で善良なものであり、したがって無限の価値を持つもの。

二つの裂け目と橋渡しできない峡谷の間に、彼らは立っている

互いに対立する。不浄なる体は

魂の自由で神聖な霊的な高みへの飛翔。それは

不純な、地上の牢獄。

私たちの生活感覚と私たちの品種の自然な感覚は

死にゆく崩壊しつつある世界のこれらの信条に同意します。

私たちは魂と体の両方が神に託されていることを知っています

創造主から直接私たちに与えられます。どちらも

永遠に創造され、素晴らしく

働く神聖な性質。

私たちは、その両方を私たちの

先祖と子供たちに受け継がれています。私たちは知っています

両者の生存継続か死の決定は

Machine Translated by Google

自己責任のもと、私たちは創造主の作品を守り、時代を超えて伝えていくよう求められていることを、敬意を持って生きています。

私たちは、私たちの体の高貴さと純粋さが

魂も同時に傷つけられ、その逆もまた然りです。私たちは、自分の肉体を蝕む者は自分の魂も傷つけることを知っています。魂を腐らせる者は、自分の肉体にも傷をつけるのです。私たちは、魂を教育し、形作ることができるのは、神と共にあることだけだと知っています。

私たちの体もそうであり、その逆もまた同様です。

私たちは本質的に同じであることを知っています

私たちの体と魂の聖化と

一方が他方の神聖化でもあるのです。

Machine Translated by Google

母なる大地 - 祖国

そこには希望と信仰、犠牲と
数え切れない世代にわたる献身、行為、そして仕事。
は、聖別され、聖なるものとされた遺産です。
祖先の生と死は、私たちに強い
そして美しい遺産。どれだけの人の手が築き上げてきたのか
勇敢に、そして忠実に、偉大な祖国の家で
私たちの心、ヨーロッパ。どれほどの人が犠牲を払い、思いやり、
働き、飢え、考え、苦しんだ !すべての手は
地球の全長にわたって、幾度となく勝利と死をも恐れぬ防衛
が繰り返されてきた。ゲルマン民族も同様である。
人間は何世紀にもわたってゆっくりと明確な
村、都市、城塞、大聖堂、城、橋、通り、活気のある工房などの特
徴を風景に取り入れています。
それは私たちが言うとき私たちの目の前に現れます。「母なる地球」
- 祖国。この大地から私たちは育ってきた。
私たちを取り囲み、祖国は生きる力を与えてくれます。
ゲルマン人はしばしばそれを認識しなかったし、
その価値を認識していた。しかし、彼らが囲まれたとき
外国人にとって、
祖国は母のように善良で不変であり、決して
はかない、いつでも彼らを拾い上げ、養う準備ができている
力と信念を持って。

Machine Translated by Google

　それは困難な道だった、一人の男が立ち上がって言った。
明確な声で、私たちは愛を超えて成長しなければならなかった
私たちのすぐ近くの故郷の土壌。
素晴らしい
部族の個性と景観の多様性
ゲルマン民族の地こそが私たちの生活の豊かさの源であり、
血縁や文化に関係するすべての人々を理解し、感謝し、尊重し、そして愛することによってのみ、
ヨーロッパは我々自身のために最高のサービスを提供している
祖国。それは我々ゲルマン人にとって、偉大な聖なる祖国であり、そこにある風景の一つ一つが礎石であり、一つとして欠けてはならない。そして、それらが全て揃って初めて、その調和が保たれるのだ。
偉大な北欧の永遠の美に共に
決定された居住空間。

Machine Translated by Google

同類の

トロンハイムの背後の鉄道は破壊されたため、
会社は行進しなければならなかった。

「ノルウェーで行進している」とライフル兵たちは考えながら
罵りながらリュックサックを背中に投げつけた「まるで
海から水をすくい上げる作業は、決して終わらないようだ。」

しかし、その国はどこよりも美しかった
これまで見てきた他の地域と、
この戦争中、ヨーロッパでは多くの場所で
丘を登る時、急に登るのではなく、とても簡単で
行進中にはほとんど気づかれないほど魅力的な方法です。
山々の間には小さな暗い湖があり、
野原や牧草地はとても緑でした - 草のように
イースター期間中は自宅で過ごしていたが、聖霊降臨祭は
ずっと昔に過ぎ去りました。

部隊は朝に新たな行進を開始し、
午後に短い休憩をとった後、彼らは遠くまで行進した。
夜。ついに、先頭を行く者は町の姿を見た。
この日の行進の目標はオゲンダルと呼ばれていました。しかし
この瞬間、会社はひどい失望を味わいました。
街全体がとても美しく
谷は徹底的に破壊され、遺跡だけが残っていた。
家は一軒も残っておらず、

Machine Translated by Google

時々壁、一本の煙突と壁。

残骸のあちこちで煙が上がっていた

くすぶっていた。会社が

町の向こうの牧草地で、

この地域でキャンプをしていた人たちは昨日

ここで激しい戦闘があった。ノルウェー軍は

勇敢に抵抗したが、その過程で町は

炎上する。

　しかし、ライフル兵たちは長い行軍に疲れており、

船長は簡潔に言った。彼は手を上に伸ばして

農場のある高地では、「すべての小隊が

一つの農場です！

　第一小隊を率いる若い金髪の中尉

素早く周囲を見回した。「私はもう持っている」と彼は言い、ラ

イフル兵の方を振り返った。「最初の小隊は

「農場のすぐそばに3本の木がある！」ライフル兵は振り返った

彼らの頭。まさに最高の農場だ！しかし彼らは見た

この農場は、

丘の上に城のようにそびえ立っていました。暗い赤色の

梁は白い枠の窓に美しくマッチし、

周囲には手つかずの牧草地や野原、

森。確かにそこに居るのは良かった。

　中尉は小隊を集めた。ライフル兵は

再びリュックサックを背負い、小道を登っていった。

白樺の森を抜けて上へと進んでいく。

Machine Translated by Google

木々の新鮮な緑が開け、農家
すでに目の前には草原が広がっていた。
建物の周囲は、畑が新しく刈り取られたばかりでした。
すべてがとても清潔で整然としていた。本当に農家の
ここに住んでいた人は、帝国の王様でした。「私たちは
「第二中隊のライフル兵」中尉は口笛を吹いた。
幸いなことに、それは彼のお気に入りの行進曲でした、「私たちは戦い、
「勝つが、決して退却はしない！」そして彼は小隊を止めさせた
そしてゆっくりと農場へと向かいました。

それは広くて堂々とした家だった。巨大な
入り口は細い屋根を突き出しており、2つの
木製の柱。柱には繊細な木彫りが施されていた。
重い門にはあまりにも繊細すぎる。まさにその瞬間
中尉はドアに手を置こうとしていた
ハンドルを切ると、老人が天蓋の下から出てきました。
彼の体格は大きく、かなり背が高かった。
中尉は実際にはかなり体格が良かった
彼自身。

老人は兵士を見て両手で掴んだ
拳をドア枠に押し付け、足を組んでそこに立って
激怒して首を横に振った。「こんにちは！」と中尉は言った。

老人は数回飲み込み、すぐに
「いいえ」と言った。それが彼に言える唯一の言葉だったに違いない
ドイツ語で「いやいや！」と言い、彼の細くて四角い顔は
彼は無愛想で、灰色の目には燃え盛る怒りが宿っていた。

Machine Translated by Google

中尉は再び微笑んで、気楽に言った。「あなたは
私の小隊40名をここに一晩泊めておく。
家の中に場所を見つけて、ここに、他のは納屋の中に！」
老人は木に指を握りしめ、
ドアの柱に足を突っ込み、まるで
一人で小隊全体への入場を拒否しなければならなかった
家の前に並んだ。彼は怒って言った。「だめだ！」
中尉は軍曹を呼び、
納屋の世話をし、キャンプ用の藁を準備する。彼は
私はここにいる老人に一人で対処するつもりだ。
中尉がそう言った瞬間、老人は
男は数歩前に進み出て家の中に入っていった
気が変わったかのように、中尉の前で。
中尉は玄関の前でしばらく立ち止まった。
彼は目の前に広くて低いホールを見た。壁は
木製の羽目板が張られ、その上には重々しい黒い梁がありました。
部屋の明かりはドアからのみ入り、
暗闇の中で。中尉は徐々に
ここに10人、12人の男たちが立っていたのがわかる。全員とても背が高い
彼らの頭が低い天井に届きそうだった。
彼ら全員が老人と同じ無愛想な顔をしていた。
突然、中尉は男たちが立っているのに気づいた
担架の周りに。担架の上には死んだ兵士が横たわっていた。
中尉は帽子を脱いだ。

Machine Translated by Google

　輪の中の男たちはそれ以上注意を払わなかった
彼に近づき、静かに死者を見下ろした。彼らは祈ることも、唇を動かすことさえしなかった。そして男たちの顔は再び硬直し、まるでただそこにいるかのように
一緒にいるが、お互いに悲しみを表すことはない。

　中尉は死んだ男の痩せた顔を見た。
蝋のように青白い顔色だった。目は閉じられ、額には大きな深い傷跡が走っていた。しかし、その表情は
安らかな休息の表情が顔に浮かんでいた。
ノルウェー兵が担架の上に横たわり、その上に帽子が置かれていた。担架の足元には鍬が置かれていた。すると老人は兵士の一人に近づいた。
そして静かに彼の肩に手を置いた。
男は顔を上げて頭を上げて
彼は彼の言葉を理解し、それから中尉の方を向いた。「

「農夫は死んだ」と彼は流暢なドイツ語で言った。

　中尉はすぐに同意するようにうなずいた。
「納屋に残る」と老人は言った。男はノルウェー語で答えを繰り返した。老人はそれを聞いて、黙って
彼はうなずいた。

　中尉は小隊を収容しに行った
納屋。「誰も家に入ることはできない」と彼は言った。
ライフル兵に説明した。「農夫は戦死した。おそらく昨日の朝の戦闘中に。」

Machine Translated by Google

しばらくして中尉が再び家の中に入ると、鉄のヘルメットと銃を持った二人の兵士が付き添っていた。老人は

最初はびっくりして、男たちは頭を上げて

中尉。一瞬、部屋の中は完全に静まり返った。しかし、二人の兵士は死体の前に歩み寄り、敬礼をして直立不動の姿勢を取り、しっかりと銃を構えて警備に立った。

最初、男たちは壁に沿って後退した。

今まで彼らはこれが何を意味するのか理解していなかった。中尉は控訴した男と向き合った。

彼にこう言った。「農夫は兵士として倒れた。私は

彼に警備員を任命しろ！」男はゆっくりとその言葉を翻訳した。

言葉で。周りの男たちは皆頭を下げた。

沈黙が流れ、中尉には彼らの顔が

以前ほど厳しくも非友好的ではなくなりました。

しかし、今、真ん中に座っていた若い女性が

彼女はテーブルから立ち上がった。背が高く、ほっそりとした体型で、

性質。中尉には、彼は決して

より美しく、より高貴な顔が見えました。

女性はドアから現れ、

死んだ男を見つめた瞬間、彼女はドイツ人の

担架の足元にじっと立っていた兵士たちは、

銃は前方に構え、1つは左側、もう1つは

鋤の右側に1つ。彼らは

Machine Translated by Google

死者の前では、
他の男性もそうだったが、彼らの顔には同じように真剣な表情と
他の男たちの顔と同じように厳しい表情を浮かべていた。
死がすべてを支配した。

女性はそれを見て部屋に戻っていった。
彼女が再びホールに入ってきたとき、彼女は木製の
両手にトレンチャーを持ち、その上に薄い
ノルウェーのフラットブレッドをドイツ人に渡した
警官 :中尉は慣習を知っていたので、
パンを一切れ取ってゆっくり食べた。彼は
これにより彼はこの農家の客人となった。

翌朝、小隊が行進したとき
老人は再び中尉のところに歩み寄った。

「ありがとう」と彼は言い、中尉は
彼はこのドイツ語をまさにそのために学んだのだ
目的を述べた。それから彼は話せる男を呼び出した。
ドイツ語で、励ますように彼に合図した。

「ドイツ軍が農夫を撃った」男は厳しく言った。
すべての単語を強調し、悲しそうな顔をしています。

「戦争だ」と中尉は言った。「戦争だ」と男は言った。
繰り返した。そして、その老人は
その言葉を理解し、うなずいて同意した。「それは
「こうなるしかなかった」と男は再び言い、顔は
明るくなった。「でも、私はこう言いたい。憎しみは
残る！"

Machine Translated by Google

　中尉は無言で頷いた。何か言いたかったのだが、大げさな言葉は彼にとってあまり意味がなかった。彼は一瞬、

適切な答え。

　ついに彼は言いたい言葉を見つけた。「私たちは

「同じ種類のものだ」と彼は言った。

　「その通りだ」と男は繰り返し、今度は老人も警官に手を差し出した。「我々は

「同じ種類です。」

Machine Translated by Google

今日、私たちはコミュニティの感覚をはるかに超えています
政治的または経済的利益よりも強い
説明する。コミュニティの感覚こそが
血液によって決まる。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

勇敢さに対する金メダル

第一次世界大戦後、オーストリアの国旗は
四方八方に風に吹かれて広がった
ヨーロッパ中で数え切れないほどの古い日と新しい日に
帝国の勝利 - 名誉のために降ろされなければならなかった
が、士官候補生はそれを高く持ち上げて共通の
尊厳ある記憶の神殿。偉大な国が
6つまたは7つの部分に分かれて、彼らはあちこちに休息場所
を見つけ、そこで皇帝のようにざわめき、
戦場から風が吹くとすぐに
カーレンベルク（トルコとの戦い）、またいくつか
ハンガリー、以前は降伏後に弾痕だらけのサテンの旗を見る特権しかなかった国々の都市に突然属するようになった。

奇妙なことに、基準は様々な
ホール、そして静かな夜の遠い時間に
最後の色の破片が蛾のように極地から地面に舞い落ちて塵と化しても、彼らの名声は
素晴らしい。

暗闇に置かれた旗のように、
行進した人たちも
陸軍のフィールドグレーの制服を4年間着用し、居住地が

Machine Translated by Google

新たな国の一つにありました。帰還兵たちは勲章や十字架、リボンを箱や洗濯物の後ろに隠しました。そう、勇敢さを称える勲章は、隠しておかなければならなかったのです。

時々、老戦士が手を差し伸べる

偶然に彼らをちらりと見た時、彼は帝国の贈り物である彼らに触れようと、憤慨してチャリンチャリンと鳴る物を再び

暗い。

同じことが、サン•イン•ザ•サンで勇敢な行動で金メダルを獲得した軍曹にも起こった。

カルパティア山脈 - 最初は小さなカルパティア山脈、そしてやがて大きなカルパティア山脈

勇敢な行為に対する銀メダル、後にチロルで銅メダル

勲章を授与され、さらに「カール•トルッペン十字章」を受章した。彼は武器を愛する男であり、部隊に留まることを何よりも喜ばしく思った。

死ぬまで、ガリシアやトリエント、ボスニア、

「シュメルツ」は、どこであれ気にしなかっただろう。しかし、

祖国が他の国の影に隠れていたドイツ人

国の衝動的で広範囲にわたる貪欲さから、彼はちょうど

旗やメダルのように暗闇の中に消えて

農夫であり、確かに悪い農夫ではない…ただ、彼は

他の人よりも頻繁に洗濯物の後ろのクローゼットに入り、5つのメダルを取り出してチリンチリンと鳴らす

彼の手のひら。

Machine Translated by Google

彼は妻を迎え、畑を耕し、子供をもうけ、

そして、赤ちゃんが生まれるとき、妻が陣痛に必死に抵抗しているのを見て、助産師が「お母さん」と叫んでいる女性の代わりに介入するのを見て、

戦場で死ぬ多くの人々を目にした彼は、気づかぬうちにかかとを合わせて、

彼の心臓は激しく鼓動し、額には汗がにじんだ。

彼はここには立つことしかできないと感じた

気を付けて…そうでなければ、彼はしゃがまなければならなかったでしょう

追い詰められて哀れに泣く。

しかし、ゆりかごの中の子供が泣き、女性が

喜びに溢れた笑顔で、感謝して安堵した男は

不思議なインスピレーション、彼が決して

もし彼の軍隊が旗と太鼓の下で行進していたら、どんなことをしただろうか。なぜなら軍曹が人に勲章や名誉を与える権利を持ったことはなかったからだ。しかし今、

軍隊と勲章は消え、暗闇の中で彼は

最高司令官のように振る舞い、命知らずの闘争に報いるというアイデアだ。彼は口ひげをひねり、クローゼットに歩み寄り、五つのメダルを取り出して

長い間彼らを見つめていた。膝が動かなかったため

彼は震えながら、最高の、そして最も多くの

豪華な装飾でしたが、その子は女の子だと思ったので、首を横に振って

白と赤に輝く大きな銀メダル

Machine Translated by Google

縞模様のリボンを母親のネグリジェに付けました。

笑う母親が拒否し、助産婦が土のふいごで彼女の腹に手を当て、

メダルを

今は授与され、毎日横たわっていた、女性が

産褥の妻は回復し、ナイトスタンドに横たわっていた。訪問に来た人々は皆、軍曹が自分と同じように妻を敬っているのを見ることができた。

過去に名誉を受けた。その後、彼はメダルを戻さなかった。

クローゼットの中に。それはもう彼のものではなく、

影に立つ兵士、それが彼自身の気持ちだった。それは今や妻の所有物であり、彼は勲章をもらうことをほとんど惜しんだ。彼女は

本当に

理解しているが、それでも彼女は

これからは彼女自身が名誉の勲章を授与される。暗闇の中ではなく

コースから外れて、そこから前方に回り、

新しい命のおかげで、星のように輝いていた。彼女はそれを

サイドボードにカットガラスのプレートがあり、そこに

輝かしい。

すぐに二人目の子供が生まれ、父親は

妻は小さな銀メダルを獲得し、1年後には

銅メダルを獲得したのは、やはり二人とも女子だったからだ。

4年目も状況は変わらず、母親は

出産中に死にそうになったが、軍曹は今では本物の将軍のようで、

真の価値を認識した - 決して彼女に与えなかった

Machine Translated by Google

これによって金メダルを獲得したが、彼にとって最も名誉なことは「カール•トルッペン十字

章」であった。

その後、5人目と6人目の女の子が生まれると、妻の勇気は

男にとっては普通のことで、評価に値しない。彼が意図したように、彼自身の英雄的な功績のいくつかも注目されなかったのと同じように、正義は彼が女性のそのような祝福について大騒ぎしないように要求した。

子孫はもういないし、カニ漁さえも許されていた

そして、そのことについて文句を言いながら、ついに8歳で男の子が生まれた。母親にとって、とても楽で、楽で、とても早く、ほとんど痛みも感じなかったため、公平さが求められた。

彼女は勲章を剥奪されるべきだった

新しいメダルをもらうつもりだったが、それは男の子だった。

父親はベッドの横に立って涙を浮かべ、オーストリア最高位の金メダルを

産褥の女性の胸、そして彼女はいつも

これらの栄誉について笑ったり、真剣になって子供のことを嬉しくて泣いたり、

メダル。

厳密に言えば、彼女はこの勲章を受けるに値した

ずっと前から。しかし、ほとんどの

このメダルを獲得した人々は並外れた英雄的行為をし、旗は多くの

歴史上大陸形成の瞬間に、

Machine Translated by Google

勇敢さに対する最も素晴らしい報酬は暗闇から取り出され、少年のためだけに母親の明るいミルクと未来を与える乳房に置かれていた…栄光と旗、メダルと

帝国は、常に新しい乳児の唇ではないだろう
そのような豊かな胸で、彼らは初めて英雄的な栄養を得るのです。

Machine Translated by Google

純粋さを保ち、成熟する

東部戦線の若いSS隊員による

それほど昔のことではないが、私たちは純粋さと

成熟は奇妙なものとして扱われ、私たちはその概念を笑うことさえありました。戦いの厳しさは私たちの最初の命令であり、純潔は若い女の子のためのものではなかったでしょうか？しかし私たちは

それ以来、変化しました。今では私たちは違った目で物事を見ており、

もはや、青春時代の嵐からのみ、我々の行為の力を得ることはできない。戦争の長期化は、我々に忍耐と厳しさというより深い力を与えた。今、

私たちは、かつては

考えたこともなかった。今日、私たちは故郷、野の花の美しさ、そして喪失の痛みと悲しみによって賢くなった目で見た子供の笑顔を見ることができる。

危険に対する意識。

つまり、私たちは成長したのです。

私たちの周囲に広がる破壊の中で、私たちの最も純粋な憧れと犠牲の実体としての唯一の目標、すなわち帝国が浮かび上がります。

そしてこの目的への道は戦士の道へと続く

男らしさ。

目的達成のための戦いが困難になればなるほど、私たちの意志の純粋さ、私たちの性格の誠実さ、そして私たちの行動の明確さがさらに要求される。

行動。最高の男らしさの理想を体現しなければならない。

Machine Translated by Google

帝国は達成されるべきものである。なぜなら、帝国は

人間の新しい秩序、家族、氏族、そして

個人。そしてこの新秩序のために戦争が繰り広げられる。

完全な絶滅の糸口を初めて感じたのは

東部戦線におけるこの戦争は、人類の最大の分母にまで及んだ。人種保存の要求は、アーリア人の精神性と文化の保存がそこに含まれていないのであれば、単なる動物学的な問題に過ぎないのは明らかだ。

それでも、人類の絶滅に対する私たちの答えは

世界は戦争と抵抗だけでなく、私たち自身の変容した人生も戦っている。そして、男らしさと純潔こそがこの戦いにおける最強の武器だ。そう、純粋さこそが

ランゲマルクで沈没した死者たちは最高の意味を持っていた

フランドルの地に倒れた者たちは清らかだった。東の無名の墓に今も眠る戦死者たちも清らかだった。そして、ドイツが最も必要としていた時に

この戦争の初期の呼びかけに耳を傾けた。

我々の国歌「ドイツよ、万物の上にドイツ」も、勝利の雄叫びとしてではなく、より高次の人間秩序を築くという最も深い義務として理解されるべきである。

そして、誇りの精神として、使命の壮大さ

世界のこの新しい秩序の戦士となること。これは

精神は、私たちがあらゆるところで目にする退廃の兆候、つまり利己主義、

不当利得、政治的な不正行為。

Machine Translated by Google

外見上の都合で自分の汚点を消すこと - 完全にブルジョア的な考え - ではなく、卑劣さ、二重語、不貞の象徴として、あらゆる表面的なものを意識的に拒絶することである。

仲間同士の結婚、そしてあらゆる猥褻行為や放縦な行為を娯楽として認めない。なぜか？
なぜなら、それらはすべて敵が侵入し、足場を築くための道を開くからです。清らかさを保つということは、
良心と思いやりを持ち、親切を実践する
そして友情。
したがって、各人から取り返しのつかない回答が求められる。
私たちの存在のあらゆる側面において、私たちは
私たちは社会的、政治的な
新しい秩序、そして帝国に奉仕することだけが私たちの高貴さであるという意識を体現すればするほど、彼らだけが

この世界で支配権を行使し維持できるのは
彼らは、過ちや不名誉に直面しても、自らの純粋さを保った。

私たちは、すぐ隣で倒れた仲間たちを見てきました。
若くて未完成。それが私たちの心を満たした
悲しみと落胆。しかし、その時こそ私たちは
人生の充実は年数ではなく質によって決まるという真実を体験した。
私たちに与えられたものです。なぜなら、すべての

Machine Translated by Google

生きている男、女、子供は王冠を得ることができる
人生 ;祖国のために死ぬこと。

純粋な欲望のない人生は無意味です。だからこそ、私たちはゲーテの言葉を深く心に刻んでいるのです。「快楽のために生きることは
貴族は法と秩序のために生きる」私たちは
この闘争で私たちがどこまで登るのか、そして山頂でどのような形と状態が
私たちを待っているのかを正確に知る
上記の通りですが、帝国は私たちが直接の使命です
現時点で認識し、実現できる。そして内面的に
この任務に備えるには、純粋さと男らしさが必要です。

あらゆる偽りの不純な神を崇拝するブルジョワ階級の兵士に注目してください。おそらくそのような者は、無知にも
純粋さと男らしさ、なぜなら彼はこれまでずっと
我々が目にするのは、これらの美徳の空虚な形であり、人種的•精神的な内容ではない。いずれにせよ、魂の糸を神に根付かせる者だけが真の人間なのである。
基盤 ;極限においてのみ愛が生まれる
家族と祖国への愛、自分の種族の生活に作用する神の法への信仰、そして

死に向かって静かに行進し続ける、なぜなら彼は
その死が最高の犠牲である意味を知っている
神。

マスターになるということは、成熟し、霊的な洞察力を持ち、外見を超えて物事を見、必要なことを行うことを意味します。
そして、そのプロセスへの信頼を失わないように。

Machine Translated by Google

権力と武器を手にした私たちは

この世界では一定の地位にあるが、私たちは実際

帝国の戦士たち。つまり、我々は以下の者を選んだのだ。

責任、規律、説明責任、敬意、そして

優しさ、つまり、より強い人間、新しい生き物になること、そして世界が「法」を

定めることを許さないこと

私たちは主人です。なぜなら、私たちは世界との関係において

世界をより高い秩序に奉仕する道具として捉える。

この認識は年齢に関係なく私たちを成熟させます。

18歳の若者はこのようにして、戦争の厳しさを通して大人へと成長した。試練

の時は彼らの不足を証明したのではなく、むしろ彼らが

確かに成熟してきました。

Machine Translated by Google

それはなかなかの男だった

ハインリヒ•フォン•クライン

フランクフルトへの旅の途中、ある村の宿屋の主人
イェーナ近郊で、戦闘の数時間後に私にこう語った。

町はすでにホーエンローエ公の軍隊によって完全に放棄され、包囲されていた。

フランス軍は占領されていると考えていたが、

町に一人のプロイセン兵が現れた。宿屋の主人は、もしこの男のように勇敢な兵士が戦闘に参加していたら、

フランスは負けていただろう
実際の3倍も強力でした。
宿屋の主人の話です…

ほこりまみれのこの男は、
宿の前に馬がやって来て「宿屋の主人！」と叫びました。

「どうしたの？」と聞くと、彼は「一杯の
「ブランデー！」そして刀を鞘に納めながら「喉が渇いた」と付け加えた。

「天の神よ！」と私は言う、「友よ、あなたは逃げないのですか？！」
フランス人は町の近くにいるよ！」

「さあ、さあ！」と彼は言い、馬の首に手綱をかけながら、「今日は何も食べていないんだ！」と説明した。

「あなたはサタンに取り憑かれていると思いますよ！」と私は彼に言いました。

Machine Translated by Google

「ねえ、リーゼ！」と私が呼ぶと、彼女は彼にボトルの

「ダンジガー」。

「ほら！」と言いながら、ボトルを全部渡したいので

彼が乗るであろうもの。

「チッ、チッ！」と彼は汗を拭きながら言った。

額に「時間がないから！」

「あなたは死神の子だ！」と私は叫びます。

そしてまた私は「ほら！」と言いながら彼に飲み物を注ぎ、そして私は

もう一度ボトル全体を与えて乗ってもらうようにする

オン。「飲んで走り続けよう !健康のために！」

「もう一発！」銃声が鳴り響く中、この男は言う

町のあらゆる方向に出ます。

「また ?心配じゃないの？」と私は尋ねました。

「もう一杯！」と彼は髭を拭きながら主張し、

馬の上から鼻をかむ、「だって

現金で支払いました！

心の中では、彼に…してもらいたかった。

「ほら！」私は彼に2杯目の飲み物を注ぎながら言った。

欲望を。そして彼が飲み終えると、私は3杯目の酒を注ぎます

そして「今満足していますか？」と尋ねます。

「ああ！」男は体を震わせながら言った。「ブランデーはうまい！」

「さて！」彼は帽子をかぶりながら言った。「私は何を借りているんだ？」

あなた？"

「何でもない !何でもない！」と私は答える。「出て行け、

なんてこった、フランス軍はもう町に入ってきているぞ！」

Machine Translated by Google

「それで」彼はブーツに手を伸ばしながら言った。「それで神は「報いを与えよう」と言い、短い柄のパイプを取り出す。

彼はブーツから火を出して「火を出して！」と言います。

「火事？」と私は尋ねました。「心配ではないのですか？」

「火、いいぞ！」と彼は言う。「だってパイプに火をつけたいんだタバコ。"

「あなたは軍団に取り憑かれています！」と私は叫びます。

「おい、リーゼ！」と私は女の子に呼びかけ、男がパイプにタバコを詰めると、少女は火をつける。

「さて！」彼は、火をつけたばかりのパイプを両手で持ちながら言った。「フランスは今や困ったことになる！」と口々に言った。そして帽子を目の上に押し上げながら、彼は手綱を引いて馬を方向転換させ、剣を抜いた。

「あなたは悪魔のような人だ！」と私は叫んだ。「呪われた悪党 !絞首刑執行人の名においてどこに居るのか ?兵士3人 - 違う見えますか ?すでにゲートで止まっていますよ！」

「すごい！」と彼は唾を吐きながらコメントし、3人の兵士は目を輝かせながら言った。「もし彼らが10人だったらそれでも彼らを恐れることはないだろう」そしてこの瞬間、3人はフランス人たちはすでに町に乗り込んでいます。

「バッソ•マネルカ！」と男は拍車をかけて叫ぶ馬に向かって走り、彼らに飛び乗る。神は生きていると真実であり、まるで彼がホーエンローエ軍団全体が彼の後ろにいて、

Machine Translated by Google

兵士たちは、町にまだドイツ軍がいるかどうかわからず、いつもの習慣に反して驚いた。そして
誰かが手を回す前に、彼は3つを叩き出す
彼らの鞍を奪い、馬を捕らえ、

その後、彼は私の横を通り過ぎて叫びました。「バッサ•テレムテムテム !さて、
　宿屋の主人さん、分かりましたか ?さようなら !ほほっ！」
ほほー !ほほう！

　宿屋の主人は驚嘆した。「こんな
私の人生の仲間です！

Machine Translated by Google

出版年

未知

Machine Translated by Google

引用

個人に自然から与えられたものを、
人々への貢献として受け継がれる。
このコミュニティーでは、権利は一つである。それは
自分に割り当てられた最高の義務を果たすこと。

- アドルフ•ヒトラー

***

世界大戦で戦ったすべての国々は名誉を
「無名戦士」。パリでは、
「凱旋門」。ロンドンで彼は最後の眠りにつく
ウェストミンスター寺院の黒大理石の下。ベルリンにて
彼は首相官邸に住んでいます。ドイツは
「無名戦士」が死んでいない唯一の土地、
しかし、生きています。

- フレデリック•ブック

スウェーデンアカデミー、ストックホルム

Machine Translated by Google

戦争が終わると、私たちは奇妙なことを経験するだろう
ヨーロッパに新しい秩序が生まれ、
当然の地位を占めるだろう。奇妙な
兆候としては、もはや見ることができなくなる
アメリカは新しい世界、ヨーロッパは新しい世界
世界とアメリカは昔のもののままだ。

6月22日のデンマークの新聞「フェードレランデット」によると、
1941年、第170号、これらの言葉は最近語られました
ハースト•プレスのアメリカ人ジャーナリスト、ウィンザー公爵
元イギリス国王。

***

国家社会主義は民族共同体を形成し、
子供から始まり老人で終わる。いいえ
ドイツの生活のこの巨大な交響曲を沈黙させることはできる。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

誤解された同志関係

友情は人生と同じように多様だ。千倍

それらこそがそれを示す例です。

真の仲間を結びつける。真の友情なくして真の兵士は考えられない。しかし、それは常により高次の目標、全体、共同体のためにある。その道徳的価値は

強さは強い心と責任から生まれます。

運命的に結びついているという揺るぎない気持ちから

民族と祖国。この道徳から逸脱するところは

概念が利己的な外見を帯びると、道徳的に欠陥があり、コミュニティに有害になります。

確かにSS親衛隊中佐が補給所として勤務していた

司令官はそのような誤解に屈した

仲間意識。彼の中に

レジ係が数頭の豚を屠殺するよう命令した

許可なく不当に配布または出荷された

大量の肉を、彼は間違いを検証せず、むしろ捜査に影響を与えようとした。

当局はこれ以上の調査を控えるよう求めた。さらに彼は

関与したSS隊員に宣誓供述をさせた

彼らは肉を一切受け取っていなかった。

レジ係は懲役刑を言い渡され、

司令官 - 犯罪行為を報告しなかった

Machine Translated by Google

部下を欺き、虚偽の報告を企てた - 刑務所へ

文。

　レジ係の行動は重大な危害を及ぼした

ドイツ国民に。兵站司令官は

誤解された同志愛——秩序を保つ代わりに、虐待を隠蔽しようとした。隠蔽しようとする者は、国民全体に害を及ぼし、自らの権威を損なう。

Machine Translated by Google

SS隊員の遺言

SS伍長レオ•R、民間人として助手
シレジア地方の大都市の教師が軍の
東部戦線で負傷し入院
正面。彼は「遺言状」とも言うべき手紙を残した。
武装親衛隊に入隊した日に彼が家族に書いた手紙。この手紙は、模範的な国家
社会主義者であり教育者であった彼の人生観を深く洞察している。

そして兵士。それは信仰の永遠の証である
私たちの時代の模範的な効果をもたらすであろう
未来の世代に伝え、彼らに示し、説明する
彼らの父祖の行い。

もし私が戦場に留まるか、あるいは
私が理性的に判断できない状態であれば、この
最後の遺言は私の家族と一族の要約として役立ちます。
物質的な理由で紛争が起きるのは望まない
物事はそうではありません。後にはゲルマン的な権利が生まれ、心もまた正しい行いをします。それはすでに指針となっています。世界観やイデオロギーに関するあらゆる問題において、妻と私が合意した通りに物事が進むことを望んでいます。
特にイデオロギーへの干渉を望まない
子どもたちの教育。私たちは皆、偉大な手の中に立っています

Machine Translated by Google

私たちは信仰を育み、これからも築き上げていきます。私たちの命は私たちにとって神聖なものです。私たちは、一つの民となるという素晴らしい原則に従いたいと願っています。それが私たちの宗教です。

私たちの時間。

親戚に思い出の品を残してあげたい

私を助けてくれた。私たちの一族は心が強いので、

対策は自然に見つかります。

私は心から妻が再婚することを望みます。

彼女は新たな人生の仲間を見つけたと信じています。彼女を知っている私としては、子供たちにも良い運命が訪れると確信しています。

私は、私たちの一族の友人たちに、子供たちの名付け親、そして家族の友人になってほしい。彼らが真の友情の法則を実践し、人を幸せにしてくれることを。

そして与えること。

私は子供たちが母親を自分の

彼らに命を与えた最も貴重な宝。それに加えて、民衆は法と規範に従うべきである。彼らは常に質素で、忠実で、真実であるべきである。

妻に感謝します。言葉では言い表せません。彼女は、私がこの素晴らしい出来事を思い浮かべると心が動かされることを知っているでしょう。

彼女は私の人生に深みを与えてくれました。そして運命が

彼女には私が与えられなかったものを与えてください。

不安や痛みはすぐに消え去ります。彼女が私のことを思い出してくれますように

喜びと誇りを持って。彼女はさらに多くを与えた。

Machine Translated by Google

愛しい妻よ !一緒に過ごす時間をよく考えて、全力で

未来への力。聖なる救いがあるなら、

私の心の血が供給されます。

祖先を敬いなさい。民に忠実でありなさい。

国民が幸せな未来を見つけられますように。

私はまた、しばしば苦しまなければならなかった両親にも感謝します

私のせいで。私が

私は自分の深い側面を明らかにするのに苦労していました

存在。私の愛は永遠に彼らのもの。

私があなたに手を差し伸べる様子を皆さんが感じてください。そうすれば、

強さが増し、あなたは幸せになるでしょう。信じてください、私の

心の望みは常にあなたが幸せになることです。そうなるように。

私が参加を許された旅の前夜

行為のみが重要視される人々の長い列。

レオR.

Machine Translated by Google

夜に一人で立っていると、

重い義務を負い、

彼は時計を思い出す。

死んだ同志たちの。

彼は誰かが彼の方へ歩いてくるのを感じ、

昔の兵士、

すでに最も悲惨な運命を味わった、

そして静かに彼が言うのが聞こえた。

同志！

そして、たったこの一言だけ。

彼らは黙って見ています。

二番目は影となって消え去り、

早朝の夜明けのみ。

- 旅

ヘリベルト•メンツェル

Machine Translated by Google

に関して

兵士の行動

外国人女性に向けて

あなたはSS隊員です。つまり、

単に何かのために戦うために雇われた傭兵

たとえそれがあなたにとって他の関心事でなくても、給料のために。

SSの人、あなたはSS、コミュニティ、組織を代表しています

あなたの民族の中には、血の純粋さを保ち、民族の価値を高めるという特別な任務を負っている人々がいます。

外国で武器を手にして立つとき、あなたには二重の義務がある。

あなたとあなたの国民はSSにふさわしい者でなければなりません。

しかし、あなたが着ているとき、あなたはふさわしくない行動をします

武装勢力のバッジが付いた総統の制服

SS - 居酒屋やレストランで走り回る

自国民の痛みや不安を共有せず、ただ感情がないというだけで、自国民の痛みに気づかない少女や女性たち。彼らは、外国人にとってまともな女性や少女ではない。

それは当然のことなのです。女の子たちにとって

兄弟や夫を持つ女性たちは

あなたとあなたの仲間に負けたなら、

あなたに抱きつきたくありません。また、そのような不注意からどのような害が降りかかるか、あなたもご存知でしょう。

協会。

Machine Translated by Google

自分を放っておけば、避けられない困難の権利をどうやって主張できるだろうか？どうすれば明確な視点を維持できるだろうか？
自尊心を失ったら、適切な態度も保てなくなるのでしょうか？
この戦争でもっと多くのことを引き受ける機会があったのなら
あなたが今までに果たせなかった責任
平和な時代に生きるあなたたちは、自らの価値を証明しなければならない
この責任を。私たちはあなたが戦争において勇敢であることを知っています。
しかし、冷静さ、規律、そして
隊列を組んでいないときでも、中程度です。
それが私たちの国民の将来のために願うことです。

これらの行を読んだ後、何をすべきでしょうか?
教えてあげる。あなたは澄んだ目と正直さを持たなければならない
心。私の言いたいことは分かるでしょう。どういう意味か分かるでしょう。
おそらくあなたも、この同志やあの同志を知っているでしょう
これまではただ見ていただけだった
あなたには関係ないと思った。信じてください、
あなたにも関係があります。私たち全員にも関係があります。まずは、
真の友情とは、友人を脇に連れて行き、
彼にはっきりと、理性的に話してください。
意味するところは、我々の民が遭遇する運命の瞬間について彼に伝えることだ
総統は
一人も放棄することはできない。

常に覚えておいて欲しいのは、あなたが着る月や年は
SSルーン文字のユニフォームは忘れられないものとなるでしょう
残りの人生のために。ドイツ人にとって、これらは最も重要な
人生における決定的な時期。若いSS隊員が

Machine Translated by Google

ボランティアが大人になったり、胸が
足取りはより広くなり、足取りはより確実になり、視力はより
鋭くなります。精神も鍛えられます。そしてSS共同体の中で、
彼は永遠に心に残るものを学びます。それは、秩序、規律、誠
実さ、時間厳守、犠牲、そして共同体への義務感です。

義務を果たさずにこの思い出を台無しにしないように
国民はあなたに期待しています。これを無視すれば、
誰よりも自分自身を傷つける。
　かつて「
「自分の体」とは、黒人男性が白人女性と結婚したり、

ドイツ人がユダヤ人と結婚した - 保護された時代
母親の体内で胎児を殺した者たちは
到着すると両親に迷惑がかかる。
ドイツの総統の闘争を通じて我々がすでに打ち負かした当時の
擁護者たちは、今やあらゆる面で我々に頑強に敵対している。

　自分の体と自分の血で、自分の欲望が望むことを何でもできる
と信じているなら、
我々の国民と我々の世界観の敵を助ける。
あなたが現実に自分自身を支配できるのは、
あなたの国民、SS、そしてあなた自身が従うべき法の中で生き
るのに十分な強さと誇りを育むことができる
組み立てられています。

Machine Translated by Google

彼の血を汚す者は、

彼の民を破滅させる。

Machine Translated by Google

個人にとって最もプライベートなことは、
コミュニティの公共の事柄。最も重要なのは
物事はそれらの中で決定されます：物理的な存在と

我々の国民の未来。 ヴィルヘルム•プレーヤ

Machine Translated by Google

子供の

子供を持つ喜びよりも深い喜びがあるでしょうか？あなたは知っていますか？私は知りません！それは目に喜び、耳に喜び、愛撫する手に喜び、そして優しい鼓動です

あなたの心。そう、それはあなたの存在全体を動かし

言葉では言い表せない。確かにそれ以上深いものはない

懸念。

心配事はたくさんあります。

あなたに生まれ、内なる魂の意志に従って成長していく子供は、あなたの一部です。しかし、それでも自分の道を歩みます。あなたは責任を感じ、それでもできることはあります。

何も。助けることも、傷つけることもない。あなたは続ける

子どもの中に自分自身がいますが、それでも自分自身の行動に従って行動します

意志。これ以上の懸念があるだろうか？

そしてそれは決して止まらない。あなたはそれが良いものになるかどうか、そしてそれが本当に良いものになるかどうか心配している。

健康。あなたはその間違いを心配しています。あなたは

その成果について懸念している。あなたは懸念している

その選択についてではなく、その命についてもっと心配している

あなた自身の心配事よりも、その心配事の方が気になります。

あなたの関心は深く、終わりがなく、すべてを包み込む

あなたの子供。

Machine Translated by Google

　しかし、あなた自身も子供を通してより深く成長します。子供への献身と思いやりは、あなたの人生の秘めた価値です。この価値は、あなたの名付けられない喜びです。

この喜びは、あなたの名付けられない喜びです。そして、あなたの不安が、必要ではないと分かった時に解消されるなら、

切望するものが実現するので静まる

パス：生きていれば、千の小さな芽がすぐに出てくる

春の木のように、その善良な性質は良い日の夜明けのようだ。名状しがたい喜びは、体で感じられるほどの喜びで頂点に達する。喜びは高まる

子どもの価値をはっきりと意識する光の中で。そしてそれは栄光の領域へと移ります

誇り - それ以上に深い喜びがあるでしょうか?

　子どもについて他の話も聞く。

重荷だ。責任だと聞きます。また

もっと健全で高潔な話を聞いてください。それは信念の問題だとおっしゃいます。そして、あなたが聞いている話の中で最も疑いようのないことは、それは民衆に対する義務であり、責任ある行為であり、信頼の表明であるということです。

　しかし、私はあなたに言います、あなたが子供を持つことは賢明です

愛以外の理由。そして、あなたが子供を愛していること。

喜び以外の理由はありません。

Machine Translated by Google

仕事は男性を敬うのと同様に女性を敬う。子供は

しかし、母親を高貴なものにします。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

神は誇り高き心の中にのみ生きる

現代の作家であり、その作品は高く評価されている
国民から賞賛され、彼の信念として無慈悲な
言葉：「神を必要とする人だけが神を求める。
神を必要としない、神を追い求めない。
神を信じる人は神を必要としている」
神は神を追い求める…そうでしょうか ?神は、どのように捉えるかによって
重荷を負う者と満たされる者の神である
人生の闇、欺瞞 ?私たちが世界に対処するために巧妙に作り上げたもの、そしてその真の姿に満足できないもの ?祈りは

常に私たちの無力さを慰めるための要求、行為なのでしょうか ?
多くの人は求めるために祈り、多くの人は与えるために祈る
彼ら自身は慰めを受けているが、慰めの神は私たちの
神。

「神は高慢な心の中にのみ住む」という原則を認めるとき、私たちは慰めてくれる神とは異なる神、あるいは少なくとも慰め方が違う神を意味します。

彼と関係がある。神と勇気が
そして強さはまさにそれと結びついており、その男たちは
神を必要としない人も、少なくとも神を求めている
恐れ。

Machine Translated by Google

　若い男が、一団の
仲間たちは敵の勢力と苦しみに勇敢に抵抗する
生死を分ける苦い時間の中で、危険が去った後、そのような男は
彼は叫び声で自分の気持ちを表現し、まさに呪いの言葉を吐くだろう！
しかし、彼は祈る可能性の方が高く、実際、
非常に熱く情熱的なやり方で。私たちは感動しました
持っているかどうかではなく、持っている人が何を持っているかということではなく
とても感動したと言う - 私たちは感動した
人生で最も深刻な瞬間を今でも畏敬の念を抱いて見つめている
理解不能な全体の上に、より大きな何かがあり、
全能の信仰を確証する。男はそのようなものを超えて
目に見えるもの、理解できるもの、役に立つもの。彼は自らを高め
個々のものを超えて意識を獲得する
世界の神秘的な知識の
私たちは理解できない経験の中に生まれ、定められた時に死から引き離されるのです
頼まれもせず1時間も。
しかし、人間は意志なくして生まれてきた
彼は自分自身のものであり、依然として恣意的な存在として生きていません。
彼は幼い頃から勇敢になり、
彼はこの存在を探求者として捉え、30、60、あるいは
90年の人生が本当に意味するものは、忠誠心、愛、友情、そして勇気です。
　これは人類の慈悲であり呪いである。
今日、誰もこの質問に対する簡単な答えを見つけていない。

Machine Translated by Google

そのような考えに陥らないように。そして、誰もそれを見つけられないように。神は、どんな計算からでも正確に計算できる「x」のような存在ではない。私たち人間にとって、神は単なる事実ではなく、むしろ問いなのだ。そして、この問いを何度も繰り返し問いかけ、私たちの存在の確実性、私たちの存在の条件を自覚することができるように。

存在は、これらの思考によって破壊されることなく、
そして、それらに疲れることなく…それが、私たちが考え得る最も美しく豊かな精神の勇気であるように思われます。

　ただ生きるだけでは大した意味はありません。生まれたものはみな、死ぬまでの短い期間を生き、食べ物や住まい、飲み物を求めて闘います。この輪から一歩踏み出すことは、
人生を自由に肯定したり否定したり、それが誇りであり
人間性の能力を通して真の人間となるのです
この高貴さと誇りを通して。思考に終わりはない。世界と神に対して、これほど健全で喜びに満ちた感情を心に抱く勇気を持つ人は皆、実に素晴らしく厳格で機敏である。どうすればブルジョワになれるだろうか。

小さいか低いか？彼が守らなければならないレベルがある
何度も何度も立ち上がって戦い、それは
彼だけでなく、創造物全体も彼と同じくらい広く深く
男性に現れます。
　私たちはそのような歓喜を必要としており、率直に認めますが、それは、あまりにも

粘り強く、そして臆病にも。私たちは

不快感と不満を感じ、最終的には

雲と海を発見し、秘密を発見する

数十万、数百万の生命

現れ。星々に問いかける、誰が彼らを昇り降りする素晴らしい劇に導いたの

か ?そして、

水は、その距離と深さにまで入り込みたい

流れ ?私たちは逃げないほど強い心を持っています

永遠の「どこから」そして「どこへ」から私たちは

自然についての最も正確な説明でさえも、その原因の完全な説明として受け

入れてはならない。

世界の深さに対する私たちの畏敬の念は、事実によって、あるいは

裸の闘争によってさえも、取り去られるべきではない。

存在。私たちは瞑想的になりたくも、

性質や分裂した人間ではなく、私たちは人生を歩みたいのです

自由な心で、日々の、そしてしばしば苦い出来事も、光と意味を与えてくれるも

のも受け入れましょう。私たちが信頼する神は、私たちの心と調和しています。

神は私たちの心であり、それが開かれているとき、私たちの心を知っているのです。

世界で肯定的。

神は私たちの中に生きています。なぜなら私たちは絶えず探求し続けているからです。

彼の世界の力の精神を理解し、それらを実現するよう努める

私たち自身のものです。世界と神を征服するためには、素晴らしい誇りと高潔

な勇気が必要ではないでしょうか。また、高貴な立場も必要ではないでしょう

か。

Machine Translated by Google

男としての強さと自覚

偉大なる神の前で？

私たちは神と彼のこの世の創造物をより忠実に賛美します

そこにいると、より誇りと自信が増す。笑う瞳、軽やかな足取り、真に喜びを感じ、自らを高揚させる精神、真の若々しさ、真の

男らしさ、不屈の精神、愛、友情、これらは神の旗手たち。そしてここで再び、冒頭で述べた作者の精神に共感します。彼は詩的な信念を、私たち全員の義務を表す次の言葉で締めくくっています。「神は人間によってこの世にもたらされる」。

Machine Translated by Google

全能の神が公正な裁判官となるでしょう。

しかし、私たちの任務は義務を果たすことです。

主の前に立つことができるように

すべての世界の創造主として

彼が与えた律法に従って、

生存競争の法則。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

生命樹と世界樹

アーリア人のシンボルの変容

ドイツでは今でも

17の墓石 番目 世紀､死が

その人物の姿は､非常に特殊だが啓発的な方法で描かれています。

例えば､墓石の上には花束や､太くて

美しいバラ｡骸骨の形をした死神が隣に座っている

皮肉な表情でそれを中断する

最も美しい花｡誰もがその美しさを理解できる

この絵の意味は､花が軽蔑的に折られ､花と茂みの両方を支配する生命の流れから排除されたのと同じように､この墓石が立っているこの人も同じように死んだということです。

時にはそれは優しい憂鬱､素晴らしい､そしてほとんど

和解的な性質は､この

他の墓石では､それは荒々しく､ほとんど悪戯っぽい

激変｡死神は常に醜い骸骨が木を切り倒す姿で描かれる｡木からはすでに深い部分が切り取られている｡その結果､破壊的な結果がもたらされる。

クリア。

他の写真では木がすでに倒れているのが見えます。

雲の中から雷が落ちてくる｡いずれの場合も､

Machine Translated by Google

「木が倒れたように、肉から生まれた子よ、あなたも倒れるのです」という明確なメッセージが聞こえてきます。ここで木は故人の生命の木を表し、このシンボルの命はその人の命を表し、その破壊はそれを所有する人の死を意味することは間違いありません。

人間と木が深く描かれている
深い内なる絆で結ばれた相互関係。この木は現実の描写でも、自然の描写でも、美的配慮のための文化的な作品でもありません。そこには意味があり、それは多かれ少なかれ心の中で意識的に理解されているのかもしれません。
17の 番目 世紀の木こり - 実際には
私たちの信念の根源的な深淵。
この「生命の木」という考え方はここでは推測することしかできません。
この神話は、
インド•アーリアの伝統は、ユグドラシルの世界のトネリコの木にまで遡ります。この木は、家の木、守護木、そして新生児のために植えられた木といった物語の中で生き続けています。例えば、ジュニパーや生命のリンゴといった楽しいおとぎ話の中にも、その存在が伺えます。
それは5月の木から
家の屋根に釘付けにされて保管されるユールツリー
一年を通して。いずれの場合も、家族の一員の人生は、そのような木の生長と不思議なほどに結びついています。それゆえ、それはまさに「生命の木」なのです。

Machine Translated by Google

悲しく、悲惨な17 番目 世紀、
何度も何度も痛ましい悪事を経験した
死の行為は、おそらく
倒木の話はよくあるが、そうではない。そのコンセプトは
生命の木を切り倒す死の時代はずっと昔から
セバスチャン•ブラントの歌曲の木版画、
1500年以降に制作されたこの絵画は、すでにそのような
写真です。興味深いことに、この木は
一人の人間ではなく、多くの人々を代表している
木に座って溝に落ちた人
すでに切り倒されている木が倒れる前に。

ニクラウス•マヌエルの死の舞踏の最後の絵は
さらに明らかになった。包囲された木に多くの人が座っている。
彼らは死によって矢で射殺される。
すでに述べたように、3は生命を表すものではない
一人の人物の系図ではなく、一族全体の系図です。これは
巻物からマスターの印刷物でより明確に
1470年頃。ここでは生命の樹はまさに世界樹であり、
そこには、三層の秩序に従って注意深く配置された人々が座っており、
それ自体が秩序ある世界を表しています。

一番上に聖職者がいて、その下には
世俗的な主人、皇帝や王、領主や伯爵。
その下には市民と農民がいる。
中世後期には、古くからある
人間の世界を3つのクラスに分類
インド•ゲルマン人の詩と哲学。

Machine Translated by Google

しかし、この木は伐採されるのではなく、昼夜を問わず二匹の動物に食われ、波間を漂う船のように佇み、永遠に流れ続けるものの象徴となっている。

時間。死は弓を振り上げ、人々を射落とす。

矢印の付いた木。

　この木は生命の木以上のものであり、

また、これは「クラスツリー」以上のものである。

不正確な呼び方だが、それは真実の世界樹であり、すべての人々を明確な秩序の中で知覚する。神々と人間が枝に宿る北欧のトネリコの木や、その他のインド•ゲルマン世界樹の思想も、この世界樹と近い。それらは居住空間を提供するだけでなく、幸運と祝福も与えた。今日、もちろん私たちは

壮大な神話を漠然と感じることができるが、

私たちの種族の原始的な深淵にまで遡り、

遠い過去。その変遷は明らかに

私たちがここに持っているいくつかの遺物に従って進みました。

　中世後期には北欧の偉大さの痕跡がまだ残っており、聖なる木の描写には神話的な世界観が感じられました。よりシンプルに、

より外面的で、より粗野だが、それでも意味に満ちているのは

セバスチャン•ブラントの著書と

ベルナーの死の舞踏。すると意味は大きく変わり、生命力は衰え、中世の生命樹の描写ではほとんど見られなかった個人が前面に出てくる。そして、

Machine Translated by Google

個人主義はより単純で理解しやすい絵になり、感情的、あるいは感傷的にな

り、同情、悲しみ、哀れみを呼び起こします。

最終的に、意味は完全に消え去ります。視聴者は

そのような描写を単なる寓話として評価し、その美しさを

そして彼が賞賛する美的効果。

この古い世界樹のシンボルの変容と

生命の木は終わりを迎える。私たちに残されたのは

現存する遺物を使って遠い過去を遡り、その偉大さを感じてみませんか。

Machine Translated by Google

　私たち個人は葉っぱ以外の何者でもない
木に。今日は緑です。一枚の葉が大きくなって、
一つが小さくなり、一つが枯れて、また一つが枯れる。
しかし、木が健康であれば、それは問題ではありません。

- アドルフ•ヒトラー

Machine Translated by Google

人生の喜びへの勇気

破壊された通りを歩く人は誰でも

爆撃された都市を見て震える人は

城や教会の遺跡には、

偉大な時代が反映されている、深淵を覗き込む者は誰でも

死によって引き裂かれた心…彼は

人生の喜びについて語るなんておこがましい。

人間の魂の無敵の力の一つ。おそらく兵士こそが、まさにそうする最大の権利を持っている。慰めのためだけでなく、人生の喜びが対比される現実を生き生きと感じさせるからだ。

計り知れない暗闇、そう、それだけが

耐えられる程度だった。新年の数週間は

カーニバルの喧騒の音を聞く

美しい街々で祝賀行事が繰り広げられます。かつては歓喜に満ちた人々で賑わっていた通りも、今は

破壊された家々の灰に覆われ、装飾の代わりに、頭上にそびえ立つ廃墟が見える。

かつて命の杯を飲んだ男たちが今、

地球や灰色の今深刻な闘い

生存のための戦いの孤独の中で直面する

ヨーロッパ文化。女性たちは遠くへ逃げて

Machine Translated by Google

農場や村々。私たちを人生の喜びへと導く光、思いはどこに残っているのだろうか？

おそらく私たちは人生の本当の喜びとは何なのかを議論すべきでしょう。

外的な表現のみを求める者は、戦争でそれを見つけることは難しいだろう。やや生々しいもののみを気にする者は

物質的な快楽に失望する人は

まばらな遺跡…そしてほとんど何も残っていないと主張する

もはや生きる価値などなく、この人生を讃えたり愛したりする価値もない。しかし、人生のより深い喜びは、時間や運命に左右されるものではなく、欲求や苦しみに左右されるものでもありません。それは神がその存在を自覚する者に与える静かな驚異の一つであり、誰かに押し付けることはできません。

それは私たちの外からではなく、私たちの本質と存在の中に生きています。

それは私たちの中に生きています。それを持っている人は、たとえ

ぼろぼろの服を着て土の洞窟に住む。

宮殿に住み、生活に必要なあらゆる高価な装飾品を持っていたとしても、人生にこの真の喜びを感じていないのであれば、この地上で最も貧しい客である。

それは単純な存在意識から始まります。

ぐっすり眠った後、

新しい日と仕事の前に立って文句を言う

そして仕事。他のものは数時間の不眠の後に起きる。

理解しがたい満足感とともに、

人生の現実に喜びを感じている。おそらく、それが彼らに呼吸、視覚、感覚、聴覚、思考を与えてくれるからだろう。戦争は驚くべき方法で私たちに示してくれた。

Machine Translated by Google

人生におけるささやかな喜びは、かつて高く評価されていた「喜び」よりもはるかに深く、より意味深いものであるということを、私たちは知っています。そして、これは真の謙虚さと強い感情を抱く力を示しています。兵士に、ほんの些細な喜び以上のものは何もないということを、誰が説明できたでしょうか。

清潔なベッド、薄くカバーされたテーブル、短い昼寝、グラス

ワイン、美しい絵、魅力的な女の子が歩いている

彼をこれほどの喜びで満たすことができただろうか？そして、家に帰って退屈し、本棚にぎっしり詰まった本棚の前に立ち、静かなひとときを過ごすために一冊の本を探していたとき…いつの日か世界と自分自身、戦争、汚物、苦しみを忘れることができるようになるなんて、誰が私たちに教えてくれただろうか？

そして死さえも…ある楽しい偶然が

東の廃屋は私たちにひどいものを与えた

エルチェンドルフの本を破ったコピー？誰が

ある日、暗いバンカーの中で、湿った寒さと虫に悩まされながら、かすかな光の中でモーツァルトの「魔笛」のメロディーを聴き、世界の永遠の美の夢に落ちることができると信じていました。

私たちの周りのすべての恐怖を忘れてしまうのでしょうか？

　そんな瞬間に、人生の喜びが辺りに輝き、

稲妻…あるいは夏の夕焼けの柔らかな光のように。

かつて私たちは、街の明るい通りを楽しみを求めて歩いていたが、今では、月明かりに照らされた星空の美しい輝きに息を呑むほどだ。

Machine Translated by Google

宇宙への帰属意識を私たちに与えてくれる。永遠の戦火の中を突き進み、死と恐怖の壁を歩み、夕闇の前に立ち作物の実りを目にして突然言葉を失うような、素朴な兵士以上に、人生の喜びを熱心に追い求める者はいないだろう。

柔らかな風に優しく撫でられる。そんな瞬間、彼は
自らの心臓が高鳴る中で、与えられた栄光に満ちた素晴らしい人生を思い起こす。すると、この世のどんな喜びとも比べられないほどの喜びが彼の中に溢れ出る。だから私たちはむしろ謙虚に見えるかもしれないが、それは外見上のことだけである。なぜなら、そのような謙虚さこそが、私たちが神に求める最高の要求だからである。

人生。戦争の運命が最も大きく左右されるこの瞬間
国内でも前線でも私たちの心を試し、
人生の喜びを語るのは、一見無駄な努力のように思えます。しかし、勇気は苦闘や死に劣らず喜びにもあります。死を克服することは、喜びを得ることです。
それがなければ、私たちの魂はとっくに崩壊していたでしょう
彼らの苦難の重荷を背負う。それがなければ、
家庭内の女性は長い間、
最も暗く、逃れられない憂鬱。この生への喜びは、苦境に立たされた私たちの民衆の上に輝く「それでも」として立ち、爆弾も蛍光灯もその前には無力だ。そこには子供時代の一部が息づいている。自己満足的な自慢と盲目的な

Machine Translated by Google

野心はそれにとって奇妙なものだ。自然や人々、動物や花、音楽や

詩、絵画、石や金属の芸術など、すべてがこの詩の一部です。何かを失うたびに、残ったものに目を向けるべきだと教えてくれます。

あらゆるテストの意味を認識します。

　夫婦が見つける喜びを誰が否定できるだろうか

休暇中に一緒に過ごした日々。日々の喜びに満ちた平穏な日々の中で、妻の愛、子供を持つ喜び、そして安心感をこれほど深く感じていたと、誰が言えるだろうか？たとえ運命が私たちから、

最も大切な、再び助けたいという気持ちが私たちを連れ戻してくれる

命の腕の中に。

Machine Translated by Google

オラフ王の奇妙な出会い

ウィル•ヴェスパー

　ある日、オーラヴ•トリグヴァソン王とその部下は航海に出た
ノルウェーの海岸沿いに船「ロング
ドラゴン」。ニダロスフィヨルドに到着すると、
風が強すぎたため、男たちはオールを漕がなければならなかった。
帆を張るには力不足だった。しかし王は急がなかった。上機嫌で、あ
らゆる策略を巡らした。
彼は旗持ちのウルフと模擬決闘をした。
レッド。まず、彼らはいつものように
右手に剣を持ち、そして左手に剣を持ち
手。そして最後に両手に剣を持ち、そのたびに王はバックボードまで
進みました。これらは注目すべきゲームでした。その後、オラフ王は
船の手すりに登り、ジャグリングをしながら歩きました。

鞘から抜かれた短剣が3本。誰も王の姿を見たことはなかった
失敗したり、短剣が海に落ちたりした。男たちは漕ぎ出した
さらに熱意が湧いて笑いました。
　オラフ王は後部デッキで部下たちと座り、あれこれと話していた。
そこにコルビョルンが座っていた。
元帥とソースタイン•オクセンフス、アーン•シェッツェ
イェムトランドと強者ベルスル ：ノルウェー全土、アイスランド、そし
て西の島々から選ばれた男たち
チームは、力強さと大胆さにあふれたハンサムな仲間たち。

Machine Translated by Google

それを見た。シグルド司教を除いて60歳以上の者はおらず、18歳だったアイナー•ボーゲンシュットラーを除いて20歳以下はいなかったが、最高の射撃手だった
全国で。

「今やノルウェー全土を私の手中に収めている」と王は言った。
そして彼は右手を空に伸ばし、まるで
他の人には見えない何かを掴む。「なぜなら
あなたはそれを神の手から受け取ったのです」とコメントした。
真剣な表情のシグルド司教。

「そうです」と王は同意した。「司教様の御手ではなく、神の御手から。ストラヴァンゲル、ハルダンゲル、ヴィーク、ソーニュ、すべての州の民よ、私はキリストにひれ伏すよう命じます。」
ヴェーレとラムスダーレン、海と海に面した州
山々、そして今ではヘルゲランとウプランドも。
それらを解読するのが最も困難でした。」

「でも、あなたはそれに最も鋭い歯を持っている」とアイスランド人のスクラーデ•ハルフレッドが口を挟んだ。「多くの人が
感じました。」

「それは本当かもしれない」とオラフは答えた。「しかし、今やノルウェーは一つの帝国であり、教会の鐘が国中に鳴り響いている。
「ライヒ」

「それは認めます」とハルフレッドは同意した。彼は軽く笑った。
そして、「私もあの鐘に慣れるのは大変です。口には出さなくても、同じように感じている人はたくさんいます」と付け加えた。

Machine Translated by Google

「あなたはスクジャードなので耳が敏感だ」とキングは言い返した。

オラフ。

しかしハルフレッドは自分の胸を指差して言った。「オラフ王よ、ここには

聞きたくない者が座っています。キリストは

私達のところに来るまでに時間がかかりすぎました。私達全員

私たちは母親から何か他のものを学びました。」

オラフ王は彼を長い間見つめ、そして言った。

「鐘が鳴るところ…それは帝国と王の

「支配権。」

「それは神から受けたものだ」と司教が口を挟んだ。

再び。「主人はただ一人。天にいる者。」

「そして、ノルウェーの王様もいます、司教様」とオラフは言い返した。

「一方が主人となり、一方が王となる必要がある。

土地は外国の王の戦利品となる。常に

それを覚えておいてください。」

「ノルウェーには王は一人だけであるべきであり、

「島々を支配できるのは一人だけだ」とハルフレッドは言った。

天国へ。でも、それでも、そうしなければならなかった人たち全員に同情します

「すべてを残して」と言い、ゆっくりと手を振った。

山に向かって、そして空を横切って、そして最後に

海に向かって下へ。皆、彼が何を言いたいのか分かった。

シグルド司教は怒って彼を見た。「その歯は

「まだ頻繁に噛む必要があり、たくさん噛む必要がある」と彼はコメントした。

「これらの偶像や魔法使いが強制的に去る前に

ノルウェー全土です。」

Machine Translated by Google

皆はオラフがハルフレッドの反応を見るためにこちらを見た。

大胆な言葉。しかし、彼の心は軽やかで温厚だった。

今日は、誰もが魅了されるような雰囲気です。

彼は笑いながら歯をむき出しにして叫んだ。「ノルウェーよ、祖国よ！

この地を我々に統治させてくださった神に栄光あれ！」

歯でしっかりと掴む。誰にも奪い去られない

私たちが生きている限り、私たちから遠ざかることはありません。」

「オラフ王万歳！」と男たちは叫んだ。そしてハルフレッドは

この時間についての詩：

「戦況を察知した王は南へ

と旅立った…」

船は海岸沿いにフィヨルドへと滑り込み、

遠くに突き出た岩だらけの崖に出会った。

水面。岸辺の鳥たちは飛び立った。銀色の

羽ばたく翼の雲が塵のように空に立ち上がった。

千羽の鳥が鳴いた。

次々と立ち並ぶ松の木々

山の斜面に沿って、反射した太陽の光の中で

揺れた。光が枝に反射した。誰かが聞いた

峡谷をせせらぎながら流れる小川と

海の軽やかな息吹。

突然、彼らは皆、はっきりとした鋭い声の叫び声を聞いた。

男が船の近くの岩棚に立っていた。

皆が彼を見ていた。彼が参加したがっているのは明らかだった

彼らにそうすることの許可を求めていました。

Machine Translated by Google

　オラフ王は操縦士に棚に近づくように合図しました。
男たちはオールを上げて、
陸側へ。しかし船がそこまで辿り着く前に、彼らは船首の先端、金色の竜の頭の近くに立っている見知らぬ男を見つけた。彼は後部甲板の高いところに座る王に向かって頷いた。

彼はジャンプから少し揺れているように見え、
まだバランスを取ろうとしていた。それから彼は船の前方にいる男たちの間を歩いてきた。この辺りの農夫で、船上で同行することを許してくれるなら、しばらく一緒に旅をしたいだけなのだろう。彼らが最初に考えていたような商人ではなかった。

　彼は古風な服を着たとても頑丈な男だった。
緑色の農民用ベーズ（粗い毛織物）。おそらく
山奥から来た男。腰には
幅広の革ベルトに美しい銅のバックルが付いていた。ベルトループの一つには、昔ながらの農民の武器である両刃のハンマーが握られていた。それは精巧に作られた手仕事の品だった。しかし、この男の最も目立った特徴は、赤ひげだった。それは濃くて長く、彼はそれを分けて
それを左右にベルトの下に押し込んだ。
　彼はロープの上に座り、男たちを見た。
次々と彼の周りに座ったり立ったりする人々…全く気後れすることなく。彼の青い炎のような視線に、誰もが少し緊張した。まるで彼が彼らをじっと見つめ、それぞれに欠点を見つけているようだった。

Machine Translated by Google

「君が船に飛び込んだのは悪くなかったよ」

Goetaelf の Vakr に感謝します。

「それはそれほど大きなことではなかった」と見知らぬ人は答えた。「

ヴァクル、あなたがキリスト教徒になった時に作ったもの

トールの友人。皆さんはジャンプが上手ですね

尊重する。"

その男の言ったことは慰めにはならなかった。

「農夫さん、誰と旅をしているのか知らないのか？

気をつけろ !ところで、我々のことを何か知っていると思っているよ

うだが、一体どこで知り合ったんだ？」

「古い知り合いです」と彼は答えた。「あなたの

父親のこと。でも、忘れてください。今は一緒に旅をしたいんです

ちょっとストレッチしてね。」

「どこに行きたいですか？」

「海外です」男は悲しそうに答えた。

「あなたは軍事遠征に適任のようですね。」

「私は多くの困難を乗り越えてきましたが、今は

休む。"

「そんな風には見えないな」と強者ベルスルは言った。

彼の習慣によれば、まるで

男は自分の力を試す前に、

見知らぬ男の手を掴み、彼を席から引きずり降ろそうとした。

短く鋭い闘いだったが、その後ベルスルは

地面にいて、誰がここにいるのかは明らかだった

より強くなった。ベルスルは幼少期以来、そのような経験をしていなかった。

若さ。それはまるで火と酔いのように、すべての人を襲った。

Machine Translated by Google

見知らぬ男を勝負で試さなければならなかった。しかし、誰も彼にかなう者はいなかった。船全体がその悪魔のような男を見つめた。

彼の言葉もまた、鋭く、恐れを知らずに飛び交い、その動きと同じように的確に的を射た。それぞれが自分の役割を果たしたのだ！

最後に彼はオールの上の手すりに沿って歩き、

漕ぐのをやめず、3つだけでなく

短剣（オラフ王がそうしていたように)ではなく、4本の短剣で、

常に空中に2つ、両手に1つずつ持っていた。

まるで短剣が炎のように頭上で踊っているかのような、素早い獲物。乗組員全員が、この農夫のプレーぶりをじっと見つめていた。彼は確かに、ただの遊び人ではない。

牛。

ついにオラフ王が彼を呼び、彼は

船の後部デッキで帽子を脱いで前に立った

王の頭髪も

彼の額の上に、赤く燃えている炎のようだった。

「あなたや農夫のようなよそ者がノルウェーの王の前に来たら、王は頭を下げる」と、ソルグリム•ソーステインソンは大声で指示した。農夫は彼の方を向いて言った。「ソルグリム、あなたもまた、王ではなかった男の子孫だ」

他の男性の前では腰をかがめる習慣がある - その他

おそらく、あなたと同じように、彼らが後にした人よりも

名前が付けられました。」

「あなたは言葉遣いが巧みで才能豊かな人物だ」とオラフ王は言い、他の者たちに静かにするよう指示した。「あなたは

この地域からですか？

Machine Translated by Google

赤ひげはオラフ王を長い間見つめていた。そして
彼は、心の中で心配事を抱えている人のように、かすかに笑った。
「はい」と彼は答えた。「私はその地域の出身だと言えます。」
「どの州からですか？」と王は尋ねた。
するとと男は、ハルフレッドと同じジェスチャーをした。
スカルドが古代の神々について語ったとき、彼はこう言った。
彼は手で山を指差して、
空を横切り、ついには海へと降りていく。
すぐに誰もが彼が誰だか分かった。風が吹いた
山から降りて、ベールのように太陽を横切って、
そして水位は上昇し始めた。しかし誰も
突然踊り始めた船について考えてみましょう
岩だらけの崖の近くで、皆が赤ひげ号を見つめていた。
彼らは今、偉大で力強い王の前に立ち、
彼の手に聖なる槌が見えた。鈍い雷鳴が
空から現れ、彼らは皆、影のように
硫黄の光が聞こえた。そして男の声が聞こえた。
重い声。
「そうです、オラフ王」と彼は言った。「私はこの地方のヘル
ゲランとドロンハイム、ハルダンゲルの出身です。
そしてスタヴァンゲル、ノルウェー全土と島々から、
山から谷から、
雲と海から。そしてそれが私の作品なのです
あなたに喜びを与え、あなたが
王様。私が初めてここに来た時は、ここは氷の国でした
エティンの足。しかし私はエティンを殺した。彼らは

Machine Translated by Google

山々が広がり、木々が生い茂り、小川が流れていた。私は神々と人間の敵であるエティン族を絞め殺した。牧草地には花が咲き、山羊が山道を登った。人々は小屋を建て、畑を耕した。私は彼らの作物を祝福した。彼らはパンを与えられた。私は彼らのために海を祝福した。彼らは魚を与えられた。私は彼らの

テーブル。子供たちは成長した。私と私の仲間であるオラフ王はこれを作った

人間の子孫が住める土地ではない。だからこそ、男も女も私を尊敬してくれたのだ。そして、これが長い間、私の一族だったのだ。」

するとシグルド司教は元気を取り戻し、勇気を見せました。

彼は胸から十字架を持ち上げ、

赤ひげ。「道を譲れ、この偶像め！」と彼は要求した。

男は再び、柔らかく、苦々しく笑った。それはまるで

風の中で泣いている。

「ああ」と彼は言った。「そして今、新たな時が来た。全能者の意志によって、私の時は過ぎ去った。友にとっては辛いことだ。そしてオラフよ、お前は彼らを迫害し、殺し、運命を全うする。いずれ、それは我々皆に降りかかる。だが、私は違う結末を予想していた。我々を食い尽くす狼、

私たちを絞め殺す蛇。優しくて

強者を打ち負かす。しかし誰も運命から逃れることはできない。

誰も事前に知ることはできない。その時が来る。

十字架上の人間も同様です。」

「アイドル、道を譲れ！」司教は再び命令し、

十字架をレッドの目に近づけた。

Machine Translated by Google

　そして彼はハンマーを振り上げ、稲妻が
黄金の蛇のようにマストに沿って打ち倒された。
それが何か危害を加える前に彼がそれを手でつかめば。
三度目の苦い笑い声が聞こえた。
死ぬまで決して忘れなかった。
　彼らは、男が船外に飛び込む様子を目撃した。
力強く跳躍し、ハンマーを頭上に掲げ、
海に沈んで消えた。
　その瞬間、すべてが変わった。南の光が
風が吹いて帆が膨らみ、船を押し流した
優しくうねる波に沿って太陽の光が海の奥深くまで届く
湾。まるで皆が夢から覚めたかのようだった
あるいは昏睡状態。オラフ王は両手で顔をこすった。
シグルド司教が何か言おうと咳払いをすると、
王は彼に黙るように合図した。
　彼らの前にはニダロスの家々、
海岸、王の家の巨大な屋根、そして
尖った頂上と幅広い塔を持つ新しい大聖堂。
夕暮れが来た。太陽は海に沈み、鐘の音が
水面に静かに響き渡った。皆が王のように立ち尽くし、
彼らは頭を露出した。

　「男らしく死ぬ方法を知っているすべての人々のために祈ります」と述べた。
王様。

Machine Translated by Google

私たちの中には規則が炎のように燃えている、

そしてそれは神聖でなければならない、

それは永遠であり普遍的であるから

それはこれです：

義務を果たせ！

この規則にはあらゆる宗教の教えが含まれています。

- ハインリヒ•フォン•クライスト

Machine Translated by Google

[編集者によるタイトル追加]

山の城

[編集者注：「カステル•デル•モンテ」の写真は省略]

最も美しく強力な要塞

ドイツ帝国時代は、

ホーエンシュタウフェン朝、特にフリードリヒ2世。彼らは

発展と形成の目に見える兆候

ヨーロッパの勢力。フリードリヒ2世は中世における最も偉大な要塞建設者の一人であり、彼の要塞の建築設計に大きな影響を与えました。八角形構造を好んだ彼の独創的な建築は、競合する貴族たちとの争いの後も、他の要塞や城の模範となり続けました。

ドイツ帝国を権力要因として排除した

ヨーロッパ。プーリアの「カステル•デル•モンテ」は、おそらく彼の城の中でも最も美しいもので、その整然とした間取りと自然の力強さは、今日に至るまでホーエンシュタウフェン•ゲルマン精神の表れと言えるでしょう。

フリードリヒ2世は当時すでにヨーロッパ様式を創造し、それがすべての芸術に豊かな影響を与えました。

南、西、東の要塞建設、

ドイツの形式が主流でした。

Machine Translated by Google

[編集者によるタイトル追加]

カーレンベルク 1683

9月12日、ウィーン近郊のカーレンベルクの戦い
1683年は [1] 世界的な大イベントの一つである
地球の様相を何世紀にもわたって変えてきた出来事である。
東方、フランス、そしてほぼすべてのヨーロッパ諸国からの義
勇兵と団結したドイツ軍は、西アジア•バルカン帝国の力を結
集してこの地を占領しようとした大スルタンの無数の軍勢に
対し、見事な防衛勝利を収めた。

中央ヨーロッパへの門を無理やり開ける。もしウィーンが
トルコの手が届くと、ドイツとイタリアは
イスラム教の三日月形の攻撃にさらされた。ウィーンは9週間
にわたり、上層部の猛攻に抵抗した。
トルコ軍は9月初旬に救援軍が到着し、守備隊を解放するまで、
包囲網を張り巡らせていた。オイゲン公は竜騎兵隊の指揮官と
して、最初に戦線を切断した。
トルコ人の群衆をかき分けて城門まで進んだ。
サヴォイ出身のこの20歳の大胆な勇気は
騎兵連隊の指揮権を褒賞として与えられ、この英雄の名は世
界大戦まで受け継がれた。

1絵画の写真は省略され、テキストはそれを反映するように変更されています。
オリジナルの冒頭は、「この同時代の絵画は、1683年9月12日にウィーン近郊で行われ
たカーレンベルクの戦いを描いています。この戦いは[…]」でした。

Machine Translated by Google

兄弟の血
勝利者であり続ける

デュッペルの記念日は、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン州の歴史にお

80周年を祝う 番目 いて常に警告の兆しとなるでしょう。

1848年から1851年にかけての闘争は自由をもたらさなかった。

ついに、この公国の人々が二度とデンマークと結びつくことがなくなる時が来た。

しかし、この祝賀行事は国境をはるかに越えて

シュレスヴィヒ=ホルシュタイン州では、プロイセンの力を試すこの戦いは

国家統一に向けた重要な一歩

ドイツ。ビスマルクはドイツ国民に正当な地位と必要な居住空間を与えたいと考えていた。プロイセンの勢力

デュッペルの勝利によりプロイセンは

ドイツの拡大を促進するために使われる力

血と土。プロイセンへの信頼は高まった。新たな

ドイツ史における政治的時代はこの日から始まった。

デュッペルの槍兵について考えるとき、私たちはおそらく

最終的に勝利の日を記念して

ドイツ統一。当時、ドイツ国民が宣言した言葉は、私たちにとってもはや真実ではない。

1864年5月8日、レンズブルクで開催された総会で「

デュッペルの血は、私たちをデンマーク人からより深く隔てている

しかし、プロイセン側から見ても、どれほど勇敢で

Machine Translated by Google

デンマークの防衛軍は名誉ある戦いを繰り広げた。モルトケはこう書いている。

1864年4月23日、弟ルートヴィヒへ:

「この小さな人々が、

彼らが戦うために、忍耐と犠牲を払った

軍隊はデュッペル陣地で自らを主張し、

敵にも認められた。兵士たちは抵抗した

私たちよりもはるかに多くの言葉で表せないものを持っていた

攻撃の主導権を大勢が握ることができ、

こうした困難な任務の間、彼らを解放してあげたいのです。」

この闘争で示された騎士道について

二つの関連した民族の間の問題について、モルトケは次のように書いている。

「おそらく我々の兵士より優秀な人材はいないだろう。

最後の銃声が鳴り響くとすぐに担架の担架係は

デンマーク軍と我々の負傷兵を運び込んだ

女の子の優しさをたっぷりと込めた病院。そしてみんな

病院では同じように扱われる。これらの病院では、そのような

ヨハンニターの支配的で豪華なものとして

命令により、デンマークの将校と兵士は同じ部屋に横たわった。

プロイセン人のように。おそらく戦争は一度も行われていないだろう

これよりももっと人間味のあるものを。」

ドイツ側の目に見える強化のこの日

デンマークにとって、それは別の表情を浮かべた。敗北の日だった。

この闘争は、はるかに優勢な

力。たとえ、自分があまりにも力を入れすぎた立場であっても、

大きな希望は抱けなかった、デンマーク人も

Machine Translated by Google

それでも、名誉ある撤退でも、勇気と

デンマーク兵の忠誠心。旅団の戦い

デュッペル工場のシャルフェンベルクはプロイセン人を「

「困難な海峡」。勝利と手痛い損失にもかかわらず、軍は誇り

を持って帰還することができた。

このことを目撃した他の同時代の人々もいる

戦いの後の騎士道的な行動：デンマーク人はどのように

兵士たちはドイツの農民によって世話をされ…そして

一方、ドイツ兵がどのようにケアされていたか

デンマークの村人たちは…数週間、あるいは数ヶ月もの間。

文化的に高い地位を持つ2つのゲルマン民族の部族が

向かい合った。

だから、第二次世界大戦後、

デンマークは北アイルランドの統一を祝った

シュレスヴィヒはデュッペルでデンマークと交戦し、国王は

プレゼント。同時に祝ったことは、

北シュレスヴィヒのドイツからの苦い分離

ライヒ。しかし、今日では、そのすべてが

共通のゲルマン人の未来への信念。

デュッペルの名前の響きは、

人々の誇りの記憶。憎しみに満ちた口調は

デンマーク側ではより顕著ですが、完全には

色あせた。カール•ラーセンは

デンマーク人の間では彼らを排除し、ドイツ人の間では

Machine Translated by Google

これらの感情は勝利の喜びに取って代わられました。しかし、苦い思いは年月とともに薄れていきました。しかし、勇敢な行いへの思いは今も忘れられられません。

双方。両民族間の闘争が

騎士道精神をもって戦われた民族闘争も同様に

決断もまた騎士道的に行われた。

いつか同じ祖先を持つ私たちが

ゲルマン民族のルーツと共通の祖国、この地へ戻る

騎士道的な闘争、忠誠心、そして

当時のゲルマン人の不屈の精神は

彼らは互いに対立していたが、並んで立つことの方がずっと自然だったであろう。

今日でも彼らはまだそれを理解していない。まずそれを学ばなければならない。そして

私たちの敵は私たちを孤立させるためにあらゆることをする

別の。

それは苦いことだが、それでも多くの人がこれを学んだ。

すでに。そして私たちは、

この闘争の時代において、ドイツ帝国は遅ればせながら、より価値ある果実として実るだろう。武装親衛隊のデンマーク人義勇兵たちは、この闘争の最初の戦士である。

デンマーク側には明るいドイツの未来がある。

決定的なのは、態度が

良いか悪いか、建設業に携わりたいか解体業に携わりたいか、

共通のニーズと目標を確認します。

Machine Translated by Google

ヨーロッパの人々に残された選択肢はただ一つ

彼らの存在を救いたい :彼らが何を持っているかを見るために

共通であり、それを擁護することです。

Machine Translated by Google

オイゲン王子

高貴な騎士

多くの国々から何千人ものボランティアが

多彩な同盟国の中には、

暑い8月にドナウ川に流れ込んだ

1683年、脅威にさらされている人々を阻止するために

イスラム三日月地帯の侵略。

フランス王室の多くの志願兵の中には

パリ生まれのサヴォイア公オイゲンも、

しかし、彼は生まれた土地に背を向けた。

多くの失望。逃亡した皇帝は

パッサウは彼に竜騎兵連隊の指揮権を与えた

彼はすぐにその指揮下でその軍事的才能を華麗に証明した。

公爵は、その生涯の始まりに、意義深い経験をする幸運に恵まれた。1683年9月12日、ウィーン近郊のカーレンベルクにおける解放戦である。ドイツ諸州の力を結集して勝ち取ったこの驚くべき力強い勝利は、西洋をトルコの侵略の脅威から解放しただけでなく、東南ヨーロッパ全域をドイツ流に再編する可能性をもたらした。新たな時代の風が、古びた時代を吹き飛ばす門が開かれたのである。

Machine Translated by Google

昔の生活の雰囲気を消し去り、人々を目覚めさせ、
三十年戦争後、眠りに落ちていたドイツ人は、新たな希望に
満たされていた。しかし、初めてドイツ人の前に足を踏み入
れたサヴォイアの異邦人は、
土壌は、この希望の担い手となり、最も
新たな英雄時代の素晴らしい代表者
ドイツの歴史。偉大な帝国の導きに従って
軍事指導者、ルートヴィヒ•フォン•バーデンとカール•フォン
ロートリンゲン公爵は、
ハンガリーは帝国軍を
ジーベンビュルゲンとベオグラードの前。すでに最初の
戦闘において、オイゲン王子は個人的な勇気を証明した。
短期間で彼は二度重傷を負い、
並外れた軍事力を発揮した。しかし、
独立したコマンドを受け取るのに長い時間がかかります。
彼はイタリアの劇場で数年間勤務した後、
フランスに対する従属的な立場で、彼は最終的に
ハンガリーでこの希望の独立したコマンドを受け取る
1697年。

　オーストリア軍は、
その間、トルコ軍は最初の攻撃から回復しつつあった
大きな衝撃を受けた。オイゲンは物資の乏しい
軍隊の士気をくじき、
その年中にこれ以上のキャンペーンを実施することはできません。
しかし、最悪の問題が解決されるとすぐに、
彼は何度も電光石火の動きをし、

Machine Translated by Google

トルコ軍を混乱させ、
1697年にゼンタでスルタンが
王子は自らの力で勝利を収め、
当時の最も偉大な軍事指導者たちの最前線にいた。
トルコの支配が崩壊し、
ドナウ地方は前進した。うわさは広まった
最初の帝国の巡視隊がバルカン半島に到達した
ボスニアとベオグラードの南を切断します。

しかし、勝利の絶頂期にサヴォイアは
キャンペーンから撤退し、
平和。ヨーロッパの平和問題をめぐる大戦争
スペイン継承により新たな
大陸における権力の分配は差し迫っていた。
確かに、帝国はオイゲンが1843年にカルロヴィッツでトルコ
と結んだ和平によって多くの利益を得ていた。
1699年: バナト、ジーベンブルゲン、そして
スロバキアとクロアチアの大部分。

翌年、王位をめぐるヨーロッパの戦争と
スペイン世界帝国の支配が崩壊した。
征服を望んだ強大なフランスが
スペインはヨーロッパの支配権を完全なものにするために
反対側にはオーストリア、オランダ、イギリス、
かつての「中立化政策」を踏襲したかった
大陸におけるいかなる支配的な勢力の台頭にも反対する。

オイゲン王子は勝利の舞台を去らなければならなかった
ドナウ川のコンセプトを継承するために

Machine Translated by Google

西方における帝国の防衛に尽力した。彼は次第に帝国軍の指導者としての役割を担うようになり、戦略計画と外交計画の両方を掌握した。複雑な政治問題を理解し、分裂した政治情勢の千倍もの困難を乗り越える能力において、彼以上に優れた先住民はいなかった。我が国民がかつて擁した最も偉大な政治家の一人は、一方ではヨーロッパ世界全体を理解し、他方では世界全体を把握することができた。

一方、細部やニーズを理解する

アルプス山脈であろうと、

北ドイツの河川の出口。これは偶然ではない。

外国生まれのこの人物が、我が国の歴史上最もドイツ的な偉人の一人となり、歌と伝説の両方で人々の記憶に生き続けているのです。

彼はイタリアの地で長年を過ごしたにもかかわらず、

フランドルと南ドイツは

フランスの敵国であり、ブルボン朝の帝国主義の攻撃から帝国を守る中で、オイゲン公は一瞬たりとも政治の原則を忘れることはなかった。すなわち、皇帝は常に西側で守勢に立つということである。

帝国の未来は東にあったからだ。

宮廷で「ドイツ党」の党首を務めた彼は、

カール6世が巻き込まれるのを防ぐことができた

スペインとイタリアの領土は、仕事を完了する代わりに

南東部では既に始まっていた。

Machine Translated by Google

1700年から1800年にかけて憎むべきフランスに対する勝利
1709年 ヘーヒシュテットとトリノ、アウデナーデと
マルプラケ公は、過度に野心的な征服計画に対して警告するために何度もウィーンに急行し、南東部の最終的な平和と、その地域における大きな任務を視察した。

まだ実現されていないものがありました。

12年間の血みどろの戦いの後、第一次スペイン継承戦争は終結した。孫権によって十分に弱体化したイングランドは、ドイツの勢力拡大を恐れ始め、オイゲンの同盟者であり友人でもあったマールブルク伯にヨーロッパ戦線からの撤退を要請した。イングランド軍はサヴォイア伯を窮地に追い込み、敵の目の前で裏切るに至った。普段は穏やかな性格のオイゲン公は敵にも見抜かれ、嫌悪感と激怒に駆られた。そして、このような策略ではイングランドの将軍は自身とヨーロッパ全土を失うことになるだろうと予言した。

1714年にフランスとの和平が成立した後、
ラシュタットとバーデンのオイゲン王子は、
帝国元帥に昇進し、再び自由になった
南東部で大規模な計画を実行する。
サヨヴァンは、これまでのすべての勝利を上回り、
1716年から1718年にかけてトルコと戦争をしました。
軍事と政治のリーダーシップの傑作であり、

Machine Translated by Google

ドイツとヨーロッパの歴史において、最も輝かしい章の一つに数えられる。積極的な攻撃の中で、侵攻してきたトルコ軍はペーターヴァルダインで捕らえられ、壊滅した。しかし、彼の軍事的才能の真骨頂は、1717年のベオグラードにおける二重の戦闘において発揮された。包囲された要塞と優勢なトルコ軍の間で、まず進撃してくる軍を攻撃し、殲滅させ、続いて背後に控えていたベオグラードを占領したのである。

1718年、パッサロヴィッツでの和平会議の直前、忘れ難い遠征の成果として輝かしい成果を収めたベオグラード郊外の軍営で、感動的な歌が作られました。トルコの征服者と自国民の間にあった帰属意識を、幾千もの賛美の演説よりも雄弁に表現しているのです。

それは、それ自体が不滅の方法で、近い
感情の統一とシンプルさ：ドイツの歌
気高い騎士、エウゲニウス王子。以来、この言葉が語り継がれています。
ベオグラードの街と要塞の周囲、そして広大な空の下のあらゆる場所で沈黙させることはできない。
ニーベルンゲン川が流れ込む南東の平野
そのやり方で。

ドナウ地域の征服は、
すべてのドイツ部族の血で、
政治家の主な目的の前提条件
プリンス•オイゲン：植民地化と文化統合

Machine Translated by Google

この領土。パッサロヴィッツ条約で、バナトは
小さなワラキアとセルビアはオーストリアに併合された
こうしてドナウ川流域のほぼ全域が帝国の手に渡りました。驚くほど短期間のうちに、かつて荒廃していた都市は再び花開き、かつて荒廃していた土地は再び実りを咲かせ、かつては堰を切ったように流れていた河川は再び整然とした河床を流れ、無数の沼地は干拓されました。

この地域における西洋文明は、より良い
秩序を樹立し、新たな繁栄を創造したのは、かつて荒廃していたドナウ川沿岸の土地を植民地化するために、公爵が数万人単位で連れてきたドイツ人入植者であった。しかしながら、この植民地化事業は幾度となく頓挫し、公爵が計画していたようなドナウ川沿岸の継続的な植民地化ではなく、入植したドイツ人たちは小さな孤立した集団に分裂したままであったとすれば…それは、ハプスブルク家の目的なき王朝的野望のせいであり、その勢力は領土の隅々まで分散し、無駄に浪費されたのである。

そして、オイゲン公の生涯の最後の日々、
トルコ戦争での彼の偉大な勝利の後、暗い兆候は
現れる。この特別な男の人生の終わりは、
当初は悲劇に包まれていた。しかし、
悲劇は彼の個人的な生活にあったのではなく、
彼の作品の運命を心配していた。
王子は晩年に、彼の主要な

Machine Translated by Google

ハプスブルク家の原則と矯正不可能な政治

決して和解することはなく、彼の作品は

この矛盾のせいで、最終的に崩壊する。そして多くの

サヴォイア人がすでに疑っていたことを示唆する

急速に衰退の兆しが見え始めた

ドナウ王国の統治を確立した。

しかし、苦しみと絶望は、

この天才が闘いの中で感動したのは

創造と深い洞察力によって、彼は

彼の作品の運命を予見していたが、他人には明かされなかった。

彼はまさにその通りだった。

善意と率直な明快さはあるものの、

同時代人や後世の人々にも。彼は

遺言や個人的な言葉の裏に隠された謎を、好奇心旺盛な伝記

作家が解き明かすために活用できるかもしれない。

彼の性格の謎。

彼は行為によってのみ自らを明らかにした。そして私たちは

謙虚に言葉で満足し、

同じ時代の偉大な精神を持つフリードリヒ大王は

名誉ある王子に敬意を表して：

「…彼はオーストリア領だけでなく、

「帝国。実際、彼は皇帝だった…」

Machine Translated by Google

王の裁き

ハインリヒ王は皇帝の裁判官たちに囲まれて座っていた。

ロットヴァイルの市場町近くの古い裁判所で。

民衆は彼らの周りに半円を作った。

司教たちも何人かそこにいた。

国王が初めて自らの権限なしで宮廷を統治した

法律顧問。

ある自由人が僧侶を強姦した罪で告発した。

娘。

12人の証人が自由農民の側に立った。

そして12人の証人（修道士仲間)が傍らに立っていた

被告人の。

王は、

修道院。王は裁判官席からその様子を見ることができた。

民衆は農民の味方となり、彼らだけが

彼に対する尊敬の念が、彼らを侮辱することを妨げた。

僧侶たち。

農夫は娘の手を握って立っていた。

正義を要求した。

彼の向かいには僧侶たちが立っていて、

少女は娼婦だった。群衆からうなり声が上がった。

一般の人々。被告人は著名な

家族。親戚は彼を黙らせるためにあらゆることを試みた。

Machine Translated by Google

自由人 - 彼らは火と剣で彼を脅迫した

彼は告発を撤回しなかった。しかし勇敢な男は

毅然とした態度を保ち、王の顔を見て

正義を要求した。

しかし、僧侶は視線を下げ、

王は彼の目を見つめた。

親族は少女に前に出るよう頼んだ。彼女が

恥ずかしさを克服したハインリヒ王は彼女の目を見つめた

そして彼女が真実を語っていることを知った。

僧侶は彼女の告白を聞いたと少女は言った。

そして彼女に墓地に行って12を言うように命じた

母の墓の前で祈りを捧げた。そこから彼は

彼女を独房に押し込み、無理やり襲った。彼女は叫んだ

抵抗したが、修道院の誰も手を挙げなかった

彼女を助けた。翌朝、修道院長は彼女を

彼は彼女にメイドとして修道院に残るよう提案した。

しかし、父親は一団とともに修道院へ行き、

武装した男たちが彼女を逮捕し、彼女は解放された。

すると修道院長が近づき、

少女が嘘をついていたとは信じ難い。神は真実が勝利するのを助けてくださるだろう。

神は判決を下すべきだ。被告の兄弟は

火の試練に耐える覚悟ができていた。

若い王は憤慨して言った。「いつまで

人々はまだそんな魔法を信じているのでしょうか？

この言葉を聞いた人は皆恐怖し、

司教たちは恐怖に駆られて王から退却した。

Machine Translated by Google

ハインリヒ王は彼が行き過ぎたことを悟り、こう言った。
「神が奇跡を起こすと信じるなら、私に見せてください。」

12人の僧侶は鉄板を持ってきて、
玉座の前で準備完了。

彼らはペアになっていて、それぞれ一枚の皿を持っていて、
祈りを捧げながら目を天に向ける。

僧侶が木製の火格子を持ってきてそれを置いた
王の玉座の前で。

彼らは神が真実を広め、救ってくれるように祈った。
彼らの罪のない兄弟を悪魔の爪から守る。

国民は不安になった。なぜなら国王が
ハインリッヒの軽率な言葉が彼らをひどく
神経質。

兄弟たちはまたやって来て、それぞれ大きな丸太を運んで、
天を見つめて祈る。そして彼らは積み重なって
木を燃やして大きな火を起こし、高く燃え上がらせました。

しかしハインリヒ王は玉座にじっと座っていた
そして、不快なささやきを聞かなかったかのように振る舞った
司教たちの叫びと人々の興奮したざわめき。

僧侶たちは鉄板を火の中に入れ、
修道院長は全能の神を証人として呼び、
兄は無実であり、
修道院は不誠実だった。

彼は一石二鳥だと考えて
彼が恐れていた危険を回避するために
修道院。

Machine Translated by Google

　ハインリヒ王の目は光った。

修道院長の計画。

　牧師はますます大きな声で祈り、証言した。

修道院の兄弟の無実を神の前で祈りました。彼は

全能の裁判官に、出席者全員の前で証明するよう求めた

告発者とその娘は嘘つきであり、

特に娘は火あぶりにされるべきだった。

なぜなら彼女は敬虔な兄弟を不当に非難したからです。

　ハインリヒ王は叫んだ。「

牧師、王の裁きは自分に降りかかるのか ?神は

ロットヴァイルの修道院長ではなく、王の裁判官だ！」その間

に鉄板は真っ赤に熱くなり、二人の修道士が

みんなに見えるようにふいごで炭をくべた

本当だった。

　他の人たちは椅子を持ってきて、告発された僧侶を椅子の上に座らせた。

それをブリキの鍋に注ぎ、縁までいっぱいにしました。

修道院長は大声で、

修道士は清い足で敬虔な裁判官の前に出頭しなければならない。

　しかしハインリヒ王は、

フライパンは青みがかっていました。

　修道士の足を洗った後、

それを乾かした後、彼は立ち上がり両手を上げて祈りました。

　僧侶たちは長いトングを使って光る皿を掴んだ

そしてそれを木製の火格子の上に置いた。

炭からほんの一歩のところ。とても熱かったので

グリルが焦げて煙が出ました。

Machine Translated by Google

修道院長は兄弟の手を取り、

光るプレート。

「永遠の神よ、今証言してください」と彼は叫んだ。「私たちの

兄は無罪だ！」

そして被告人は、まるで光るプレートの上を歩いて

それらはクールな石でした。

民衆は叫び声をあげた !そして少女は叫んだ

一番大きな声で言った。自由人は娘を引き上げ、

地面に倒れて、彼女は娼婦だと叫びました。

僧侶たちは彼女は死刑に値すると嘲笑し怒鳴りました。

そして民衆は沈黙し、何をすべきか分からなくなった。

信じる。

ハインリヒ王は顔をしかめずに肩をすくめ、

少女はただ黙って見つめていた。

彼の足元に。

それから彼は大声で叫んだ。「神が

彼の判決によって残ります！

「ハインリヒ王よ、あなたは神聖を冒涜している！」と司教たちは叫び、

民衆は王に恐怖し、一部の

女性たちは叫びました。王は命じました。

「鉄板をまた熱くして下さい！」

誰も動かなかった。

それから若い騎士たちがいつも

王を囲み、前に進み出て、版を奪った

トングで炭に戻して、さらに

Machine Translated by Google

木を火にくべ、そして火に息を吹き込む

ベローズ。

しかし、僧侶たちは、

これは永遠の神に対する冒涜でした。

王が何をしようとしていたのかを知ったのは修道院長だけだった。

そして彼は恐怖で顔が青ざめた。

「気分が悪いのですか、修道院長？」と王は彼に尋ねました。

彼は答えなかった。

司教たちはハインリヒ王に冒涜をやめるよう強く求めた。

「スカートを上げなさい！」と王様は少女に言いました。

若い騎士たちはトングを使って鉄板を置き、

以前よりもさらに熱くなった木製の

火格子。とても熱くて木が青く燃え上がった

炎。

二人の僧侶が急いで少女を導こうとしたが、

王は大きな声で命じた。「止まれ !それは

あなたの任務です！

彼は玉座から降り、少女を

手を握って言った。「もし僧侶が来る必要があったら

神の前で清い足で歩むならば、それは同様に必要である

女の子にもそうしてもらいたい！」

彼は少女に椅子に座るように言い、そして

彼女は自らブリキの鍋に足を入れました。

彼はその中身が濃い液体であることに気づき、

透明な水晶のように透明。

Machine Translated by Google

しかし、見ていた他の者たちは動揺して震えていた
何を言えばいいのか分かりませんでした。

するとエは震えている少女に立ち上がるように言い、
自ら彼女を光る鉄の所へ導いた。

そして彼女は少し前に恐ろしくてためらっていた
最初の場所に足を踏み入れると、彼は優しく言った。「私は
あなたに罪はないのですから、心配しないでください！」

少女は勇気を出して、
まるで冷たい石のように輝くプレート。そしてその後
彼女の足にはほんのわずかな水ぶくれも見られなかった。

民衆は叫び声をあげた。僧侶たちも叫んだ。

しかし、彼らはその理由を知っていました!

農夫は娘を胸に抱き寄せ、
彼女を強く抱きしめたので、彼女は窒息しそうになった。

司教たちは驚いて、理解できなかった。
数人の僧侶が突破を試みた
群衆に退散せよと王は大声で命じた。
「捕まえろ！」という声が聞こえた。

数人の屈強な男たちが僧侶たちを掴んで
彼らを王の玉座の前に呼び戻した王は、
数人の騎士に護衛をさせた。そして彼は命じた。「
アイロンがまた熱くなった！

誰もが驚きで身動きが取れず、誰も
王が何を目指していたかを知っていた。

司教たちはもう一言も発しなかった。若い騎士たちは
3度目に皿を熱した。そしてハインリヒは

Machine Translated by Google

新鮮な水を入れた新しい鍋が運ばれてきた。そして彼は言った

「今、神は私たちに、

修道院長は私たちに完全な真実を語ってくれました。そして

修道院長は聖水で足を洗うべきです。そうすれば

神の御座の前に立つとき、清らかでなければならない。」

修道院長は恐怖で叫び、拒否し抵抗した

手と足で。しかし彼らは彼を椅子の上に押し上げ、

司教の一人が彼の足を聖なる水で洗い、

水。

彼は手と足で三振を取ったにもかかわらず、

強制的に燃える鉄の所に連れて行かれ、足が触れた瞬間

最初のものは、悪臭のする煙が立ち上って風が

肉が焼ける悪臭が群衆の中に漂った。

僧侶は叫び声をあげて地面に倒れ込んだ。そして

修道士たちは王の足元にひれ伏して告白した

彼らの罪を証明した。そして王は少女が無罪であると宣言した。

彼は修道院長と修道士たちを追放した。

修道院。

しかし、衝撃を受けた民衆はひざまずいて祈りを捧げた。

そして司教たちや後に多くの人々が

王は彼にその件を明らかにするよう懇願したが、

静けさ。

しかし、判決のニュースは

恐怖と驚きを全帝国に呼び起こした。

Machine Translated by Google

神は超自然的な奇跡ではなく、

自然の神聖な秩序に従って。

Machine Translated by Google

永遠のもの

そこにいる、私たちが彼らに奉仕する場所

オットー•グメリンの小説「

「皇帝の顔」は私たちを1243年に連れ戻し、

世界史の章をめくると、

ドイツ皇帝と

教皇の世俗権力への野望。フリードリヒ2世

フォン•ホーエンシュタウフェン、最も重要な皇帝

西洋のドイツ王でありシチリアの統治者であり

エルサレムは同時に、

西洋の力を最終的かつ最大の栄光へと導いた。彼は

彼の時代における最も包括的な精神であり、

帝国思想の先駆者として、

20世紀。彼の治世中の教皇たちは彼を信用していなかったが、

彼の輝かしい主権に不思議な感動を覚えた。

1239年に彼は二度目の破門を受けた。その後

1243年、教皇グレゴリオ9世が亡くなりました。

新教皇フレスコ枢機卿の選出前に

後のイノセンスIVは、皇帝の前に現れた。

グロッセート、そして次の運命的な会話は

場所：

Machine Translated by Google

　フレスコ枢機卿は高官らに迎えられ、
2 番目の部屋に通じており、そこは広く、カーペットが敷かれ、色鮮やかに塗られており、皇帝が豪華な玉座に座っていました。

　裁判官ペトルス•フォン•ヴィネアは彼の左前に立った。冒頭の挨拶の後、
カイザーは枢機卿がなぜ来たのか尋ねた。彼はそれを聞いていた。
これは教皇公会議を代表しての公式訪問ではなかった。
枢機卿は反省したようで微笑み始め、
皇帝が知っていたように、評議会は
新教皇の選出。選挙が始まる前に、いくつかの問題に対する皇帝の立場を確認することが重要だ。それが彼が来た理由だ。そこで枢機卿は皇帝に、以前の出来事を思い出させた。

交渉に臨み、副学長として
グレゴールは喜んでこの困難な任務を引き受けた。なぜなら彼は
世界の救済は霊的力と世俗的力の統一にあると考えた。皇帝陛下も同じ目標を追求すると確信し、皇帝陛下のよく知られた説得力に深く心を動かされた教皇庁と教皇は

事実上、彼を皇帝の代弁者とみなしていた。
彼の立場は容易ではなかったことを知っていたし、
平和に奉仕するために、彼はしばしば皇帝の側に立ち、おそらく皇帝の提案を熱心に擁護しすぎた。
しかし彼は、陛下が
善を望み、侵害したくなかった

Machine Translated by Google

聖なる教会の正当な権利を尊重する。おそらく、彼はしばしば陛下の賓客や友人として接する機会に恵まれていたため、陛下への個人的な敬意もその背後にあったのかもしれない。

これらすべてを今思い出したのは、

キリストの代理人がすぐ近くにいた。彼は自分が大学の枢機卿たちにどのような影響力を持っているかを知っていた。

それで彼は我に返って陛下に尋ねたのです、

彼は、

教皇の玉座。陛下が今表明されたことは、二人の間の秘密として扱われる。陛下は、議論や陛下の発言について、誰にも何も聞かれないと約束した。

平和に貢献することを望んだ。

皇帝は沈黙し、しばらく時間を置いた。

彼は答える前にこう言った。「問い合わせには感謝します。

枢機卿は、常に自分の立場を理解し、その明晰な精神を認める仲介者として、彼を大切にしていた。彼は喜んで答え、

無条件 :破門の解除は

平和の第一条件。

枢機卿は微笑んでうなずいた。「降りてこなかった」

これらの事柄、状況に。人は

その点については合意が得られました。おそらく、枢機卿の選択を神の助けによって、陛下と聖なる教会の双方に奉仕されるよう導くことは可能でしょう。

それは基本的な問題だ。誰もがそれを見逃すはずはなかった

Machine Translated by Google

重大な岐路に立たされていた。

決定次第だ。教会自体が

危険にさらされ、信仰は大きく揺らいだ。

皇帝は目を上げたように見えた。彼の目は

枢機卿をまっすぐに見つめた。彼は強調した。

教皇庁の異端法に署名し、

しばしばそれに従って行動した。彼自身が最初に異端を唱えた

帝国に法律を施行する。

枢機卿の目が輝いた。これは国家の問題なのだ。

深い洞察と君主が国民の前で語る言葉

人間は別物だ。神でさえもより深く

人々の愚かさに思われるよりも。

皇帝の理性はさらに進んでおり、彼は研究していた

古代の書物。非信者でさえも

教会は、理由もなく、

陛下の異端的な態度を非難した。陛下はここにはいなかった

教会を代表して。しかし、彼の

陛下の行動には、

彼は信仰に縛られていなかったと結論づけた。

皇帝は枢機卿の言葉を熱心に聞き、

まったく真剣だ。

彼は立ち止まってこう答えました。

「私の行動は皇帝の職務から生じたものです。

不完全なのは、私が完全に

この職務に成功した。しかし、この職務だけが

基礎です。」

Machine Translated by Google

枢機卿はうなずいた。確かに彼は理解していた。

帝国の立場。しかし、まさにこれが問題だった。

力は統一できない。理性は

人ですが、この同じ理由には疑いが伴います。

疑いから守られるものは何もなかった。神自身がそれを与えられたのだ

理由がある。主権を侵害する可能性さえある。

そうでなければ、聖なる

教会の柱。

皇帝は目を上げた。職務は心の中にある。

他の確実性と同じように。確かに疑念は生じるかもしれないが、

それは永遠のものの形を変えることしかできず、

それらを破壊します。

フィエスコは黙って皇帝の顔を見つめた。

それは自由であり、まるで思考の光から輝いているようでした。

フィエスコは慎重にゆっくりと言った。「かつて

人間の不確実性は理性から外れ、

教会が慈悲の足元に献身的に身を委ねる

彼に申し出なければ、彼は海に飛び込むだろう

「虚無…」

一瞬、静まり返った。ペトルス•フォン•ヴィネアは

震えながら皇帝に言った。枢機卿は立ち上がった

小さな目で注意深く見守る。

突然、皇帝は立ち上がり、小さな身振りで

彼は勝ち誇ってこう言った。

「枢機卿殿、信仰なくして人は生きられません。

永遠のものは、私たちが仕えるところに存在します。

Machine Translated by Google

この世界は、すべての物事に秩序があるのではないでしょうか？私たちは

この秩序を強めようとした。だから皇帝は

「職務を全うする。それが神の意志だ。」

厳粛な沈黙が訪れた。皇帝は戻ってきて

部屋を横切って、数歩前に立って

枢機卿はこう言った。

「私は自分自身と、私の中の神を基盤としています。私は

私は私以外の何者にもなれない。私は従わなければならない。

全能の命令。神は私を統治者に選んだ

帝国を支配せよ。私の魂は見守り、守らなければならない。

秩序と建設。私の人は私のオフィスであり、私のオフィスである

私の人です。」

再び沈黙が訪れた。皇帝の言葉が響き渡った。

彼らの心。揺るぎない強さと自然な

彼らの口調からは気高さがにじみ出ていた。彼らはそれを確信しているように感じた。

しかし彼らはそれを知らなかった。フィエスコとペトラスは

頭を下げて、あえて顔を上げなかった。

枢機卿の頭は肩の間に沈み、

引き締まった体勢で、背中を曲げた。

彼は二度も息を切らして言った。「でもどこから？でも

どこ？"

陛下は自由に立っていた。光が、反射が

晴れた外の陽光が彼の赤い髪を輝かせた。彼の目は

鋭いが明瞭だった。

「なぜ何度も尋ねるのですか？知らないのですか？感じないのですか？どうやって生きて、仕事をできるのですか？」

Machine Translated by Google

信仰がそこから生まれないなら、それを失う者は悲惨である。

疑いの背後に。彼は通り過ぎ、何もなくなるだろう

死ぬ前に。」

ペトラスは恥ずかしそうに視線を向けた。混乱が広がった。

フィエスコは君主の

見て。彼は堕ちた、終わりのない、地獄の堕ち。

彼にとって唯一の深淵。ペトラスは彼を敗北者のように見えた。

誰かが倒れ、顔が青ざめ、口が歪んで

痛みと嘲笑。しかし、彼はまるで運ばれているかのようだった

突然、フィエスコは顔を上げて

司法官の視線。それは理解、同盟のようだった

生き物と理解不能なものの対決。しかし、それは

彼らがひどく孤独だと再び怒鳴りました。

「その時間が満たされるように、神は私に

オフィス。"

3人の男たちの上に沈黙が広がった。時間が流れて

雷鳴のように彼らの上に降りかかった。運命が彼らの前に立ちはだかった。

枢機卿はまず落ち着きを取り戻した。まるで何もなかったかのように

彼は政治について語り、

皇帝の和平条件。会話

続けて要点を述べたが、何も生み出さなかった

新しい。皇帝とペトルスは再び、

何を要求し、平和をどう認識し、何を提供したのか。

フィエスコはよく混乱し、

同じことを二度繰り返した。一時間後、彼は再び

Machine Translated by Google

馬。彼の脳は沸騰し、心臓は熱くなり、

彼の周りの世界は混乱した夢のようだった。

皇帝はペトルスを見つめた。

「彼は何が欲しかったんですか？」

ペトルスは皇帝の微笑みに応えようとした。

「陛下を試すためです。陛下が

陛下の敵です。」

皇帝はうなずいた。

「小柄な人間は光に耐えられず、光の中で朽ち果ててしまう。」

まるで枢機卿を弁護するかのように、ペトラスはこう言った。

「彼は…しようとしていた」

しかし皇帝は口を挟んだ。

「なぜ私と？ なぜ他の人と？ 私は常に準備を整えていなければならない。」

皇帝は去った。

ペトラスは一人で立ち、椅子に腰掛け、

頭を両手で抱えて何度も何度もつぶやいた。「小さい

男性は…」

Machine Translated by Google

男の人生で最も価値のあるものは、

聖なる時間。それはあらゆる健康の源泉であり、

強く、明確な思考、言葉、行動。

これらの深い深淵から創造力、善良さが湧き出る。

貴族。

- ゲーテ

Machine Translated by Google

ポメラニア

海の上の土地

「ポメラニア」という言葉は「ポ
ポメラニアは「海の上」を意味する「マルジュ」と呼ばれる。帝国全土から数十万人のドイツ人が、ポンメルンの光り輝く黄金色の浜辺で穏やかな夏のひとときを過ごし、バルト海の荒波を眺めながら、力強さ、健康、そして肉体的な美しさを育んできた。ポメラニアは、その地名の由来を知らなくても、海の国となった。内陸からポメラニアを訪れる人々は、

ドイツ唯一の巨大な白いチョークに驚かされる
崖。彼らは部屋から果てしない
波に飲み込まれた広大な海、しかし彼らはまた
壮大な海岸沿いの木々に砕ける波
シュトゥブニッツの白樺林は春になると燃え上がる
何百万もの小さな花。それらはまた、深いところをさまよう。
険しい崖沿いや広い海岸沿いの静寂
ウーゼドムとヴォリンから茂った低木が茂る。
カモメに囲まれて、漁船の間で眠る
そして砂丘の上にあり、常に
華やかさ、平和、そして快適さ。ポメラニアン
夏の風景は喜びに満ち、笑いを誘うほど美しく、海辺ではポメラニアの輝く色彩が際立っています。

Machine Translated by Google

白と青 :白は明るいチョークの崖や砂丘のように、青は海や空のように濃く、

地平線に白い雲が浮かんでいます。

ポメラニアはラグーン沿いの美しい場所でもあります
たくさんの魚と花で覆われた土地。東ポメラニアもまた美しい。

バルト海内陸部には巨大な砂丘が広がっています。
深い交錯点を持つ険しい岩山
峡谷、緑の斑点、暗い荒野、そして豊かな葉
森とガラスのように透明な海湖があちこちに点在し、
北欧の野鳥の世界にとって真の鳥の楽園
野生の白鳥、サギ、シロハラヒワ。マザーオブパール
蝶とキンチョウが水生花の上を舞い、
沼の棘。夜には大きなカモメフクロウの鳴き声が聞こえる
素晴らしい森に響き渡る、めったに聞かれない叫び声
聞いた。そしてポメラニアの森は、昔は
かつてはクマや古代ヨーロッパバイソン、オオヤマネコ、ヤマネコが生息していたが、今日でもダース半島には生息している。
ヘルマン•ゲーリングの別荘からそう遠くないツィンストには、
アメリカバイソン。

最後の氷河期はポメラニアの地形を形成した。バルト海モレーン、バルト海後背地を形成した。
東ポメラニアにはラウンドモレーンがあります。これは
地形はポメラニアに、今日私たちが国境地帯の人々や海辺の国境州に生命線として感じている壮麗さと快適さを与えました。

ポメラニアの土地の多様性は常に

Machine Translated by Google

果てしなく広がる平原を強調しています。まばらなオークの混交林には、かつて北欧人が暮らし、石斧と鋤を使って土地を耕していました。巨大な塚は後期石器時代に遡り、当時の農民の親族の墓です。青銅器時代末期には、ポメラニア全体が劇的な土地となりました。今日に至るまで、あらゆるランドマークに集落の遺跡が残っています。

今回は、最も古い卍の発見です
ポメラニア。ソフレンホフの湿原から1つ回収された
4つの渦巻き模様が描かれた素晴らしいブロンズの花瓶
燃える太陽の円盤。重要なゲルマン民族の先史時代
部族の歴史はポメラニアに遡ります。スラヴ人は流入しましたが、
番目[12] 19世紀、ドイツ人入植者が大量に帰還した。
彼らは下ザクセンの家を建てた。四面体
中庭、ウォーキッシュロフトハウス、そしてピリッツァー
彼らが築いた、まさに景観の金鉱、ウェルザッカー
「フォアラウベンの家」。そして、どの建築様式においても、古いポメラニアの農民の家は芸術的で心安らぐものであった。ポメラニアは農民の土地であり、それゆえに帝国の不可欠な風景であった。肥沃な畑は、広い空の下、畝の線によって分断された暗い海のように広がっている。物思いにふける孤独な家が、

強くて頑固な創造力はここで発達し、
あらゆる試みに粘り強く取り組み、寡黙で閉鎖的
見知らぬ人に対して一緒に立ち向かう。
　粗野なポメラニアンについても同様で、
帝国でこれほど多くの物語を語る？

Machine Translated by Google

中世の歴史家でさえ、そこには真実がある。

トーマス•コンツォウは、

ポメラニア：

「彼らは、

スラヴ人によってしばらくは、しかしそれにもかかわらず、彼らはまだ

スラヴ人からも、そして厳しい天界からも

彼らが暮らす世界には、たくさんの荒々しさがあるのです。」

　フリードリヒ大王の言葉もよく知られています。

もし世界が終わるなら、彼は

ポメラニアに行くのは20年かかるから

後に…しかし、我々は、政治家が

フリードリヒ•ヴィルヘルム1世からフリードリヒ•ヴィルヘルム3世に

ポメラニア人の協力は非常に真剣である

国家の立場で、彼らは多くの貴重な政治的貢献をした。

ポメラニアンは、その並外れた信頼性ゆえに、すでに愛好されていた父フリードリヒ•ヴィルヘルム1世の息子フリードリヒ大王が、その犬たちについて次のように賞賛した。

　「ポメラニアンは素直で素朴な精神を持っています。

ポメラニアはかつてあらゆるものを生み出した州であった

戦争と他の政府の両方の勢力

支店 ;外交にのみ使用したくない。

なぜなら、欺瞞に対しては欺瞞を使わなければならないことがよくあるからです。」

　そしてそれは実に優しく聞こえた。1780年に彼が

助けを求めるポメラニア代表団にこう語った。

　「ポメラニアンの皆さんのお役に立ててとても嬉しいです。

ポメラニアンを兄弟のように愛している。

Machine Translated by Google

彼らが良い人だから、私は彼らを愛している以上に彼らを愛している

いつも私の側に立って、

戦場でも、そして

彼らは私を支えてくれました

所有物とその血。私は人間にはなれない

あるいは、私が彼らに私の心を見せなければ、人間の心を持つことはできないでしょう

今は感謝の気持ちです。」

ポメラニア人は、

シレジア戦争。ポメラニア軍司令官60名

王のために戦い血を流した兵士は

驚異。勇敢なポメラニアン、そして何よりも

ポメラニアの擲弾兵は諺にありました。古代の

シュヴェリーン元帥は旗を持って立っていた

彼はプラハの前に立って連隊を率いて

倒れるまでは若者のような活力で生きていた。将軍が

ヴィンターフェルトが陥落し、フリードリヒ大王は「最も

プロイセン軍の偉大な人物。」

軍事と戦略の才能、そう、天才たち

ポメラニア出身者は多数いる :陸軍元帥

ヴランゲル、アルブレヒト•グラフ•フォン•ローン、ゲオルク将軍より

フォン•デア•ヴァルヴィッツとバーゼラー将軍はポメラニアンでした。

クーネルスドルフで英雄的な死を遂げたクリスチャン•フォン•クライストは、軍人であり詩人でした。多くの偉大な行政官や組織者がポンメルンから出てきました。その中には、今日でも知られる郵便局長シュテファンもいます。特に際立った人物は、郵便局の偉大な指導者の一人、エルンスト•ヴォリッツ•アルントです。

Machine Translated by Google

解放戦争における民衆蜂起 :詩人、研究者、そして政治家。近代飛行の先駆者

アンクラマー•リレンターラーを称える人物もいる。偉大な医師たち

ヴィルヒョウ、ビルロート、シュライヒが礎石を作った

現代医学の。ポメラニアンの顔

北ドイツの厳しさを感じさせる風景は、思慮深い人々の温かさに反映されて

おり、

偉大な画家たちの芸術に反映されている

ドイツ•ロマン主義時代、フィリップ•オットー•ルンゲとカスパル

二人ともポメラニアンだったデイヴィッド•フリードリヒ。

海上の国境地域は、

多くの戦いの舞台が始まった。中世には

30年戦争によって、

承認せず、政治的統一を破壊した。

しかし、ポメラニア人は完全に再建した。

中世はポメラニアンにとって素晴らしい時代でもありました

シュテッティン、シュタルガルト、シュトラールズント、グライフスヴァルト、コルベルクといった都市には、ゴシック様式の巨大な大聖堂が数多く残されています。無名の小さな町にも、古代の門や城壁の遺構が数多く残っています。四面体で重厚な石造りのこれらの建物は、下部から上方に伸びる円柱状の柱で構成されており、勇敢なポメラニア人の姿を反映しています。

ヴェストファーレン条約によって分割されたポンメルンが再び統一を果たしたのは、数世紀を経てからのことでした。ポンメルンの一部とリューゲン島は、1813年のウィーン会議まで統一されませんでした。

その後の多くの発展はその時期によって説明されます。

Machine Translated by Google

第二次世界大戦により、ポーランドの対岸の前線地域となった
この国は、再びその前進を制限、あるいは遅らせた。しかし、まさ
に混乱と
絶望、ポメラニアンは頑固に
彼はひるむことなく義務を果たした。力強い衝動に満ちた新た
な時代は、ポメラニア人、つまり頑固でせっかちだが忍耐強い
人々にとって、
心の準備はできている。偽りの輝きを嫌う
そして彼らの強さと信念は、これらの
素晴らしい時間でした。彼らは働くことを許されて幸せでした。
達成する。そして、あらゆる時代の戦場で、
ポメラニアンの兵士は兵士としての名誉を受けています
人々。

Machine Translated by Google

今日、重要なことが一つあります。

祖国。

そして犠牲の炎

各人を自分のところに投げ込む。

- ヘルダーリン